



# 伊藤音次郎日記

## 1930(昭和5)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成30)年6月

\* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール [isan@aero.or.jp](mailto:isan@aero.or.jp)

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼0ページ▲▼

昭和5年

▲▼1ページ▲▼ 前年ヨリ繰越事項

ライトプレインクラブノ発展策  
信用ノ廻復

▲▼2ページ▲▼ 昭和五年要記

ライトプレインクラブ發展

(イ)春季ノライトプレイン長飛行。同秋季目的 經濟的飛行ノ眞價ヲ見ル  
(ロ)秋季日本一週飛行 目的 前記ノ外各都市ニ離着陸場ノ設置運動  
(ハ)ライトプレインノ製作  
信用廻復策 (イ)借金ヲシナイコト。(ロ)旧責(ママ)ノ整理  
理想 各學校ノ合同運動

本年度ノ計畫ハ実行ヲ見ルニ到ラザリシモクラブハ發展ノ緒ニツキタリ  
信用ノ回復モヤ、端ヲ発シタル程度。旧責(ママ)ノ整理ハイマダモ年末坂地ノ分終了セ  
リ。理想ハ僅カニ知人ニ語りタルノミ  
本年ノ收穫ハ下半年期ニ於テ作業能率大ニ上リ予定日数内ニ予定作業ヲ終リタリ。之レ  
ハ本所初マツテ以來ノ事ニテ前途ニ光明ヲ與ヘタリ

▲▼3ページ▲▼ 1月

春季飛行ノ準備 機体ノ交渉  
予算ノ編成  
局ノ届出

陸軍 アンザニー

拂下運動

海軍 シーメンス  
二号アンリオ製作急ガセルコト

夜間飛行広告ヲ取ルコト ニツ以上

▲▼4ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月1日(水)

天気 晴風

数日来ノ降雨ハナゴリナク晴レテ正月ラシイ日ガキラ、ト輝キ富士ハ眞白ナ姿ヲスツ  
カリ見セテ居タ

今朝床ノ中デ學校合同論ヲ書イテ見様トフト思ヒツイタ

今日ハノンキニシタイツモリデ午後佐藤且代ト花合せナドシタガ面白クナカッタ 頭痛  
ガシタノデ、西式ヲヤツタラヨクナツタ

朝安岡、大蔵、所員、來 鈴木ガ一番早カッタ 夜上野來 三時カラ來ルトノコトデア  
ツタ

何ンダカ退所シタ人等ヲ皆帰ル様ニシ様ナドト大變ナ氣焰デアツタ 心持ハ嬉シモノデ  
アツタ

▲▼5ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月2日(木)

天気 曇リ

八時起床 清平外家族全部揃ツテ祝ヒ自分ハ卅一日カラノ残リノプロペラ板金張りヲ  
初メル 午後四時迄ニ大体終ル アト一時間位ノ仕事デアツタガ、クラクナツテ來タノ  
デ明日ノコトトス 今日ハ仕事ガトテモウマク出來タ  
學校ノ方今日初飛行アリ 川辺同乗飛行シタ

▲▼6ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月3日(金)

天気 雨後曇

ユツクリ起キテ後年賀状ノ整理。昨日ペラ板ノ残仕事ヲ終ル お金ガ昨夜來テ今日ハ  
稲毛ヘ行ツタ 大口ガ帰ツテ居タ由  
夜おバサンヤ金ト十二時迄花合せヲナス

▲▼7ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月4日(土)

天気 曇雪

七時起床 七時半ヨリ作業初メ 九時半終ツテ初飛行準備ニカゝル頃ヨリ雪盛ニ降ル  
十一時安岡操縦所員全部、ト云ツテモ五名同乗飛行ス。一時ヨリ川辺田中不二雄ヲ  
加ヘ新年宴会ヲ開ク 豚肉七百目ヲ平ラゲ気持チヨカッタ  
自分ハ今朝床ノ中カラ書イタ學校合同論ヲ書ク

◆▼8ページ◆▼ 昭和5(1930)年1月5日(日)

天気 晴

休業 十時信太郎ヲ清平ノ處ヘヤルノデー所ニ停留所迄行キ自分ハ千葉ノ國吉氏訪問  
暮レノハガキノ用件ハ高橋ノ千式百円ニ対シ執行命令ノ出タコトヲ話ス爲メデアッタト  
ノコトデ安心ス 十五日登記ノ由 ソレ迄ニ差押ガ來ルカモ知レヌガ多分來ナイダロウ  
徳永氏訪問 クラブノ報告ヲナシ飛行場問題ニ及ンダガマダ趣意書モ讀ンデナカッタニ  
ハガツカリシタガ尚依頼シテ帰ル 然シ頼ミニハナラナイ  
今朝床ノ中ニテ合同論ノ續キヲ書ク  
夜間又ハ晝間デモイツデモ飛ベル場所ヲ必要トスルノデ上ノ畑ニ離着陸場ヲ作ルノ案ヲ  
立テル  
二時帰宅スルトアンリオ事故アリ 徳次ガ翼ノ下ニナリ、アヤフク命ヲウシナウ處デア  
ツタ由 且代ガ海岸カラ離陸セントテ、アヤマツテ道路ノ方ニ曲リサカ立シタノデアッタ  
鳥飼氏來場 食事ヲ共ニス 旧冬來久シク家内トイサカヒシテ來ナカッタ母ガ今日ノ  
徳次危過カラ出テ來テ仲ガヨクナッタノハメデタシ

◆▼9ページ◆▼ 昭和5(1930)年1月6日(月)

天気 晴

温度下リホント一ノ冬ラシクナッタ

朝出ル前ニ仕事ヲ命ジ九時頃ヨリ上京 ズット局ニ行ク 皆居タ 新井少佐不在 局長  
來客ノ爲メ挨拶セズ 外皆一人々々挨拶シテ三葉検査ト宗里アブロノ事ヲ西川氏ト  
打合セ丸ビル伊東屋ニテ買物ヲナシ鳥飼ニヨツタガ來テ居ラズ協会ニ行キ長岡閣下ニ會  
ツテ昨冬ノ経過ヲ報告シ本年度ノ計畫ヲ話シ石川島モス借入ニツキ有川氏ニ頼ンデ貰  
フコトヲ依頼ス 來ル十日理事会デ會フカラ話シテ置クトノコトデアッタ。ライトプレー  
ンノカタログガ來テ居タノデ貰ヒ清平ニ電話シタガ田中先生不在トノコトニ研究所行ヲ  
中止シ、ニオンノ小曾根氏ニ電話シタガ之レ又不在ニツキ会見ノコトヲ頼ンデ帰宅 三  
時半 今日ハスラ、ハ早ク用事ガカタツイタ

◆▼10ページ◆▼ 昭和5(1930)年1月7日(火)

天気晴

今朝ハ手紙書キニ大分ツヒヤシタ  
午後大正三年頃ノ切抜ヲ讀ム

内田晝頃來 五円受取ル 今夜國へ帰ル由 安岡同道シテ後安岡ハ帰国スルトノコト。  
目的ハアンリオトアブロ交換シテ呉レトノコトデアッタ マトマレバ一寸助カルガアテニハナ  
ラナイ

▲▼11ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月8日(水)

天気晴

今朝床ノ中ニ三年度ノ事ヲ書ク(學校合同論)

朝大蔵ニ行ク 昨日局へ聞イテ呉レナカッタ由 頼ミ甲斐ノナイヤツダ。猿田モ電話カ  
ケテナイノデ局へ行ツタガ小見川へハカ、ラナイソウダ。帰宅後長岡氏其他ニ手紙書ク  
鈴木菊來 アブロ借リタイトノコトニテ廿三日宇都ノ宮飛行ニ対シ百円受取ル 猿田ノ  
金來ラズ 今日ノ米ノ心配中大変間ガヨカッタガ安クモアッタ  
午後小型ライトプレーン用プロペラノ現圖ヲ作ル

▲▼12ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月9日(木)

天気晴

晝前手紙ヲ書キ小曾根氏トノ契約ニツキ考ヘル

十二時前小曾根氏來場 電気ハ小曾根氏持チ 飛行機ニ関シテハ飛行場負擔 利益1  
へ2トノコトデアッタガ飛行機ニハ飛行場操縦士、機体等責任ガ非常ニ多イノデ実費差  
引イタ上ノ1、2ノ上ニ対シテモハンディキャップヲ付ケルコトヲ主張ス 氏モスグ認メテ  
率ハ研究問題トシテ成率ダケ天引ノ上1、2トスルコトナル。尚他ニマネヲサレナイ爲  
メノ実用新案ヲ取ツテ居クコトノ申合セヲナス

▲▼13ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月10日(金)

天気晴

上京 大蔵ト一所ニナル 局へ行クツモリデ上野ニテ山本氏ニ電話シタラ晝会フトノコト  
ニ山水楼へ來テ貰フコトトシテスグ山水楼ニ行ク 三十分程待ツテ山本氏來 イロ、ノ話  
ス 今製作中ノモノ式台アリ 一台ハ陸軍へ納メルモノ 一台ハスロトル翼 研究用 宣傳用ノ  
モノトノコトニソレヲ借リタイコトヲ頼ンデ居ク 方法トシテハ有川氏ト社長ガ承認スレ  
バヨイトノコトデアッタ 尚陸軍ニアルノヲ借リルコトモ話シガ出タ。スグ協会ニ行ク 長  
岡氏ハ八日ニ有川氏ニ話シテ呉レタトノコト 尚会ツタラヨカロウトノコトデアッタ 社長

二長岡氏カラ照(ママ)介状貰ツタガ杉浦氏ノ注意ニテ小松総務カラ坂谷氏ヲ煩シ親類  
關係ヲ以テ話シテ貰フコトトシ小松氏ニ話ス 丁度今カラ坂谷氏ニ会フトノコトニ頼ム  
四時帰りヨク頼ンデ居イタトノコトデアッタ。カゼインヲ買ヒニ行き清平ニヨリ帰宅 十  
一時就床

▲▼14ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月11日(土)

天気 晴後曇

昨日ハ氣持チヨク用ガ運ンダガ今日ハクタブレテ目ガ醒メナカッタ 八時起床  
十二時頃杉浦君來場 宗里ローン内部検査受檢合格 クラブノ件ナド話ス 大分好  
感ヲ持テ來タ様デ課長ノ事ナドモ話シテ居タ  
年賀状ガキイタラシイ 以前ノ様ナ同君トシテハゴーマンナ態度ハ更ニナク、ムシロ尊敬  
シテ居ル様子ニ見エタ  
坂谷氏ハ念ノ爲メ尚依頼状ヲ出ス

▲▼15ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月12日(日)

天気 雨及曇リ

早稲田理工科ノ學生七名カラ來場 竹中ノ發動機手入ヲ行フ  
合同論記述中々運バナイ  
夜早ク床ニ入ル 仁三郎夜中カラ右ノ足ノ裏ガ痛ムトテ眠レナカッタ

▲▼16ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月13日(月)

天気 晴

アンリ才練習中車輪ヲ落シ行衛(ママ)不明 着陸後轉覆。ペラ折損 其他大シタコトナ  
ク今日中ニ修理ナル 教官鈴木菊雄豊田同乗  
今日ノ仕事ニオン特許出願下書キ、小型。ペラピッチ割出シ 長岡外史へ手紙 坂谷氏ヲ  
煩シタ件諒解ヲ求メル爲メ  
夜合同論 十時迄

▲▼17ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月14日(火)

天気 雨曇リ

合同論少々書ク

佐野ノ手形明日期日ノ分今日入金ス アト金ナクナツテ心細イコトオビタマシイ

▲▼18ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月15日(水)

天気 晴

今日上京予定デアッタガ金が足ラナクナッタノデ手紙デ岩中電気広告ノ件ヲ日本ビールノ□良氏へ出ス 関根カラ十六日一般拂下ガアルノデ其後ニシテ呉レトノ手紙ガ來タノデ十七日最(ママ)非送レト打電ス

ニオン実用新案ノ原稿ヲ作り小曾根氏へ送ル

川辺佐見君昨夜今日帰ッタ由 今日出テ來タ弟君ノ病氣思ワシクナク元氣ガナカッタ

今日ハ変ニ余リヨイ日デナカッタ 東京へ行ツテモ六ナコトハナカッタデアロウ

▲▼19ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月16日(木)

天気 晴

イヨヽ文ナシニナッタノデニーム削フ拂下ケル 又十錢下シテ居タ

リバテイノ中央翼支柱トネピヤノ部品ヲ應用シタツイ立ガ出來タ

市川ノ八百清ノ主人ガ金ヲ取りニ來タ 氣ノ毒デアッタガアイニクナカッタノデ來月ニシテ貰フ

川辺君ノ弟看病ノ爲メ賄ノオバサンヲ貸シト呉レトノコトデ貸スコトニシタガ川辺君ガ家内ノ前デオバサント打合せシナガラ家内ニ一言モコトワラナカッタトテ大變オコツテ居タ 御産以來二三日前カラ初メテ月経ガアッタノデ氣モ荒クナツテ居ルガ川辺君モ少シ非常識デアッタ

▲▼20ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月17日(金)

天気 曇雨

上京 有川氏ヲ協会デ終日待ツタガ出席ノ筈ノ處出席セズ 晝日日へ一二時間行ツテ居ル間ニ來ナイ筈ノ坂谷氏來 ツヒニ会エズ 小松氏ニ此間ノ話シ聞イテ呉レタカト聞イタガ聞カナカッタヨシ。杉浦氏明日坂谷氏ニ會フトノコトニ聞イテ居イテ貰フコトトス 長岡氏モ相談役会デ会エズ名刺ニ書キ残シテ帰ル

▲▼21ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月18日(土)

天気 晴

橋本国ニ名儀(ママ)変更ノ件承認ヲ與ヘル 尚自分会社ニ対スル立場上三千五百円皆

濟ノ上ハタゞチニ名儀(ママ)書替ノコト 又他ニ賣ル場ハ前以テ話シスルコト等ノ返リ書ヲ取ツテ居ク

同道シテ千葉ニ行ク 國吉氏訪問 不在 竹内ニ行キタイプライターノ手紙ヲ見テ貰フ 訂証(ママ)スル處アリ。オートバイニテ送ラレテ停留所ニ來ル 國吉氏訪問 廿七日 競賣ノ件ニツキ聞ク 町役場カラ税金ノ件ト高橋ノ残リアリトノコトニナイ筈ダト云ツテ利ガアルトノコト 利子ハ、マケサセルトノコト話デアッタト云ヒタカッタガ其マ、トス。即チ利子ト費用三十円 税金式百九十式円 合計差引五百九十二円トノコト 之レニ対シ國吉氏ダケ當日行ツテ帰り工場ニヨルトノコトデアッタ。金ノ目當モアルトノコトタレカニ買ワセテ居クツモリラシイ 大坂ノ方解除シテ貰フ金ヲ作ロウトノコトデアッタ

▲▼22ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月19日(日)

天気晴

八時起床 橋本ト話シ合フ 登記シタトノコト 五月末ノ期限ヲ早クシテ呉レ、税金ヲ持ツテ呉レ他ハ譲ルコトノ承認ヲシテ呉レトノコトデアッタガ税金ダケハ持ツテヤルガ其他ハ來月下坂ノ節解決スルコトトシテ昨日前ノ書類ヲ受取ツタノデ委任状ヲ返ス 國分寺ニ有川氏訪問 不在 書類ヲ預ケテ帰途新井三郎氏訪問 來客モアル様子ノ上今夜大坂へ出張スルノダトノコトデアッタ 陸軍ノモス借入ノコト馬詰等ノ出長(ママ)ニ対スルクラブノ立場ヲ明ラカニシタ 課長ノコトニ及ンダガ多クヲ云ワズ。誰レカチュウシヨウシタモノガアルノデハナイカトノコトデアッタガ、早川氏工場設立以來様子ガ変ツタ様ニ思フト答ルタノデ成程ト思ツタラシカッタ 今局長ト非常ニ仲ガ悪ルク課長ノ用件ヲ新井氏ニ話シニ來ルトノコトデア(ママ)ツタモ、モウ永クアルマイ。クラブハ工場ノ生キル道デアアルコトモ話シテ居ク 清平ニ立寄りタイプライターノ打直シヲ頼ンデ帰ル 十一時就床

▲▼23ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月20日(月)

天気晴

今朝ハ起キラレズ九時過ぎ迄寝タ 午後内田カラ高橋ト最(ママ)非分レタイ希望アリ ソレト関連シテアプロト交換ノ件取キメ今夜帰国スルコトニ極メタガ金ガナクテ帰レナイトノコトニ古物屋ニ話シ十円借りテ六円旅費ニ渡ス 十一時ニテ帰郷ス 新療法ノ案内書來ル 思タヨリ実効ガアリソウデアッタ

▲▼24ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月21日(火)

天気 晴

時事 議会解散 浜口首相犬養政友総裁ノ一騎打アリシモ犬養氏ノ質問力ナシ。五  
国軍縮会議ロンドンニ開カル

有川氏ニ会見申込ミノ手紙出ス。振替貯金ヲ調べテ新療法研究所へ送金 申込ミヲナ  
ス

夜リバテイー記念ノツイ立ニ父七十七ノ時機上揮毫ノ写真ト字ヲ張付ケル 大変ヨク  
ナツタ

右ノ奥歯ガドウニモ氣ニナルガ抜クノニ少シ都合ハ悪イノデ取敢ズライオンノ水ハミガキ  
ヲ買ヒニヤリ今夜カラ初メル

▲▼25ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月22日(水)

天気 曇リ

晝今朝試運轉シタ宗里アブロノ完成検査ヲ見テ貰フベク局へ電話スル 西川氏出テ明  
後日行クトノコトデアッタ

今日ハユックリシタ氣持チニナレタ 金ハナカッタガ何ンタガ落付ケタ

野口君來 一寸話シテ帰ル

▲▼26ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月23日(木)

天気 晴

今日モノンビリト終ル。アセル氣持モスルガ軍用金ナクテ出ラレズ 内田帰ラズ

夜田中霞ヶ浦ノ帰途立寄ル 明日横須賀ニ行ク由 分工場ニ通知シタモノト見エル

橋本川辺鈴木等ノ格納庫料ヲ取ツテ呉レトノコトデアッタ由。來月行ツテ解決スルコト  
ニシテ居ク

山田君ニ小遣ヲ十円程宗里デ持ッテ來テ貰フ様タノム 夜來テ金ナク、帶止デ金ヲ作  
リニ行ツタガ出來ズ 之レデ何トカナラヌカトノコトデアッタガコチラデモ何ニモナラナ  
イ

▲▼27ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月24日(金)

天気 晴

内田ノ帰リヲ待ツノミ 閉口

▲▼28ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月25日(土)

天気晴

朝内田ヘイツカヘルカ打電 正午ヨリ上京途中返電ヲ見ル アスツクトノコト  
酒井孝太郎君カラスグ返事ガアツタ 大変ウレシカツタ 小供時分ノ事ガ思ヒ出サレタ  
上京 日日二十年式翼ノ報告火曜日辻本君ニ見テ貰フコトトス。東洋軒デビフテキト  
紅茶ノ馳走ニナリ佐藤ニテ買物ヲナス 久シ振りデ会フ。五時十分頃協会ニ行ク 模型  
競技会ノ審査員ヲ頼マレル  
矢野君ニ会ヒ正会員ニナツテ貰フ 石橋ニモ頼ムコトニシタ。安藤孝ニ会フ 横廠ノ件手  
配 四百五十円デ賣ルコトノ諒解ヲ得ル  
眞空療法器着 夜第一回ノ試験ス  
本日ヨリネルチス錠復(ママ)薬。ウガイモヤル 体操モヤル 之レデ大ニ身体ヲ強健ニシ  
テ、ウント勉強モシ活動モシタイモノダ

▲▼29ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月26日(日)

天気晴

仕事休ムツモリデ居タ處工場員ガ出テヤツテ居タ御蔭デ明後日ハ樂ニ検査ニ間ニ合ヒ  
ソウダ  
伊藤兼助及女工再三來タガ内田帰ラズ大ニ氣ヲモム  
カセイデ木材洗ヒ方ノ試験ヲ自身デヤル 成績ヨク、プレーンナド此方法ニヨルコトニス

▲▼30ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月27日(月)

天気晴

晝局ヘ電話シテ明日來テ貰フコトヲ依頼ス 曾田氏ニ昨年ノアブロノ補助金ノコトヲ聞  
ク 漸ク査定ガ出來タ處ダトノコトデアツタ  
内田ヘ早朝イツ帰ルカ打電セシモ返ナシ  
安岡ノ宅デハ妻君モ大分困ツテ居ルラシク一円貸シタガアトドウスルカ知ラ 何ントカ  
シテヤリタイガ今ノ處ドウニモナラズ閉口

▲▼31ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月28日(火)

天気曇リ

晝前ヤツト辻本氏來 検査時間ナク飛行三十分ニテ着陸 大蔵十年式翼ノ爲メ來場  
宗里アブロ合格セシモマグネト一ダケ残ル  
内田今日モ返ナシ

馬詰ヨリライトプレーンヲ営利ト認メルトノ手紙來 夜返事 腹案ヲ作ル

▲▼32ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月29日(水)

天気晴

馬詰ニライトプレインクラブガ當利ニアラザル回答ヲ出ス

▲▼33ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月30日(木)

天気晴

上京 局補助金ヲ聞ク 六百九十一円マダ一週間以上カゝル由 新井少佐ニモスノ件  
ト馬詰ノ件話ス 明日陸軍省ヘ行ツテヤルトノコトデアッタ

日日ニ行キ十年式翼自動車デ取りニ來ルトノコトデアッタガ金ハ來月ダトノコト 明日  
最(ママ)非イクラカ内渡ヲ迫ツタガダメ。尚羽布ノコトヲ頼ンデ帰ル

池袋ニ小曾根氏ヲ訪問。目下特許ノ方調査中ニツキ出來ルダケ早クスルコトヲ頼ム。西  
川フトン店月ギメニ回程ヤルトノコトデ二月中ニ最(ママ)非ヤリタイト云テ居タ。帰宅  
午後九時 帰り安岡ニヨツテ五十銭ガマロニ残ツタノヨ届イオト肉ヲ買ツテ來タノデ居  
イテ來テヤル

▲▼34ページ▲▼ 昭和5(1930)年1月31日(金)

天気晴

今日ハ近所ノ小サイ懸ケ取りデ夜迄ナヤマサレタ

内田カラ廿円 鈴木カラ十円這(ママ)ツタダケ皆ニ小遣ヒモヤレナカッタ

賄ノ川辺ノオバサンヲ今日限りデ止メルコトニナッタ 之レハ家内マカセニシテ居イタノダ  
ガ今後家内一人デカナリ急(ママ)ガシイコトト思ワレル。早ク經濟的ニナントカシテヤラ  
ネバナラナイ

▲▼35ページ▲▼ 2月

春季飛行ノ準備

機体交渉繼續

石川島陸軍今月決定発表ノコト

拂下運動

アンザニー シーメンス

夜間飛行決定ノコト

ニオント契約ノコト  
特許急グコト  
クラブ会員募集ノコト  
鈴木甲三作業ノコト  
工場十年式準備ノコト

▲▼36ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月1日(土)

天気 曇リ

九時頃起床 今日カラ賄ヲ家内ガヤルコトニナッタノデフトンハ上ゲテヤルコトニシタ  
夜床ニツイテカラ今月ノ予定ヲ考ヘル 只金ガ無いノデ思ワシイ運動ガ出来ナイノハ閉  
口 何ントカシテ少シ余裕ヲ作リタイモノダ  
今日ハ半日桜井忠温氏ノ銃後ヲ讀ム  
大坂ノキン姉ノ病氣モ思ワシクナイトノコトニ見舞状ヲ出ス。兄ニ六四日ノ法事叔母ノ  
三十五回忌トハル(父ノ先妻)ノ五十回忌ニ案内ヲ受ケタガ行カレナイコトト少シ費用  
ノ足シニデモ送リタイガ出来ナイコトヲコトワツテヤル

▲▼37ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月2日(日)

天気 雨

終日雨 東京ハ昨夜カラ雪デアッタ由 一寸以上積リ居ルトノコト  
正午所員全部ト会食シ食後満十五周年ニツイテノ話シヤ写真ヲ見セ五年一月ノ初帝  
都訪問飛行ノ日記ヲ讀ンデ聞カセル。終ッテ今年度及今後ノ飛行界ノ状況ヤ方針ヲ  
語ル。上野ヨリ皆シナノ爲メニ積立金ノ方針ヲ立テホシイトノ希望アリ。部品デヘン  
ナイフヲ作ルコトヲ話ス。尚作業費上高ノ何分カラ積立ルコトヲ考慮スルコトトス  
ライトプレーン製作方針ニ突進スルコトヲ云ヒ聞カセル。夕方佐野利一來 肉ヲ呉レタ  
ガ晝メシガオソカッタノデ味エナカッタ  
川辺君昨日新井少佐訪問ノ時ライトプレーン話シ出テ昨日陸軍省へ話スベク、課長ニ  
話シタ處陸軍デ呉レタラ、コチラニ使ヒ道ガアルトノコトデアッタ由 ダガ尚機ヲ見テ、  
最(ママ)非話シヲ進メテヤルトノコトデアッタ由

▲▼38ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月3日(月)

天気 晴

春日和デアッタ 午前田中来 二三時間話ス 晝食ヲ共ニス 田中ヨリ五円 川辺ヨリ

五円入り米代ヲ拂ツテ上京

四時二十分飛行館着 今年ノ飛行競技会ヨリ馬券同様ノ優賞投票券ヲ發賣スル計畫ニア局ノ方ハ大体諒解ヲ得タカラ内務省ノ運動ヲスルニツキ若シ出來ル様デアレバ、クラブ社團法人ニシナケレバナライニコトノ諒解ヲ馬詰カラ話サレタ訳デー同讚(マ)成。遠藤君ヨリ會計ヤ會員名簿ノ報告ヲ請求スル處アリ バンサンヲ共ニス 会スルモノ川辺、御原、遠藤、高木、徳永、木暮、相羽、伊藤酉、以上 井上長來場セシモ加ワラズ片岡アトヨリ來ル。ライトプレーンクラブニツキ馬詰ヨリ余ノ返事ニ対シ成ベク大ゲサニヤラナイ様ニトノ希望アリタルノミデアッタノデ自分モ万一ノ場合ハクラブヲ退クツモリアッタガ思ヒ止マル  
帰途御原氏ノ宿ニ立寄り十二時帰宅

▲▼40ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月4日(火)

天気 晴

今日豊田六十円三時間分納入ス。スグ賄ノ買物ト古金屋ノ借ヲ返シ所員ニモ湯錢トシテ少シツ、分ケル  
豊田ノ友人荒川ト云フノガ去ル廿八日來テ入会スルトノコトデアッタ由ダガマダ來ナイトノコトニ手紙ヲ出ス様云ツタガ處ガ分ラナイ由。氣ノナイ奴ニ六困ツタモノダ。今度來タラ最(マ)非会ワセル様話シテ居ク

▲▼40ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月5日(水)

天気 曇リ

朝晴レテ居タガ後次第ニクモル アスハアヤシイ  
學校、鈴木モ練習ヲヤル クラブモ久シ振リデ練習出來タ  
局ヨリアブロン補助金下附ノ通知アリ 金六百九十一円 之レデ十日頃間ニ合フダロウ  
ライトプレーンクラブニツキ局カラ聞合セアリ回答ヲ出ス  
ニオンライト特許ノ件急ガセル 出來ナケレバコチラデヤル旨云ツテヤル  
甲三ロンゲロン用材石川ノ兄ノ處へ買ヒニヤル 方五十錢 但シ木渡シ引イタモノダカラ先ヅコンナモノダロウ

▲▼41ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月6日(木)

天気 雪後雨

朝尺二寸程積ツテ居タ 晝過ぎカラ雨ニナツタガソレ迄大分降ツタ 一三年來ノ大雪

今日モ佐藤齒痛デ休ム 工場アブロノ手入ヤペンナイフヲ作ラセル  
川辺君夕方來 天王寺谷君ガ學校ヘ來ル事ニナツタトノコトデアッタ。又ケンカヲセネバ  
ヨイガ。主トシテ局方面ノ連絡ヲ取ツテ貰フノダトノコト 彼レニソナ事ヲサセテ、ウ  
マク行クト思ツテ居ルノカ知ラ。尚醫者ニ見テ貰ツタライヨ、肺病ト決定シタトノコト  
山田君來 宗里ノアト引受ニツキコマツテ居ル様子ナノデ大ニ進メテ居ク  
今日ハ作業原稿計算ヲ終ル

▲▼42ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月7日(金)

天気 晴

晴レタレドモ午後ヨリ風強シ 鈴木宇都ノ宮行明日ニ延期  
石川島ノ方ノ機体借入ノ件大ニ進メタイノダガ金ガ無クテ出ラズ氣ガ氣デナイガ止  
ムナク今日ハ三年度ノ決算ヲ行ヒ古イ帳簿ノ整理ヲナス

▲▼43ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月8日(土)

天気 晴

六時東天紅ヲ見エタ頃鈴木宇都ノ宮ヘ飛行ス  
新帳ヲ作ル

安岡昨夜歸リタル由ニテ出場。豊田練習ヲ行フ リボン線ニテペンナイフ見本ヲ作ル  
作業中飛行機部品ニテ種々モノヲ作り其賣店ヲ長屋エ出スコトノ案ヲ立テル

▲▼44ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月9日(日)

天気 風雨

余リヒドクナツテ居ルノデ襖張リヲナス  
夜鈴木菊十一日ニ延期ニナツタトテ帰場 十円受取ル

▲▼45ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月10日(月)

天気 風雨

午前中猛列(ママ)ナル風雨 午後次第ニヤム  
信太郎齒痛ノ爲メ學校ヲ休ム  
リボン線ノペンナイフト見本函ヲ作ル

▲▼46ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月11日(火)

天気 曇り風

昨夜清平來一両日中ニ雇員ノ辭令ガ出ルコトニナツタトノコトデアッタ  
羽布ノシオリヲ作り見本函ニ陳列ス  
清平夕方帰ル  
朝食ヲ十時晝食ヲ二時ヨリ初メ豚ヲスキ焼デ清平ニ馳走ス

▲▼47ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月12日(水)

天気 晴風

晴レタレドモ風強シ 鈴木宇都ノ宮ヨリ帰ル 僅カニ、十円持ツテ來タダケ  
大蔵ニ頼ンデ局ノ補助金ノ手續キラシニヤル モウ現金ガ來ルツモリノモノガ書類ノ訂  
証(ママ)デ又一週間ハ遅レル

本記事六十三日ノ分

▲▼48ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月13日(木)

天気 晴

イヨ、仕様ガナイ イスバノ二百ヲ一台拂下シテ卅四円ヲ得  
米ト信太郎ノ月謝其他ヲ取り、クラブノ運動ノ爲メノ上京費ニ五円取ツテ居イタ處  
千葉ノ稅務署カラ地租ヲ取りニ來テ二円四十余錢取ラレ今日臨時ニ催(ママ)ツタ大工  
ニ鈴木ノロンゲロンヲ、ケヅラシタ處一本削リソコネテ代品ヲ又買ヒニヤルノデ五円出シ  
テ仕舞フ  
実ニ困ツタ 毎日氣ガ氣デナイガ上京ガ出來ナイノデ閉口

本記事六十四日ノ分

▲▼49ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月14日(金)

天気 晴

ライトプレーンクラブノアンリオガ出來ルノニツイテ豊田ニ此間カラ話シテアッタ 今日  
ハ最(ママ)非菱川ノ處ヲサガシ出シテ來ル 若シ万一ノ場合ハ一人分位ノ入会金ハ都合  
スルトノ頼モシイ話シデアッタ 鈴木ニ金ノ請求ヲシ機体ノ掃除ヲスルコトヲ命ジテ居ケ  
千葉ノ内山旅館ノ主人來 兎ニ角金ガ這入ツタラ少シ持ツテ行キ何ントカ話シヨツケ  
ルコトニ極メテ帰ス。午後千葉ノ國吉へ行ク予定デアッタガ明朝ニス

大工ノ大塚午前醫大ニ行き帰國ノ上養生スルコトニシテ來タ、ニツキ今日父ニ會フ爲メ

上京シタイトノコトニ暇ヲヤル

本記事六十五日ノ分

▲▼50ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月15日(土)

天気 晴

本日ノ記事六十四日ニアリ

▲▼51ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月16日(日)

天気 晴後少雨

朝食後千葉ノ國吉氏訪問 高橋健ノ先月廿七日ノ競賣ハ競買者ナシト云フコトデ延期ニシタツイテハ此際高橋ハ其費用サエ出スコトヲ、オシミアトノ責(ママ)權ヲ捨テテモ差支ナキ由ダカラ此際イクラカ金ヲ作ツテ來タラ全部済マセル様ニ取ハカラウトノコトデアッタノデ次回ノ競賣日ノ決定迄ニ金ヲ作ツテ與レトノコトデアッタ イヅレ大坂行キノ上ノ事ト返事シテ帰ル

帰途鈴木芳次郎氏訪問シタガドコカエ移轉シテ居ラナカッタノデ手紙デ事ワルコトニス。晝頃帰ル 大蔵ノ家内ガ遊ビニ來テ居タ

今日ハ自動車賃ガ非常ニヤスカッタ 一区三錢デアッタ 之レデハ電車ニ乗ルノハ馬鹿ラシ新シイ位ノモノダ。夕方鳥飼葉方上田來 夕方ヲ共ニス

▲▼52ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月17日(月)

天気 晴風強シ

今日ハクラブノガソリントカストルデ苦心シタ 風ガ強クテ練習ハ出來ナカッタ 午後カラアブロノ夜間飛行装置ヲヤル

▲▼53ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月18日(火)

天気 晴

川辺ヨリカストル一罐借り高橋ガソリン一函買入レクラブ練習ヲ行フ 夜間設備、正午工藤氏來場 アブロノ写真機取付改造ニツキ打合せヲナシ、晝食後工場外觀全影(ママ)ヲ一枚取ツテ貰フ

學校ノ方デニ名写真ヲ取ルモノガアッタ

補助金マダ來ラズ 大蔵ニ聞キニヤル 經理ノ方ニ廻ッテ居ルガマダ送ッテナイトノコト

▲▼54ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月19日(水)

天気 晴

昨日内田へ打電セシモ帰ラズ 明日一日デ豊田ノ練習費モ切レルノデ明一日ダケヤッテ明後日内田ノ帰場如何ニカ、ワラズ発動機ヲ分解スル事トス

保険課カラ下附金ガアッタ筈ダガマダ金ガ來ナイトノ請求ガ來タ スグ返事ヲ書イテ居ク

▲▼55ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月20日(木)

天気 快晴

小供ノ夢ハメッタニ見タコトガナイ オソラク初メカモ知レナイ 今朝恵美子ト風呂ニ入ッテル様ナ夢ヲ見タ。

此頃ハ二時カラ三時迄ノ間ニ満ト仁三郎ニ小便ヲヤラセルノガ自分ノ役目ノ様ニナッテ居ルノデ今日モヤラセタアト眠レズ飛行ヲ讀ンダリ事業方針ヲ考ヘタリシテ六時頃又ウト、トシタ。内田ニ起サレテ起床

今日ハ浜口内閣ノ総撰擧デアアル 自分ニハ依頼状ナド沢山來テ居ルカラ撰擧人名簿ニ出テ居ルノデアロウガ昨年五月引越シテ來タノダカラ當然撰擧権ガ無いノガ當マエナノデ行カナイ事ニシタ 若シ入レレバ民政黨ニ入レルツモリデ居タ。川辺君ハ政友ノ川島氏ニ入レルトノコトデアッタ

博文館ノ懸賞発表 一等二等東京日日、三等以下ハ文藝、新青年、少年世界四月號ニ。今日前記ヲ日日新聞デ調べタガ一二等ニハ這入ッテ居ナカッタ

▲▼56ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月21日(金)

天気 曇少雨

昨日ロンゲロン着イタノデ大工來 曲ゲル

今日ハクラブノ賛助会員募集ノ原稿ト徽章ト下圖ヲ作ル

稲毛カラ、ナホガ來タ。左官屋ノ棟上ゲノ爲メ

▲▼57ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月22日(土)

天気 晴

アンリオノローン取降シ分解ヲヤラセル

金太郎が大久保ノ聯隊ノマカナイニ這入ルコトガ出來ソウダトノコトデアッタ

▲▼58ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月23日(日)

天気 晴

日曜ナレドモアンリオローン整備ノ爲メ休マズ

白戸へ川辺君ガ行クト云フノデ先搬借リタ本ヲ事傳ル

山田君ノ兄サンガ來ルトノコトデ待ツタガ、ツヒニ來ナカッタ

▲▼59ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月24日(月)

天気 晴風強シ

宗里アブロノ下附金領収ノ爲メ大蔵頼ミニ朝行ツタラ仙台ニ行ツテ居ナカッタノデ佐藤カラ式円借リテ上京 マダ請求書ガ富田氏ノ手許ニアッタ 今日廻ストノコトデアッタ。經理デシラベルト北河ノ分マダ送金シテナカッタ 今日スグ送金スルトノコトデアッタ

協会ニ小松総務ト会合。過日有川氏ノ居ル處へ丁度浜沢社長モ來タノデ、クラブノコトヲヨク頼ンデ居イタカラ會ツテ話シ出來ル様ニナツテ居ルトノコトデアッタ 日日ニヨッタガ誰レモ居ラズ帰宅。後川辺、鈴木、宗里ノ請求書ヲ作り渡ス

▲▼60ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月25日(火)

天気 晴

晝前ヨリ上京 經理局ニ行ツタガ明日ノコトニナツタノデ、久シク希望シタ柴田小鳥店ニ行ク 金花鳥ト白ノ十姉妹ヲ買ツテ帰ル

▲▼61ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月26日(水)

天気 晴

上京 經理局ニ行ク 二時頃ニナルトノコトニ日日ニ行ク 大蔵、和田、須田君ニアッタガ吉田氏來ラズ 三時漸ク金受取り、一寸工藤ニ立寄り汽車ニテ帰ル

▲▼62ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月27日(木)

天気 曇リ

随分氣ヲ引ベテ支拂ヒヲナス ソレデモドウモアトガ心細クナリ北河モ金ガ來ナイノ

デ夜鈴木ヲ呼ンデ、イツ出來ルカヲ聞イタラ、予定通り出來ナイラシイ上ニ又五十円負ケテ呉レトノコトニ大ニシヤクニサワツタノデ絶対ニイケンイ 先ヅ金ヲ持ツテ來イト云フコトニシタ 尚昨年ノ行衛不明ニツキ大ニ難ジテ居ク  
内田契約書ヲ作り渡ス。調印ハシテ來ナカッタガ仕事ハ進メテ居ク  
夜女ノ練習生來 四月カラ來ルトノコトデアッタ。臼田カラ夜間飛行ノ件ニツキ來テ呉レトノコトデアッタガ今夜ノ間ニ合ワナイノデ明日行ク旨打電ス 今日ハヨイ日デアッタ朝二三日前ニ買ツタ金花鳥ガ玉子ヲ生ンダガ巢ガナカッタノデ喰ツテシマッタノハオシカツタ  
豊田八十円納入

▲▼63ページ▲▼ 昭和5(1930)年2月28日(金)

天気 雨

今日ハ一寸急(ママ)ガシカッタ。ガソリントオイルヲ買ヒニヤリ一二月分ノ計算ヲシテ全部ノ給料支拂ヒヲナス 一寸氣持チヨカッタガ外ノ支拂ヲ考ヘルト又イヤニナツタ  
北河カラ送金シテ來ズ打電シタラ金ツイタ塗料送ツタトノコトニ殘金電送ヲ乞フ旨打電ス

内山ガ來タガ北河ノ金來次第行クコトニス  
午後安岡ノ引越シニツキ家主ニ三ヶ月分ノ處一ヶ月分 米屋ノ十五円ヲ五円支拂ヒ外二十一円ヲ現金ニテ渡シ合計昨日カラ四十円渡シタコトニス  
本所小梅ノ白倉ヲ訪問 不在 妻君ヲシイノガ、夜間飛行ノ件極タラシイトノコトデアッタ。彼女ノ態度ガナンダカブジヨクヲ感ジタ。スグ帰宅  
写真写ス警視廳ノ許可願ニ石川ヲ上京サセタガ地図ヲ添エルトノコトニ又明日必要

▲▼64ページ▲▼ 3月

春季飛行ノ準備  
石川島ノ件  
陸軍ハ兒玉氏ニシヤマサレル  
拂下運動モ局ヲ通ズルコトハ一時中止  
夜間飛行ノコト  
鈴木甲三作業ノコト

▲▼65ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月1日(土)

天気 晴

思ヒガケナイ上天気ニナツタト同時ニ思ヒガケナイクラブノ入会者が來テ三百十八円入金アリ元氣ツイタ。コレデ春季飛行ノ運動ヲヤラネバナラナイ 差當リガソリン十カ  
ンカストルニカン購入ス

夕方清平來 田中先生五月ニ獨逸ヘ行クコトニナツタトノコトデアッタ。ソシユ不在中自  
由ナ研究ヲヤツテヨイコトニナルラシイトノコトデアッタ。越中島ノ引越ハ終ツテモ尚低  
圧実轉ノ爲メ残ル由

北河ヨリ金モ手紙モ來ラズ 保険署ヘ事ワリノ手紙出ス

◆◆66ページ◆◆ 昭和5(1930)年3月2日(日)

天気 曇リ晴

清平ニ特許局提出ノ圖面ヲ畫カセル

久シ振リニ皆小遣ニアリツイテ、ヨク遊ビニ出カケタラシイ

今日ハ自分ハ写真室ノ完成ヲナス。硝子ヲハメ替エタリ目張リヲシタリ床板ノクサレタノ  
ヲ張換エタリ 立派ニナツタ

クラブ會員希望者一名來 四月ヨリ入会予定

昨日入金ノ田中君本日一回同乗練習ヲ行フ

黄梅ガ今満開デトテモキレイダ 昨年ヨリ成績ガヨカッタ 今日植木屋ガ竹ヲ持ツテ  
來タノデー鉢買ツタ 代一円五十錢

◆◆67ページ◆◆ 昭和5(1930)年3月3日(月)

天気 雨

夜間飛行ノ特許願書ヲ書キ提出

佐藤親戚ノモノ上京ノ爲メ休ミ上京

上野発、埴山畠山イス。パノ二百

門松太田 夜間装置

高川石川テープ作り 鈴木甲三用

ライトプレインクラブ会則ヲ謄写板原紙ニ書ク 手首ガ痛クナツタ

◆◆68ページ◆◆ 昭和5(1930)年3月4日(火)

天気 曇リ

北河ヨリ金到着 千葉ノ九八小切手ニナツテ居タノデ入金ニヤツタ處普通ノ取立ニナル  
ノデ六日カ七日デナケネバ入金出來ナイトノコト 馬鹿々々シイ銀行ダ

今日ハ皆練習アリ 夕方カラ又ハラ、ヤツテ居タ イヤナ天氣バカリ續イテ氣分ガ悪  
イ

佐藤休。門松太田、アブロ。埴山畠山イスパノ三〇〇。高川テープ甲三 石川印刷

▲▼70ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月6日(木)

天氣 曇り雨

石川警視へ東京飛行ノ許可願ヒニ上京

佐藤晝前出 ローン内田段組立埴山畠山

工場十年式ツキ手金具門松

々アブロ夜間装置太田

鈴木甲三テープ高川半

工場十年式脚高川半 津見送り分

▲▼71ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月7日(金)

天氣 雪後雨

寒イ日デアツタ 門松又休ム 老人ノ様ナ男ダ

石川警視廳行 昨日ノ書類不備ノ爲メ

田中ヨリアンリオ今月下旬出來ル由來ル

鈴木ヲ呼ンデ金請求 十日頃作ル由

佐藤、埴山、畠山イスパノ三〇〇

太田十年式金具

高川同脚テ 工場用

上野 発

▲▼72ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月8日(土)

天氣 雨曇

朝食後千葉ノ醫大二行き中村ノ件二時間ニ渡リ交渉ノ結果十月迄タ、待ツ訳ニ六行カ  
ナイトノコトニ自分五円内山五円、十円ツ、毎月入レルコト 出來レバソレ以上入金ノ  
事ト決定シ本日十円内入 今月末ヨリ実行ノコト 看護婦ノ方へ十円渡シテ保険課ニ  
行き十二、一、二月分入金 其後ノ三月以後ノ分ヲ來ル七月中ニ全部ヲ終ル様毎月  
入金ノコトニシテ諒解ヲ得 尚今月三月分ダケ入レルコトヲ承認ス

天気 雨

今日モ又終日大降り

安岡ニ、十円渡ス 十年式ト甲三完成迄ノ収支計算ヲナス  
晝頃田中來場 霞ヶ浦ノ方津田沼デ経営シテ毎月成行ヲ所沢へ家賃式ニ貰ヒタイトノ  
コトデアッタガ経営ハ田中ニ任カセル 名儀(ママ)ヲ尚工場出張所トシテ名儀(ママ)料ノ  
利益配當ヲナスコト 部(ママ)合ハ未定ニテ話シキマル  
アンリオ完成次第二百円渡シ残り百円バカリハ入会員來月來ルモノニヨリ、スグ拂フコ  
トトス

▲▼73ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月9日(日)

天気 曇リ

今日ハ降ラナイガ晴レナカッタ

事ム所、板圖、設計室改造ノ爲メ大工來  
大倉ノ家内昨日國カラ帰ッタトテ來ル

▲▼74ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月10日(月)

天気 晴後雨

川辺君ト博覽会ノ々場ヲ見ニ行ク 余リヨイ場所デナカッタ 日日ニヨリ有川氏ニ電話  
シタラ居ルトノコトニ石川島迄行ク 雨ハ降ツテ來ルシ場所ガ分ラナイノデ円タクヲ張  
込ム 四月中ニ完成シテ其使用方法ハマダ極ツテ居ナイカラ何ントカ考慮仕様ト云フコ  
トト外ニ陸軍ノコワレタヤツノ拂下方ニツイテモ聞イ見様トノコトデアッタ 工藤君ニヨ  
ル 今朝電話デ聞イタラ寢テ居ルトノコトデアッタガホントウデアッタ

▲▼75ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月11日(火)

天気 曇リ

訛事サシ

鈴木カラ夜迎エガアツテ行ク 鳥デ御馳走デアッタ 一人デ大分ノンダ。スツカリ酔ツテ  
帰ル 久シ振リデ歌ナドウタツタラシイ  
五十円負ケテ今日迄ノ勘定全部ヲ終ル

▲▼76ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月12日(水)

天気 晴

ステキナ天気デアッタ。工藤君早く來レバヨイト思ツタガ十二時頃漸ク來タノデオマケニ写真機ノ玉ヲワスレテ來タノデ閉口。スグ電話ヲカケテ取セテ、汐ハ一パイデアッタガ海岸カラ出テ試写シスグ現像シテ見ル。翼ノ端シガ少シ這入ッテ居タノト巨(ママ)離ガ一寸ハナレテ居タノヲ發見。大ニ参考ニナリ、取付場所ヲ少シ後口ニ、カエルコトトス

▲▼77ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月13日(木)

天気 雨

ヨク降ツタ 今日ハライトプレーンクラブノ計算ヲシテ午後ハ写真原板整理ヲナス  
夜上野ノ叔父カラ皆ニ何ニカシテ呉レト十円居イテ行ツタ金デ肉ヲ一メ目買ヒ皆ニタラフク喰セタ  
別ニ安岡鈴木ト会食ス 川辺氏ヲ呼ンダガ來ナカッタ

▲▼78ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月14日(金)

天気 晴風

工藤君來タガ風強クダメ  
弥生商会ヘマグネト二個修理ノ爲メ送ル。浜松製作所ハ十年式脚一組貸ス爲メ發送  
ベニヤ商会ヨリベニヤ板到着 代引引取ル

▲▼79ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月15日(土)

天気 曇リ風

ライトプレーキルムノ價格問ヒ合セ中今日ワインベルケル商会ヨリワザ、返事ニ來テ呉レタ

夜上野川辺君來 特許ノ事ニツキ想(ママ)談ヲ受ケル 出頭ハ差支ナキモ新聞發表ハナサザルコト。航空研究所ニテ試験シテ貰フコトハ所長ニ川辺君ガ交渉スル由 実ニ口ノウマイ人ダ

明日信太郎ノ級(ママ)落發表アル由

▲▼80ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月16日(日)

天気 晴

十一時頃工藤君來 安岡操縦ニテ出發 高度四百デ撮影シタ由 大分低イノデドウカトノコトデアッタ 今一回ヤル筈ノ處写真眞器ニ故障アリ中止シタ由。

各部トモ練習盛ニヤル

信太郎早朝ヨリ學校ノ発表ヲ見ニ行ク 幸二級(ママ)第シタ由 ヤレ、安心  
朝國吉氏訪問 二十八日迄ニ弐百円アレバ何レトカ訴訟取サゲヲサセテ打切りニスル  
トノコトデ尚万一ノ場合ハ延期スル由デアッタ 尚前ノ税金六向フテヤハリ拂ツテ呉レタ  
ノダソウダ

昨年度ノ税金ガ來テ居ルノダガ最(ママ)非支拂ヒタイガドウモ勘定ガ不足ナノデ閉口

◆▼81ページ◆▼ 昭和5(1930)年3月17日(月)

天気 晴

ニオンライト二八日付デ共同出頭ノコトヲ云テ來タガスデ二三日ニ提出済ミデアルノデ、  
何回交渉シテモ小曾根氏カラ返事モナカッタ爲メニ最後ノ手紙ヲ出シテ提出シタ。ス  
デニ受付番號モ來テ居ルノデアルガ、今日尚一應先方ニ共同ノ意志ガアルナラ、ヤツテ  
モヨイノデ一度來テ呉レル様手紙ヲ出ス

十時ヨリ上京 久シ振リデ材木ノ買ヒ出シニ行ツタ 何ンダカ氣持チガヨカッタ 昔シテ  
思ヒ出ス。岡田氏ニ會エズ宅へ電話ヲカケテ居ク。九段ノ小鳥屋デ十姉妹ノメスヲ買ヒ  
信太郎ノ進級祝ニネダラレタ頭微鏡ヲ買テヤル。工藤君ニヨリ今一度写スコトニナリ警  
視廳ニ行ク 夜九時帰ル

◆▼82ページ◆▼ 昭和5(1930)年3月18日(火)

天気 晴

工藤君來場 午後一時頃撮影ニ行ツタガモヤノ爲メ面白クナカッタ由 其爲メ操縦モ  
出駄羅目ヲヤツタ様子デアッタ

遠藤氏來 馬詰君トノコトニツキ諒解ヲ求メル様ナ話シガアッタノデ先日川辺君ニ話シ  
タ自分ノ意見ヲ述ベテ居ク

◆▼83ページ◆▼ 昭和5(1930)年3月19日(水)

天気 曇リ晴

朝上京 第一ニ工藤君ヲ訪フ 風呂ニ行ツタ處デ待ツ間ニ昨日ノ写真ヲ見ル。モヤデ全  
然駄目デアッタ

シバラク待ツテ共ニ会場ヲ見ニ行ク。前ノ場所ハトテモダメナノデ飛行館ノ中海軍發動  
機ノ後ロニ替エテ貰フ。玉井ニ會ヒ額ブチヲ注文シテ、錦町ノ、オリエンタルニ同道 ソコ  
デ、ケイジ板ノ文字ノ打合セヲナシ、有楽町デ分レ日日ニ寄ル 工藤氏ハ引延シノ爲メ  
オリエンタルノ本社へ行ク。日日ニテ大蔵ニ會ヒ、岡田氏ニ電話シタガ居ラズ兔ニ角局ニ  
行クコトニシ丸ビルノ花月デ晝メシニシ局ニ行ク 西川氏カラ今日ハドウシタカシンミリ

ト工場ノコトナド聞カレタノデ、ライトプレーニ関シ所見ヲ述ベテ居ク

帝国製麻デ岡田氏ニ会ヒ手形ヲ九百九十田ニシテ渡シ三型用ノ麻布ヲ注文シテ、月島ノ埋立ヲ見ルベク清平ノ宿ニ寄ツタガマダ帰ツテ居ナカッタ。出カケルト丁度道デ出会ツタノデ共ニ行ク 下水工事ヲヤツテ居ルガ離着陸スルダケノ場所ハイクツモアッタ

▲▼84ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月20日(木)

天気 雨

終日雨 今日カラ習字ヲ初メル 永字八法ダケ今日終ル 大分得ル處ガアッタ

▲▼85ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月21日(金)

天気 晴

大口ニ頼マレテ佐々木商会へ金ヲ取りニ行ツタガ御休ミデ工藤君ニヨツテ帰ル

▲▼86ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月22日(土)

天気 晴

午後カラ上京 佐々木商会ニテ高岡ト云フ人ニアツタガ明後日送金スルトノコトデアッタ 買物ヲシテ工藤君行ク 水田サンガ來テ居タ 久シ振リデ会フ 五時過ギヨリ博覽会ニ行ク 額ハ出來テ居タ。ノリデ付ケ様トシタガ、写真ガオシクナツタノト、ノリダケデハダメラシイノデピンデ止メルコトニシタ 暗クナツタガヤツト終ツテ明朝上ゲルコトニナツタノデ、帰ラス清平ノ處へ泊ルコトニス 不在ダツタノデ先キニ寢ル

▲▼87ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月23日(日)

天気 晴

七時前ニ起キテ清平ト博覽会ニ行ク。ピンドメニシタ写真ガバラ、ハガレテ居タノデ食事方々揚出シニ寄り電話デ工藤君ヲ呼ブ 十時頃漸クソロヒ木ノフチ止メニスルコトニシテ晝頃漸ク終ル 式ニ会場ヲ見テ帰宅ス

▲▼88ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月24日(月)

天気 晴

表ノ囲ヲ今日ヤル 門柱モコンクリートニナツタガ、オシイコトニ金ノ關係上少シ細カッタ

信太郎ノ學友トシテ稻毛ノ家内ノイトコニ師範ニ居ルノデ優秀ナノガアルノデ、コチラカラ通ツテ貰フコトニシテ來テ呉レナイカ頼ミニヤツタガ師範ハ非常ニ六ヶ敷シクテソウ云フコトガ出來ナイノダソウデ残念デアッタ  
徳治ト恵美子ガ通信簿ト免状ヲ貰ツテ來タ 徳次ハニガ式ツ 恵美子ガ一ツ ドチラモ体操ダケデアッタ

▲▼89ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月25日(火)

天気 曇雨後晴レ

イヨ、金ガナクナツテシマッタ

朝國吉へ行キ廿八日ハ延期シテ貰フコトニシ明日費用ヲ持ツテ行クコトトス

明日夜間飛行ヲ東京デアラセレバ宣傳ニヨイト思ツテ計畫シタガ金ガナイノデ、ヤレナイコトニナッタ

▲▼90ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月26日(水)

天気 晴

時事 帝國復興祭 人出式百万 式場ニ重橋前陛下出御。祝賀会場日比谷上野ニテ廿余名死傷アリ

信太郎トお婆サント清平ノ處へ行ク 夕方御湯ニ這入ツテ居ル頃帰ツテ來タ

九時ヨリ千葉國吉氏訪問 裁判所へ行キ廿八日ノ競賣延期願ヒヲ提出 十一時半帰ル

事務所前ノ広場ヲ整頓スシ始メル(ママ) 一ヶ所ダケ出來ル 大変氣持チヨクナッタ

内田本日單獨帰国ス。高橋ヨリクラブ入会ニツキ入会金免除ノ願出アリシモ半額ナラト云フコトニス

長岡閣下ニクラブノ報告ト礼状及蛤トアサリヲ送ル

▲▼91ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月27日(木)

天気 晴

下志津機不時着 二三時間フイニス

内田本日行カズ今日練習後帰ル

今日モ事務所前庭手入レヲ行フ

▲▼92ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月28日(金)

天気 曇後雨

朝ノ西式ヲ終ル頃鈴木ガ田舎カラ人ガ來タトテ、ノリト外ニ品バカリ田舎ノ土産モノ  
ラシイモノヲ呉レタ

ツイデニ格納庫料ヲ聞イテ見タガ卅日カ卅一日ニシテ呉レトノコトデアッタ

天候ガ悪イノデ今日練習ガ出來ナカッタノハ幸ヒデアッタ

稲毛ノハツ(家内ノ従弟)ガ死ニカ、ツテ居ルトノコトニ先ヅ母ガ行キアトヨリ家内モ見  
舞ニ行ク 夕方帰り今日明日ガモテバ、タスカルトノ醫師ノ話シノ由 昨日ヨリハヤ、ヨ  
イトノコトデアッタ

手紙二三書イタアト高川ト前庭作り

▲▼93ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月29日(土)

天気 曇リ

降ル用意ヲシテ上京 工藤写真館ニヨリ警視廳提出ノ写真ヲ受取り協会ニ行キ道永  
君ニ會ヒ明日ノ件ヲ打合セ早稲田ニ行ク 局カラ兒玉氏一人外來賓十四五名デアッタ  
講演ハ田中館サント長岡氏ダケデ時間ガ遅レ外ノ人ハ出來ナクナッタ。モーターノ山  
本氏ニ會ヒ共ニ帰ル  
黒江町ニ泊ル

▲▼94ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月30日(日)

天気 曇リ

時事 西園寺公病状悪化ス

昨日ハ温カク不意ニ桜ガ咲イテ大サワギデアッタ様ダガ今日ハ非常ニ寒ク雪デモ降リソ  
ウデアッタ

六時ヨリ出カケ予定時間二代々木着 晝頃皆終リ一時賞品授與式ヲ行ヒ協会ニ引上  
ゲル 大ニクタブレタ 黒江町へ買イタモノヲ取りニ行キ再ビ協会ニ帰り夕食ノ慰労会  
アリテ帰宅ス

▲▼95ページ▲▼ 昭和5(1930)年3月31日(月)

天気 曇リ

朝手紙二三通書イテ居ル間ニ田中來 夕方迄居タ アンリオノ金ノ件ガ主デアッタ  
高橋今朝治來場

野田共楽館百円ニテキメル 丁度保健署ガ來タノデ支拂フ

◆◆96ページ◆◆ 4月

- 一 拂下陸軍モス(破壊セルモノ)
- 一 石川島
- 一 夜間飛行
- 一 鈴木甲三
- 一 工場十年式

◆◆97ページ◆◆ 昭和5(1930)年4月1日(火)

天気 曇り小雨

内田帰ル予定ノ處明日ニナツタ由

今日カラ皆學校 信太郎モ二年ニナツテ、カタミガ広ヒラシク熊谷ガ(落チタ子)同ジ電車デ又一年ヤルノニ今日モ車内デ誰レカカ、カラカッタラ赤イ顔シテ下向イテ居タトノコト 氣ノ毒デモアリ親ノ見ニナツタラ尚更氣ノ毒ナ氣ガシタノデ敵ニソシナコトヲシナイ様ニ云ヒツケル  
仁三郎昨夜ハ二度モ寢小便ヲシタガドウモ體質ガヨクナイノデ、西式ヲ今夜カラヤラセルコトニシテ小供ダカラ五百ヅ、ヤラセル

◆◆98ページ◆◆ 昭和5(1930)年4月2日(水)

天気 風雨

非常ニ寒ク朝ハ雪マジリノ雨デアッタ

夕方葛西ガ來テ保証金ニ対シテ東京ビラ撒布ヲ二回行フコト 其都度十円ヅゞ受取ルコト話シマトマリ第一回ハ五日飛鳥山ニヤツテ呉レトノコトデアッタ。言葉ツカヒガ馬鹿ニゾンザイナノデ、コイツ氣ガ違ツタノデハナイカト思ツタ位デアッタ。  
今日ハ手習ヒヲウント出來タ 大分書クノニ樂ニナツテ來タ

◆◆99ページ◆◆ 昭和5(1930)年4月3日(木)

天気 雨後晴

ドウカト思ツタ天候モ十時頃カラ次第ニ晴レテ來タノデガソリンヲ買ヒニヤツタ處へ野田カラビラヲ撒ク人モ來タ 晝過ギ出發 一時間十分デ帰ル 五十米突ノ低空デアツタ由

手習ヲナシ天氣ヨクナツタノデ事務所前ノ庭園ヲ完成サセル 仕事終テカラ皆手傳ツ

タノデ出来上ツタ  
今日ハ全部練習アリ

▲▼100ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月4日(金)

天気晴

風ナク上天気ニナツタ  
鈴木ノ方ノ三名三等試験アリ 二時頃試験官トシテ田中、森、斎藤氏來場 明日ニ残  
ル  
遠藤君來場 田中春雄同氏方ニ練習生トシテ籍アリタル由ニツキ解決ツク迄停學ヲ命  
ズ

▲▼101ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月5日(土)

天気晴

今日モ上天気デメグマレタ試験日和 今日ハ森、斎藤両氏ダケ來場 晝終ル  
十年式昨日胴体漸ク心出シヲ終リ本日ヨリ鈴木甲三ニカ、ル  
流山守童山東福寺ヨリ例年ノ風船祭リニ飛行機ヲ飛バシテ貫ヒタイトノコトデ承認ス  
川辺内田間ノ退學ト練習費問題ニツキ中ニ入り円満解決ヲナス

▲▼102ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月6日(日)

天気晴

予報ハ傘入用トアツタガ、ステキナ春日和ニナツタ。海岸ニモ婦人連レガ大分來タ 中ニ  
氣象台ノ予定ヲ正直ニ傘持参ノ人モアツタ  
ライトプレーン最初ノ練習生豊田單獨飛行ス  
川辺ヨリ二十円入金 明日ノ拂下ト米代ニ當テタガ不足 鈴木ヨリ十五円預リ同人  
ノ拂下モ頼マレル  
午後原稿ヲ作り直シ千葉へ夜間飛行ノ引札印刷注文ニ行ク  
上野ガ矢野君ノ作りカケノ、グライダーヲマトメ初メ今日ハ日曜ニモヤツテ居タノデ練  
習用ノ、グライダーヲ別ニ作ルコトニシ圖面ヲ出シテヤル 毎日二時間ツゞ全員ニテヤル  
コトニス

▲▼103ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月7日(月)

天気晴

川辺君ト上京 工藤ニヨリ博覧会閉鑑ヲ受取り局ニ行キ。ペラ拂下手續キヲ終リ上野  
精養軒ニ行ク 博覧会出品人会設立ヲ終リ幹事長ヲ定メ幹事其他ハ幹事長一任トシ  
テ晝食後博覧会ニ行 多加谷氏ノ照(ママ)介デ宣傳部ノ福永氏ニ会见 夜ノ飛行ニツ  
キ百円デ一回ダケヤルコトヲ申入レル ネオンハ多加谷氏が作ツテ呉レルコト  
ニオンライトニ二回電話ヲカケタガ小曾根氏出ズ 第一回ハ實際不在ラシカッタガ二回  
目ハ妻君ガ出テ來タ ドウモ居ルラシイ様ニ思レタガ、イツ迄モ待ツ訳ニ行カナイカラ何  
分ノ返事ヲウナガシテ居ク

日日ニヨリ大蔵ニ会ヒ飛行館ノ鴻ノ間会ニ出席ス 奈良原氏出席サレタガ發起人ノ友  
野氏代理ニテ草賀一人何ンダカイバテ居タ 初メカラ終リ迄コウフンシヅメデ会ノ目的  
ガ奈辺ニアリヤワケワカラス解散 ケンカ数回 ニギヤカナコト 鳥飼氏ヲ円タクデ池田  
君へ送り届ケ、オソクナツタガ清平ニ会ヒ學費ノ件ノ打合せヲナシ十一時帰宅

▲▼104ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月8日(火)

天気晴

正午過ぎ安岡流山ノ風船祭ニ飛行ス  
之レガガソリンノ爲早朝船橋ノガソリン屋へ明日拂フカラト交渉 持ツテ來サセルコト  
ニシタ。ツイデニ大蔵ニヨリ十年式翼ノ金ヲ頼ンデ居ク

▲▼105ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月9日(水)

天気晴

午後ヨリ上京 日日ニテ十年式翼ノ金受取り清平ニ会ヒニ行ツタガマダ帰ラズ。工藤へ  
來ル様、頼ンデ居イテ深川ニ松樹ヲ買ヒニ行ク 丁度ヨイノガアッタ。外ニ久シイ希望ノ  
碁盤用ノ材料ヲサガシタラカヤノ五寸厚サノヨイノガアッタ 全部デ十五円ニ負ケサ  
シ  
工藤ニ來ル清平ト会ヒ月謝トシテ四十五円渡ス アト八十五日迄デヨイトノコトデアッ  
タ  
昨日ノガソリン代ヲ船橋ニ支拂ヒ帰宅ス

▲▼106ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月10日(木)

天気曇リ

朝国吉氏訪問 不在ニテ二時間待ツ。金ノ出來ル日取りヲ知りタイトノコトデアッタ  
十五六日頃返事スルコトニス  
印刷屋ニヨリ稿(ママ)正刷ヲ見テ帰ル

夕方田中来 現金カ或ハ契約書デモ作りタイ模様デアッタガ云ヒ出シ得ズ 一度來テ  
呉レトテ帰ル

鈴木菊雄來 福井飛行ノ件ニツキ

流山ヨリ飛行ノ禮ニ來タ 十円ノ包金デガソリン代ニモ足ラズ閉口 早速米代ニス

▲▼107ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月11日(金)

天気 晴

温イ日デアッタ 局へ電話シテ鈴木甲三ノ検査月曜日ニ來テ貰フコトヲ打合せル  
所沢ノ計算書ヲ作り田中へ發送 手紙ニ意見ヲ添エテ出ス

▲▼108ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月12日(土)

天気 雨曇

昨日ニ変ツテ寒イ日デアッタ

家内九度近イ熱ガアツテ床ニツク。無休デ余リ働イタ爲メクタブレタモノダロウ 身体  
中ガ痛ムトノコトデアッタ ホントウニ早ク樂ヲサセテヤラナイトイノチガアブナイ  
今日ハ内田高橋ノ解決ニ終日カゝッタ ソレデモ円満ニ終ツタ

▲▼109ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月13日(日)

天気 晴

薄曇リ 寒カッタ

清平來 小林サント外三名來場 飛行機ニ乗セ晝食ヲ出シテ帰エス

田中ヨリ手紙來 金カ覺書キトノコトデアッタガ自分ノ手紙ト行違ヒニナツテ居ルノデ

兎ニ角明日安岡ヲヤルコトニス

浦山來場 又例ノ金ノ件デアッタガ同ジコトヲ繰返スダケナノデ明日ハ検査デ行ケナ  
イノデ明後十五日所沢へ行ク約束ヲナス

猿田ノロンゲロン削リニ大工八時頃來ル 十一時頃半製デ帰ル

▲▼110ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月14日(月)

天気 晴

安岡早朝行ツタガツヒニアンリオ來ラズ 田中マダ分ラナイノカシラ

玉宮氏來場 久シ振りイナ今年初メテノ受檢デアル 話シノ方ガ長クナツテ鈴木ノ甲

三ダケ終ル 工場十年式スパーダケ見テ貰フ

▲▼111ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月15日(火)

天気 雨

所沢行き 清平ノ學費ガ今日ノ間ニ合ワナイノデ研究所ヘ電話ヲ懸ケテ見タガ中々カ、ラズ時間モ追ヒ々々晝ニナルノデ所沢ニ行ク 夜九時迄カ、ツテアンリオ引取り方  
法決定

浦山ハツヒニ決別 然シドウニモ今ノ處シテヤリ様ノナイノハ遺憾ダ  
細村屋ニ行キ一泊ス。父君ハ昨年ノ十一月ニ死ンダ由 古イナジミハ、何ントナクヨイモ  
ノダ

▲▼112ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月16日(水)

天気 晴

昨日ニカワル上天気 ユックリトオチツイタ朝ノ気分ニシタルコトガ出來タ  
不圖思ヒツイテ俱樂部ニ日曜会ヲ作り一ヶ月式十円位ノ会費デヤラセルコトノ案デ計  
算ヲ立テル

工場ニ行キ契約書ヲ作り田中ノ貸ハ承認ハシタガ返済方法ヲ毎年三月末二百円ツ、ト  
云フコトヲ提案シタニ対シ考ヘサセテ呉レトテ決定ヲ見ズ 中村ノ給料半額入レルコトハ  
決定ス

豊田式百円持参 田中ニ渡シ遠藤ノ金六十二円ヲ受取ル

飛行場ニ競技会ヲ見ニ行キ二時頃帰ル 清平ニヨツタガ不在 手紙ヲ置イテ帰ル

▲▼113ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月17日(木)

天気 晴強風

今日ハ終日ゴタ、ノ用事ノ手ニツカヌ日デアッタ

大口ガ北海道カラ帰ツテ來タ

樺太カラ元白戸ニ居タ宮野君ガ來テ飛行計畫ヲシテ呉レトノコトニ計畫書ヲ作ツテヤ  
ル  
アンリオ強風ヲツイテ無事帰ル

▲▼114ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月18日(金)

天気 晴

田中春雄君來場 十日ニ遠藤氏ヘ行ツテコトワツテ來タトノコトデアルガ母親ニ話シテ

來タトノコトデ夜山田君へ行き遠藤君ガ諒解シタカ否ヤヲ聞イテ貰フコト 進ンデハ諒解シテ貰フコトヲ田中ヲ連レテ行ツテ頼ム  
夜間飛行ノ広告取りノ手紙ヲ出ス

安岡ニ関シ諏訪ノ山田ニ連滞(ママ)責任ノ証書ヲ書イテ渡ス 金高廿七円 期日今月廿八日

▲▼115ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月19日(土)

天気晴

今日ハ頭ガ重ク右手首ガ神経痛デ終日ナヤマサレタ 晝モ二度バカリ横ニナリ夜モ早く床ニ入ル

▲▼116ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月20日(日)

天気晴

高橋今朝治君ガ來テプロペラ月末ニ貰ヒタイトノコトデアッタ 今日取りニ來タノカト思ツタラ大違ヒデ失望

朝大倉出發ニ成功ヲ祈ル電報ヲ打ツ 山田君ニ行き遠藤君ノ返事ヲ聞ク 今日津田沼へ來ルトノコトデアッタガ終日ツヒニ來ナカッタ

▲▼117ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月21日(月)

天気晴

風 甲三ノ布張ヲ手仕事初メノ着手ヲナシ後チ又神経痛デ今日ハ左ノモ、ガ痛ミ出シタ。イシチヨールヲツケテ床ニ入ル

▲▼118ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月22日(火)

天気晴

アンリオタンク漏リ修理ニ一日カ、ル  
内田ヨリ安岡ニゼヒ來テ呉レトノ入電アリ 一文ナシノ處トテ四苦八苦ノ上漸ク片道ノ旅費ヲ都合シテ夜ノ十時ノ汽車デ出發サセル

夕方上野、佐藤、門松等ガ安岡ヲ頼ンデ会见。給料ヲキチント貰ヒタイトコト 食事ヲ自炊シタイトノ申出アリ 今月三四月分ヲヤルコト 炊事ハ六月以後ハ預テヤラセルコトトス。其カワリ自發的ニ作業ノ進行ヲハカルコトノ申出アリ。上野ノ方針ハ大ニヨシ。佐藤ノ考ヘハソレニトモナワザルモノノ如シ

▲▼119ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月23日(水)

天気 晴

今日ハ頭脳スコブル透明デアッタ。ヨク眠ツタ精ダト思ワレル。又温度低ク風ガ冷ヤカデアッタ爲メモアルダロー

奈良原氏來場 友人児玉氏同道 今度デユラルミンノ製造ト安定整理ニ桜田ト云フ人が金ヲ出スコトニナツタカラ、安定装置ニ対スル機体ヲ借リタイトノコトデアッタ。工場ノアプロヲ貸スコトニシタ、ガドウモ氣乗ノシナイ安定装置デアアル。後チ鳥飼氏カ又一入連レテ來。井上ノバイキングヲボートニ改造スル爲メラシカッタ

▲▼120ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月24日(木)

天気 曇リ

今朝ハ一文モナイ處へ新モス不足ガソリンモ入ルノデ一寸困ツタガ安岡カラ午後時間一パイニ三百円返ツテ來タノト千葉ノ飛行デ五十円這入ツタノデ、先ヅ給料ノ三四月分ト小買物ノ借リナド支拂フ

今夜ハ千葉ノ演藝館へ飛行場全員デ行ヤル 金ハ這入ツタシ大嬉(ママ)ビデアッタ

今日上野カラ彼レノ發動機ニツイテ製作權ヲ工場デ使用スルコト 製作利益ニツイテハ従業員全体ニ幾分ヲ與へテ貰イタイコト等ノ申出ガアッタ 尚皆ンニ話シテ與レトノコトデアッタノデ、マダソナ必要ハ認ナカッタガ皆ニ話スコトガ精神的ニヨイコトト思ツタノデ話ス

夕方船橋ノガソリン屋へ金ヲ 借申支拂ヒニ行キ久シ振リデ鳥肉ヲ少シ求メビールヲ一本オゴル

大坂ノツル姉カラ手紙來 兄ノ身元悪シク家へハ金ヲ入レズ困ツテ居ルトノコト

▲▼121ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月25日(金)

天気 曇風

風強シ 奈良原氏令嬢ト桜田商会店員山崎君同道來場 アブロスケツチノ爲メ。晝食ヲ樂天府ニ行ク イツモ御茶バカリデ何ンノモテナシモ出來ナカッタガ今日ハ近頃ノ自分トシテハ大分ノ交際費十二円余ヲツカッタ 家内モ賛成シテ居タノハ氣持チヨカッタ 桜田商会カラ一万五千円バカリ資金ガ出ル事ニナツタ由デ差當リ機体ノ借賃トシテ三百円ノ内百五十円貰ツタカラ受取ヲ書イテ與レトノコトデアッタ。金ハ同氏ガ今昔シノヲ使ワシテ與レトノコトデアッタ 勿論意義(ママ)ハナカッタ

朝今村航空官ガ來ラレタ 聞カレルマヽ二色々工場ノ過已ヲ話ス

国吉信吉氏來 今月幾分入レラレルカトノコトニ廿八日百円ダケ約束ス

▲▼122ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月26日(土)

天気 曇雨

上京前保険署カラ來テ最(ママ)非今日イオオカ三月分入レテ呉レトノコトデニヶ月分  
ダケ約束ス

後チ上京 博覧会(夜間飛行ノ件)ニ行ク 多ヶ谷氏出張不在デ福永氏ニ會フ。ヤ、意ア  
ルラシカッタガ又相談デ話シキマラス

丸ビル明治屋デ長崎カステラヲ求メテ田中先生宅ニ行ク 雨降り出ス 場所間違エテ  
一時間半ばかり、ウロツキ漸ク四時頃訪問シタラ丁度今觀桜御会カラ帰ツタ處ダトノ  
コトデアッタ 清平ノ札ヲ述べクラブノコト、上野ノ発動機ノコトヲ話シ出發前ニ最(ママ)  
非一度見ニ行クトノコトデアッタ。帰りニ工藤君ニヨルト作業会社ノ仕事ヲ一寸ヤツタ  
トノコトデ話シガ出タ 十一時電話(ママ)ノ中デ清平ト会ヒ帰宅ス

満タ方ニエ湯ヲ右腕ニカブリタリトノコト 宮内來ラズ馬ノ油ニテ應急手當ヲナシタル  
由

▲▼123ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月27日(日)

天気 晴

朝植木屋ガ來テ盆栽話シ フト思ヒツイテ去年ノ取り木シテ居イタ、ザクロヲトテモダ  
メト思ヒナガラ、ワラヲ取ツテ見ルト一二寸位ノ根ガ十本ばかり出デ居タノハ、トテモ  
嬉シカッタ スグ地上ニ降ス。今一本ノ方ハ根ハ出テ居ナカッタガ大丈夫トノコトニ地上ニ  
降ス

夜間広告ノ手紙ヲ出シ二時頃カラ竹内君ヲ訪問ス 風ヲ引イタトテ寢テ居タノデ、來  
タ手紙ヲ全部居イテ、ホンヤクヲ依頼シ二三小話ノ後チ早ク切上ゲテ帰途本屋ヲア  
サルト此間カラ讀ミタイ成思干ハ源義経也ガアッタノデ價ヲ聞クト定價通りダトノコ  
トニ金ガ不足デヤメタ 小供ノ全學科ヲ二冊求メテ帰ル。満ハ終日二十八度カラ九度  
迄アツタ 今日午後宮内氏ガ來テ、ヌリ薬ヲ付ケテ呉レタ

今日小曾根ト同辨理士カラ手紙ガ來テ、ヤハリ一所ニヤリタイラシイ。明日ニモ一度ヨ  
ッテ見テヤロウ

夜十二時半田中來 一時半頃竹春屋(行クト)テ帰ル。

新宿武蔵野館デ夜間飛行ノ件ガ話シガアツタ由 評ハ悪クハナサソウダ。先日來一枚  
ノ照介(ママ)ノナイノニ少シ氣ヲクサラシテ居タガ先ヅヨカッタ

▲▼124ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月28日(月)

天気 晴

田中ト東京 工藤君ニヨリ明日天気ヨケレバ写真ヲタンノデ(ママ)自分ハ局ニ行ク 誰レモ居ラズ二十日ダメラシイガ尚ヨクタノム。ニオン小曾根氏ニ電話シタガ不在 弟ナル者ト話スガ電話デハヨク出来ナイカラ又ノ機会ニシテ博覧会出品人會委員會ニ出ル明日ヨリ以後閉会ニ到ル迄ノ催物ニツイテノ協議ヲ終リ放送局ノ自動車ニ同乗シテ朝日ノ學生航空聯盟発会式ニ参列。井上長君ニ會フ。玉宮氏ガ居ラレタノデ検査ノコトヲタノム 三十日塚本君ガ行クトノコトデアッタ  
十時帰宅 満ハ今日大変元氣ガヨクナッタ

▲▼125ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月29日(火)

天気 雨

終日降り止マズ

睡眠不足デ十時頃起キル安岡信州ヨリ帰ル 學校ノ方ノ金出来ズ又來ル由

佐野其他手紙数通ヲ書ク 大部金ノコトワリ

二時頃ヨリ千葉行 保険課長ニ行キ延期ヲ乞ヒ国吉氏へ百円ノ約束へ廿円内入シツレモ十日迄ト云フコトニス

夜早く床ニ入ル 八時就眠

▲▼126ページ▲▼ 昭和5(1930)年4月30日(水)

天気 曇リ

今日検査官ガ來タラ明日上京 博覧会ノ飛行トニオンライトヲキマリツケルツモリノ處今日ツヒニ來ラズ 安岡ニ電話ヲカケサセタラ今日行ツタカモ知レヌガ若シ行カナイ時ハ明日必ず行クトノコトデアッタ

安岡ノ爲メニ山田へ廿四円ノ内十円ダケ送金 オカゲデ工場ノ金庫ハ空ニナル 夕方川辺カラ廿五円這入ツタノデ漸ク信太郎ノパスガ買エルコトニナッタ

▲▼127ページ▲▼ 5月

一 石川島

一 夜間飛行 ニオン解決

一 陸軍拂下 其他ノ方法

一 研究所連絡

一 鈴木甲三

一 工場十年式

▲▼128ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月1日(木)

天気 曇少晴

野呂君三等ノ爲メ森、早川両氏來場

正午坂本氏鈴木ローンノ爲メ來場 合格

夜業シテ発組立ヲナス

午後津田沼運送店ニ行キ安岡アンリオノ件ニツキ交渉 兎ニ角辨ゴ士ニ會ツテ呉レトノ  
コトデアッタ 自分トシテハ仕事デ立替ルカラ補助金ヲ以テ支拂フコトヲ提案ス。ヤ、可  
能性アリ

▲▼129ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月2日(金)

天気 雨

雨デアッタガ夜間広告ヲ取りタク博覧会ニ行ク 福永氏不在 多ヶ谷氏ニ會フ 同氏ハ  
初メカラ熱心ダッタ。ヨク頼ンデ局ニ行キ鈴木ノ標式ヲ聞キ新井氏ニアブロノ翼ヲ依頼  
シテ佐藤氏ニ行ク。丁度今カラ行コウト思ツテ居タ處ダトノコトデヨカッタ。四日ニ郷  
友會デ五十名バカリ行キタイカラ宜シク頼ムトノコトデアッタ 色々打合せヲナシ晝食  
ノ馳走ニナツテ辨ゴ士ニ電話シタガ不在 ニオンライトニ電話シタガ又出テ來ズ。來テ呉  
レトノコトナリシモ行ケズ 特許可ノコトナラ紋谷氏ニ會ツテ呉レトノコトナリシモ、會  
フ必要モナサソウナノデ止メテ帰ル  
帰途船橋へ寄りガソリン屋へ明後日ノ分ヲ頼ンデ帰ル

▲▼130ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月3日(土)

天気 晴

鈴木甲三試運轉ニガソリン入ルトノコトニ明日ノ分今日取ルコトニス。十時半ヨリ上京  
スグ上松辨ゴ士訪問 交渉ノ結課(ママ)津田沼運送店デ立替ルナラ式百五十円迄ニ  
負ケソウナ口振りデアッタノデ月曜日津田沼デ立替ルヤ否ヤヲ返事スルコトトシテ分  
レル。佐藤サンニヨリ十円借りテ写真材料ト船橋ニテ八畳ノ上敷一枚ヲ求メ帰宅後向  
坐敷ニ敷ク 何分女ガ二十人バカリアルトノコトニ坐敷ノ準備ヲナス  
鈴木甲三ノ爲メ夜業ス。発試運轉セシモ少シ振動アリ

▲▼131ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月4日(日)

天気 晴

絶対ノ日和 早朝カラ低(ママ)内ヲ掃除準備ス 十時頃佐藤氏一行到着。人柄ノ悪イノニ少々失望。

同乗一人一円五十銭ヨリナイトノコトデアッタガ止メル訳ケニモ行カズ乗セル 廿四人ト小供二人 計十二回ノ飛行 ソレデモガソリン代ト安岡ノ金ガ出来タカラ一寸安心外ニ写真代七円五十銭。飛行場謝礼十五円。収入アッタガ、石田ト八百清ガ來テ十円ト五円支拂フ アトニ僅カニ三円残ル ヤレ、

▲▼132ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月5日(月)

天気 曇小雨

朝写真現像ス 皆カブツテ居タ ウマク焼レバヨイガ

正午局へ電話カケル 鈴木甲三完成検査ノ件 玉宮氏來週デナケネバ行ケヌトノコト人ヲ馬鹿シタ話シ 結局明後日モ一度聞キ合セテ呉レルトノコト

運送店ニ行キアンリオノ件式百五十円立替ノ件交渉 大体森田氏ハ諒解シタルモ他人不在ニテ今夜想(ママ)談シテ居クトノコトデアッタ

吉田ト云フクラブ入会者來場 田中不二雄照(ママ)介 夜田中來 入会金ヲ欲シイトノコトデアッタガダメ ヤラナイコトニキメル 十二時迄話シ込ンデ帰ル

▲▼133ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月6日(火)

天気 小雨

吉田入金 体格検査ニ行ク 夕方金受取ル 豊田ノ残金返事ノ金分別ニ封筒ニ入レテ居ク

朝合同運送ニ行キ決定 晝上松辨ゴ士ニ電話シタガ不在ニツキ取次ギノ人ニ運送店ノ方予定通り承認シタコトヲ事傳テ貰フ

▲▼134ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月7日(水)

天気 晴

風強シ 午前中写真ノ焼付ケヲナシ正午ヨリ仁三郎ヲ連レテ上京 キンノ奉公先キニ挨拶ニ行ク。初メテデアッタ。後チ博覽會ヲ見物サセ多ケ谷氏ニ会ツタガ飛行ハ駄目デシヨウトノコトデアッタ。シイテ話サズ夕方帰ル

▲▼135ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月8日(木)

天気 晴

午前ヨイ飛行日和デアッタ。クラブ機発動機ノメインポール破損 不時着 スグ分解  
晝頃新ラシイ人々ノ検査官來 鈴木ニユポール試験スンダガ風強ク丁度又汐変リテ汐  
干カズ夕方五時半ヨリ飛行試験シテ六時半終ル 検査官ニ気ノ毒デアッタガ七時頃帰  
ラル

▲▼136ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月9日(金)

天気 晴

千葉羽衣館ノ空ノ王者ノ宣傳飛行ヲナス 風強ク心配シタ 三十七分ヲ要シ着陸後ハ  
其マ、カツイデ帰ル  
クラブノ発動機。ポール取替エ組立テ取付終ル

學校見學ノ陸軍士官今日モツヒニ來ラズ 川辺君カラ來タラ應接ヲ貸シテ呉レトノコ  
トデアッタガ夕方金ヲ少シ取ルツモリデ行クトモウ居ナカッタ 此頃ハマルデ、サカリノ  
ツイタ犬同様自分ノ家ニ居タコトガナイ。ソレデモニ泊スルトコチラニ一泊ト極ツテ居ル  
ラシイ

夜工場員全部羽衣館ヘヤル

第一ノ機体北海道へ発送

▲▼137ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月10日(土)

天気 曇後晴

二時頃余リ風ガ強イノデ中格納庫ノ戸ガ心配ニナリ起キル。カナリ二枚ノ戸ガ曲ツテ  
居タノデ宿直ノモノヲ起シ、シンバリヲスル内工場ノ表ガ破レタトノコトニ行ツテ見ルト  
第一工場ガ一間分全然コワレ三四間程ガハツレテ窓硝子ハ落テ居ル有様ニ長屋ノ連中  
ヲ皆起シ應急手當ヲシテ再ニ床ニツイタガ風當リツヨク 冢床ガ動クノデ、ツヒニ本家へ  
引越シヲナス

其爲メ朝九時頃ヨリ就業 九時半陸軍ヨリ練習所視察トシテ近藤少佐來場 晝食ヲ  
谷津ニツキ民間ノ状勢ニツキ知レルダケヲ述ベ尚合同論ヲ大ニ吹イテ居ク。終テ船橋ノ  
三田浜樂園ニ行キ平田氏ニ会见 飛行場問題ニツキ意見ヲ述ベ先方ノ意志ヲ聞ク 目  
下三百万円ノ会社ヲ起シ埋立計畫中トノコトデ次ギノ日曜迄ニ相談シテ居クトノコト  
デ次回会见ヲ約シテ帰ル

▲▼138ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月11日(日)

天気 晴

朝ユツクリ寢テ皆ヲ博覧会ニヤル  
クラブ練習初メタ頃千葉ニ行ク

国吉氏訪問 八十円渡シ前ノト合シテ百円ノ仮受取リヲ取ル 本金六辨ゴ士費用トナル由デアッタノデ、ソレデハ高橋ニ立替タコトニナル旨特ニコトワツテ居ク。

大塚氏ノ處ヲタツネ訪問スルトドカニ引越シタアトデアッタ 丁度十一時デ時間ノ都合ハ悪ルカッタガ竹内君ニ行ク 之レモ不在デ止ムナク土産物ト書類ヲ表ノ時計屋ニ預ケテ帰ル。羽衣館ノ空中ノ王者ヲ見ル ヨイ写真デアッタ、ガ館内ノ還(ママ)気が悪いノト顔ノ熱クナルノトデ氣持チ悪ルカッタ

五時帰宅後川辺ニ行キ二時間程話シタ 帰り入浴後夕食九時

◆▼139ページ◆▼ 昭和5(1930)年5月12日(月)

天気 曇リ

今日ハ馬鹿ニ寒イ日デアッタ 朝平松君(御国ノ)來場 格納庫ヲ借リタイトノコトデアッタ

今日ハ作業案ノ計算ヲ行ヒ午後写真ノ焼増ヲヤル。内橋本善喜ノ父來場 手紙ガ來テ居タノデ、スグ千葉ノ内山旅館へ案内 明日丁度瀬尾博士ノ番ナノデ嬉(ママ)ンデ居タ 善喜カラ瀬尾サンニ見テ貰エト云ワレテ來タノダソウダ

馬詰君カラアス十時ニ來テ呉レトノ入電アリ 川辺君カラモ打合セテ來タ

◆▼140ページ◆▼ 昭和5(1930)年5月13日(火)

天気 曇リ晴

昨日馬詰君カラノ電報モアッタノデ川辺君ト上京 時間ガ遅テ居タノデスグ飛行館ニ行ク。昨日友野、川上君等ガ又馬詰君ヲオドシテ來タトノコトデアッタ。遠藤君除名ニ関スル件ノ審議ガアッタガ、樺太飛行問題ガ世コアルノデ世ノ誤解ヲオソレタガ、全然切りハナシテ声明スルトノコトニ遠藤君問題ヲ審議シ結局遠藤君ノ反省ヲ求メル爲メニ除名スルトニ決ス

後協会総務ト会见 樺太飛行ニ安岡モ参加サセルト迫ッタガ不可能ニツキ自分ノダ協案トシテ今後ノ計畫ニ安岡ヲ第一候補トスルトヲ決定ス

片岡君ヨリ二三日前ニヤッタグライダーノ実見談ヲ聞ク

久松氏ニ合ヒ航空時代社代理部デ夜間広告ヲ取ツテ貰フコトニス

帰りニ工藤君ニヨル 今日田中ノ頼ミヨリ慶明戦ニ飛行機ヲ飛バシ明大ヲ写シテ來タトノコトデアッタ 小泉ト云フ人ヲ照(ママ)介サレ写真販賣ノコトヲヤツテ貰フコトニホメキメル

▲▼141ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月14日(水)

天気晴

今日ハ色々ナ人ノ來ル日デアッタ 中條君ガ來タ 山田工場時代ニ小僧ニ來テ居タ男  
デ今ハ三十七ニナツテ居ルトノコト 大分苦勞ヲシタラシイ 職ヲ求メテ來タガヨイ事モ  
教ヘテヤレナカッタ。飛行広告デモ取ツテ來ルニ云ツテ帰ッタ。五郎ガ又先日ノ填白ヲ下  
物ノ外十五円ニスルカラ買ツテ呉レト云ツテ來タリ下平ト云フ木工機械屋サンガ(前ニ  
横田ト一所ニ來タコトガアルトノコト)墜落防止機ヲ發明シタカラ意見ヲ聞キタイトノ  
コトデアッタ。墜落防止ニハナルマイガ、着陸後ノ滑走ブレーキニハ大變ヨイト思ツタ  
門松北海道ヘ立ツ 鈴木菊雄モ一所ニ行ク

▲▼142ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月15日(木)

天気晴

ガソリント米デ心配シタ 太田ノ方モマダ今日アタリ來ソウニモナイ  
夕方カラガソリンヤニ行キ明日ノ分ヲ頼ンデ帰途大蔵ニヨリ十時半帰ル  
午後小供ノ写真ヲ写ス

▲▼143ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月16日(金)

天気晴

明日早慶戦ヲウツス事ニツキ工藤君ヘ聞キニ石川ヲヤル。写スナラ警視廳ノ願書ヲ出サ  
セル  
局ヘ鈴木ノ補助金願書モ出サセル  
今日モ千葉病院ヘ橋本ノ見舞ニ行クツモリノ處ツヒニ行カナカッタ

▲▼144ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月17日(土)

天気晴

遠藤氏後援會長トシテ友野氏カラ会见ヲ申込マレタノデ廿日上京ノ節ト返事シテ居  
ク。川辺君ヨリハ手紙デ回答シタトノコトデアッタ。尚今夜長崎ヘ出発スル由。石原君ノ  
練習費ノ件ダンウダ  
午後工藤氏來 アブロデ早慶戦撮影ニ行ク

▲▼145ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月18日(日)

天気 晴

朝食後三田浜へ先週ノ約束デ行ク 一時間余リモ待タサレ、タイクツシテ会フ。今ノ處坂谷氏ト(金ヲ出シテ居ル人)交渉中デ出來ルナラ自分個人ノモノトシテヤリタイカラ、モウシバラク成行ヲ待ツテ貰ヒタイ。マダ使用ノ途ニツイテハ何ニモナイカラ最(ママ)非御相談スルトノコトデ引上ゲル。ガソリンヤニヨリ金ノオクレタ事ワリニヨル 今日モツヒニ、コナカッタ

午後竹内氏來場。拝シタモノト返事ノ手紙トヲ持ツテ來テ呉レタ

四時工藤君ヒヨツコリ來 昨日ノガ面白クナイ上ニ今日ハ天氣ガヨスギルノデ取りタイトノコトデ、ガソリンノ心配モアツタガ飛バシテヤル 六時帰ツテ來タ

▲▼146ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月19日(月)

天気 晴

終日クラブ会則改正ニナシタ方安岡及ビ會員ト打合セヲナス

夜清平來 田中先生ニ泊ルコトニナツタコトニツキ話シヲ聞ク

▲▼147ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月20日(火)

天気 曇後晴

清平早朝帰ル 遅レテ上京 九時工藤君ニ寄り一昨日ノ写真ヲ見テ局ニ行キ鈴木補助金願書ニ証明書番號ヲ記入、ス 廿四日高橋ト田中ノ試験ニ來ルトノコトデアッタ。

鳥飼氏訪問シタガ不在 名刺ニ用件ヲ書イテ居ク 飛行協會ニ行キ道永君ニ原稿ヲ二通渡シ原稿料ノコトモタノム。十一時ヨリ初メテ協會ノ評議員会ニ望ム 坂谷会長ヨリ決算、協賛ヲ求メ現総務理事磯川氏ヨリ一寸説明アリ 質問ニ対シテハ當時ノ総務小松氏ヨリ答辨アリ 計算数字ニツキ山田中将ヨリ大分キビキビヤラレタガ、之レハイツレモ計數ノコトデアッタノデ皆説明ハツイタ 相羽君カラ奨励金増額ノ件、外国飛行士招待ノ際ハ民間飛行士モ 招待列席サセルコトノ希望アリ 自分カラ改訂補助金ニツイテ説明ヲ求メ使ヒ途ニツキ希望ヲ述ベル 外ニ六グウトモ云フ人ガナカッタ 理事ノ新任其他ガアツタガ活氣ノナイコトオビタ、シイ。早ク我等ガ出ル様ニシナケレバ、ダメダ 時事ノ佐藤君ト話ス 同紙ヨリクラブ後援ノコトニツキ具体案ガアレバ大ニヤルトノコトデアッタ 片岡君ニ夜間飛行割引ノ件打合せ。

友野氏ト会见 遠藤氏除名問題ニ署名シタ自分ノ立場見解ヲ述べ後チ地下室ニテ片岡君ト三人ビールヲノミ聞カレルマ、ニ東京飛行機製作所ノ件ヲ話ス。帰途工藤ニヨリ十一時帰宅。三時田中來 ツヒニ徹夜ス

▲▼148ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月21日(水)

天気 曇リ

パラスユートノ金子ト云フ男來場 奈良原サンノ照(ママ)介状ヲ持ッテパラスユートノ実  
験ノ爲メ廿四日頃トノコトデアッタ 料金ハ練習生並ト云フコトニス 一時間百円也  
早朝大蔵ニヨリ船橋ニ行キガソリン屋デア交渉シテ郵便局ニ行キ安達氏ニ電話ヲシヨウト  
思ツタラ岐阜ヘハカヽラナイトノコト 止メテ電報ニス  
夕方正午返電アリ 間ニ合ワヌトノコト 所沢ヘ打電ス  
月末ガ近ヅクノデ橋本ノ方氣ニナル ニオンノ方早ク会フコトニキメル

▲▼149ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月22日(木)

天気 曇リ

ライトプレインクラブ会則細則ヲ作ル  
千葉ヘ見舞ニ行ク予定ヲ今日モ行ケナクナッタ  
夜早ク床ニ入ル

▲▼150ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月23日(金)

天気 晴

金子氏ノパラスユート実見ニテ大賑ヒ 奈良原氏金子氏、桜田氏、活動写真屋、片岡  
君來場星野錫氏來場  
実見ハ二回行ヒ二回共ウマク行ツタ  
金ハ請求書ダケデ呉レナカッタ  
田中不在 朝カラ練習ヲ初ム 三時間分ノ内十六円貸シニナル

▲▼151ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月24日(土)

天気 曇晴

今日ハ寒イ日デアッタ  
夕方高橋今朝治君來場 ペラノ内金二円也ヲ受取ル  
上野昨日ペラデケガシタ手首ガ痛ミ出シテ今日名倉ヘ行クトテ宅ヘ帰ツタ

▲▼152ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月25日(日)

天気 晴

朝川辺其他ノ計算書ヲ作ル 内田帰ル 計算書ヲ渡ス  
正午ヨリ上京 三越ニテ絹靴下三足六円三十ヲ求メ田中先生宅ヲ訪問 急(ママ)ガシ

イト思ツテ玄関カラ奥サンニ挨拶シテ帰ル。途中カラ思ヒツイテ高見氏訪問 久シ振り  
デ丸子多摩川園ニ行キ入浴ヲ進メラレテ這入ツタガ小供ガ皆這入ルノダガ自分ニハト  
テモ熱クテ足ダケサエ入レテ居ラレナカッタ 早ク出ル。夕食ノ馳走ニナツテ帰ル 十一  
時半

▲▼153ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月26日(月)

天気晴

内田君帰ル 一日富山飛行ニアリオ空中輸送トノコト 注意ヲ要ス  
今村航空官ト早川氏來場 高橋三郎ト田中不二雄ノ試験無事終了  
田中アト二十二分残り十七円取ル分根岸二十五円ト振り替アト八円預リ  
小鳥小屋ヲ作り初メル 材料三三円八十四銭カヽル

▲▼154ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月27日(火)

天気晴

終日小鳥小屋ヲ作ル マダ完成ニ至ラズ  
クラブ練習本日ヲ以テ中止 安岡不在中ニ發動機分解手入レスルコトトス  
吉田重雄四時間分入金

▲▼155ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月28日(水)

天気雨

安岡雨ノ爲メ出發見合セ  
小鳥小屋完成 全部一所ニ入レル

▲▼156ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月29日(木)

天気晴

時事 オイローパ號遠藤君操縦 大坂ヨリ札幌へ千四百キロ飛行ス  
十時十五分前安岡出發 二十分シテ帰ル プッシュロット一本折レル 十二時再出發  
熊谷附近ニ不時着 発内故障アリ 佐藤出張  
合同運送ヨリ呼ビニ來タノデ行ク 先方カラ返事ガアツタカラ明日機体ヲ運搬スルニツ  
キ借用証ヲ自分ノ名儀(ママ)デ入レテ呉レトノ事デアツタ 承知ス 同立替運賃ニ対シ  
日歩四錢ヲ拂ツテ呉レトノコト 之レモ承知ノ其代リ保管料ヲ半額ニスルコトヲ頼ム 考  
慮シ幾分ハ必ズ減額スルトノコトデアツタ

帰途山田君ニヨリ以上ノ経過ヲ報告シテ居ク

▲▼157ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月30日(金)

天気晴

晝過ぎ安岡ヨリアブロ借りタシ今日出発ス準備タノムトノ入電アリ 勿論コウナル事ト  
予期シタノデスグ準備ヲサセガソリンヲ満載シテ居ク

▲▼158ページ▲▼ 昭和5(1930)年5月31日(土)

天気晴

晝前ヨリ千葉行き 国吉ヘヨリ五日頃金幾分持参スルコトヲ告ゲ印刷屋ヘクラブ会則ノ  
見積リヲ頼ミ、イヤダツタガツイデニ保俵(ママ)署モ五日迄延期ヲ乞ヒ病院ヘ橋本ノ見  
舞ニ行ク 今日退院シテアト一週間位デ一且帰郷スルトノコト 何レニモ実母ガナクナ  
ラレタノダソウデ気ノ毒デアル 経過ハヨイ由  
安岡無事富山へ着

▲▼159ページ▲▼ 6月

- 一 夜間飛行                   ニオン解決
- 一 写真飛行
- 一 アンリオ一台手ニ入レルコト
- 一 アブロ翼運動
- 一 研究所連絡

▲▼160ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月1日(日)

天気晴

時事 畑英太郎中将(大将ニナル)旅順ニ客死  
仁三郎腹痛デ一日寝タ 大分下痢シタ模様  
今日ハ家内中総動員デ庭ニ噴水池ヲ作ルベク作業ス お婆サンモ手傳ツタ 金ハナクト  
モ幸福感ニ充サレタ  
安岡ヨリ入場者少ナク明日ニ延期シタトノ入電アリ  
佐藤熊谷ヨリ帰ル 修理見込ミナク汽車輸送ニ決定シタル由

▲▼161ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月2日(月)

天気 曇り小雨

大利根ト 国へ請求ヲ出ス

午後千葉ノ印刷屋へ行クマダ出来上ツテ居ナカッタノデ一時間バカリ散歩ノツモリデ千葉神社ノ盆栽会ヲ見ニ行 清宮ガ居テ久シ振リニ会ヒ海気館ノコトナド聞ク 清宮ハ今植木ヲヤツテ居ルノダソウダ 五時半頃帰ル 九時頃迄皆夜業シテ栞ガ百七十五組出来タ

大口南洋ヨリ帰ル ヒマシ油ノ種ヲ持ツテ來テ出資者ヲ欲シイトノコトデアッタ

▲▼162ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月3日(火)

天気 晴

トートー安岡カラ何シノ通知モナク床ニ入ル 十一時頃入電アリ 無事終了○明日送ルトノコト

腹工合ヲ養生シテ今日ノ誕生ヲ夜祝ウ

▲▼163ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月4日(水)

天気 曇り

昨夜半ヨリ又腹痛 今日ハ終日養生シ床ニツク 朝下済(ママ)ヲノミ午後ヨリ「タラコン」散薬ヲ服ス 次第ニヨクナリ夕方ニオモ湯ニ一椀ヲ取ル

山田君ニアンリオ譲リ受ケノ件ヲ話シス

夕方旦代君ニ先月クラブノ金七円五十銭渡ス 川辺君ヨリ入金ナク氣ノ毒ガツテ居タガ渡ス

安岡ヨリ百円送金 魚津ヤリタイトノ希望ノ差支ナキ旨返事ス 後チ魚津取止メ今夜福井ニ立ツトノ入電アリ

クラブ関口君入会手續キヲ終ル 父ナル人ヨリクレ、本人ニツキ頼マレル

夕方今朝來タノニ又大蔵ガヤツテ來タノデ何ニカト思ツタラ保ガ女中ヲ強カンシテ告訴サレルトノコトデアタラ處、川辺君ノ間違ヒデアッタトノコト 驚イタリ、アキレタリ

▲▼164ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月5日(木)

天気 雨

八時頃近藤氏來 バイキング積込ミニツキ駅長ヤ運送店ノ番頭ニ名込來テ見積リヲナス 午後翼ノ一部發送

川辺君予定通り且代君ヨリ所沢へヤル金受取り出懸ケタ  
學校アプロ一台マトメテ呉レネバ今迄ノ借りハ支拂ワナイトノコトデアッタ。エンキヨクナ  
云ヒ方デアアルガ人ヲ馬鹿ニシタ言デアッタガ次ギノ翼ガ出レバ補助金ダケデア出来ルコ  
トデアアルカラ、前ノ問題ハ不問ニスルコトトシテ作ツテヤルコトニス

◆▼165ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月6日(金)

天気晴

朝千葉ニ行ク 保険課ニ二ヶ月分ヲ 内山三十円中村分渡シ橋本氏ニ会フ マダ四五日  
帰国出来又由。印刷屋へ行き二千部ダケ決定ス

晝前今村サント早川氏五十嵐君ノ試験ニ來場 丁度汐ノ上ゲタ處デアッタ。昨日川  
辺君ガ二時頃出来ル由話シタトノコトデア氣ノ毒デアッタガ結局夕方方ノ汐迄待ツテ貰フ  
コトニナル

午後上京 局ニ久シ振りニ行ク 十年式検査ノ事、アプロ翼ノコト 内田名議(ママ)変  
更ノコトヲ話シテ、丸ビルニ行キタイガーテラーニテ三十三円夏服ヲオゴリ、クラブ  
ノ頭文手紙ヲタイプライターニ打タセ、工藤君ニヨル 行キニ居イテ行ツタ契約草稿ヲ  
讀ンデ居イテ貰フ マダ返事ハシナカッタガ待遇振りカラ見テ満足ナモノラシカッタ  
富士ノ写真ヲ貰ヒ九時迄話シ込ンデ帰宅 入浴後床ニ入ル 二時眠ル

◆▼166ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月7日(土)

天気晴

朝宗里君へ行ク 昨日カラ帰ラナイトノコトデア帰途谷津ノ、コンクリート屋ニヨリ墳(マ  
マ)水塔ノ材料ヲ注文シテ帰ル

◆▼167ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月8日(日)

天気曇リ

朝宗里へ行ク 八時半ダノニマダ寢テ居タノデア先キニ銀屋へ行キ一時間程シテ行ク。ア  
ンリオ譲リ受ケ又ノ交換ノ件交渉シタガ應ゼズ、シヤクニサワル  
太田ヲ増上寺ト馬詰君へ使ヒニヤル

午後墳(ママ)水塔ノ地造リヤリカケタガ大分金ガカ、リソウダ

安田福井ヨリ同所十三日ヤルトノ入電アリ

夜且代君ニ鈴木安岡不在中ノ練習ヲ依頼ス 丁度學校ノ方が機体定期ノ爲メ休ムノ  
デヨイ工合デアッタ

▲▼168ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月9日(月)

天気 曇り

安岡金來ラズ

學校機定期ノ爲メ本日ニテ練習中止

▲▼169ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月10日(火)

天気 曇り

今日ハコンクリート作業進行遅々

三時頃杉浦氏來場 十年式スパーク見ル 少シキズガアッタガ合格。翼合板リブハ取替  
ヲ要スル

川辺氏ヨリ定期補助金ダケデヤツテ呉レトノ申出アリ 虫ノヨイコト

朝宗里君ヘアンリオアブロト交換問題ヲ以テ行ツタガ話マトマラズ

安岡ヘ打電 金呉レズハ帰ヘレト云ツテヤル 飛ブ前必ず取ルトノコト

内田アンリオ且代氏操縦ニテ熊谷ヨリ帰場ス

▲▼170ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月11日(水)

天気 晴夕立アリ

四時頃目醒メ四時半起床 昨日ヤリカケノコンクリート工事ヲ終ル 朝食後工場

午後又コンクリート作業 夕方ツヒニ下ノ部分ダケ全部終ル

昨夜金太郎ガエビヲ取ツテ來タトテ呉レタノデ天プラニシテ喰フ 九時半就眠

▲▼171ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月12日(木)

天気 晴

今日ハ墳(マ)水工事ヲ終ツタノデ芝ヲ事務所ヘ移植ス ニケ所ダケ出來ル

夕方安岡ヨリ百五十円ダケ來ル

▲▼172ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月13日(金)

天気 晴

安岡ヨリツヒニ送金ナシ 夜オソク高橋ヨリ十五日ニ延期ノ入電アリ 内田アンリオニ

テ東亜ノ練習生ヲ同乗サセル。シカリ居ク 東亜ノモノ工場ニ入ルコトヲ案ズ

夕方ヨリ照子上ゲ下シ発熱三十九度五分 醫者ヲ迎ヘ夕處疫痢ダカラスグ入院ヲ要ス

今夜手遅レシタラダメダトノコト二十時前自動車ニテ稲毛ノ布施醫院ニ入院ス  
朝宗里ニ行キアンリオ交渉 ツヒニ工場アプロト交換 三百円ソヘテ貰フコト 三百円ニ  
対シテ八部品デモヨシト云フコトニテ極リ部品ニツイテ八山田君帰場後極メルコトトス

▲▼173ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月14日(土)

天気 曇リ

朝稲毛ノ病院ニ行ク 照子ヤ、ヨキ模様ナレドモ今明日最モ危険ナリトノコトデアッタ  
ガ、上京 材木屋ニテ松樹材ヲ求メ、ズット東京駅ヨリ立川ニ行ク。學生聯明ノ空ノ会。  
二十台バカリアッタ 陸海軍十二三機ノ外フッカーガヨカッタ 軽飛行機ハ石川島ガ二  
台、コードロン単複式台、グルバート一台 中ニモ石川島ノ高等飛行ハ断然ヨカッタ 背  
面飛行モ垂直ナサイドスリップモ初メテ見タ。四時半東日迄行カト思ツタガ時間ナク  
スグ帰宅 ソレデモ九時半ニナッタ 稲毛ヘ行クノハ明日ノ朝ノコトトス

▲▼174ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月15日(日)

天気 曇リ

明日検査ノ爲メ工場休マズ

早朝五時過ギヨリ自轉車ニテ病院ニ行ク 昨晚無事ニ経過シタノデ大体大丈夫トノコ  
トニ嬉シク帰ル

午後夜夕食ヨリ又行キ夜十時頃泊リタカッタガ帰宅ス 九時頃ヨリ雨降ル

清平ガ來ルカト思ツタガツヒニ來ナカッタ

▲▼175ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月16日(月)

天気 雨

時事 今日ハ何タル悪日デアロウ

十二時満ガ大便ガシタイトテ、外ニ出タガ小便ノミニテ床ニ入ル 一時又出ルカトノコ  
トニ新聞紙ヲ敷キヤラセル 多量ニ下痢ス。便ヲ調ベルト茶色デ血ナドハナカッタノデ其  
マ、寝カセタガ熱ガアリソウナノデ体温器ヲ取りニ行ク オバーサンモ起キテ來タ 卅  
九度強アッタノデ、水ヲクミ手拭式本デ冷シ、水ガ、ホシイト云ノデ、吹吸ヒヲ用意ス。  
醫者ヲ迎ヘニヤリタカッタガアマリ、夜中ナノト雨ナノデオバーサンモ寝カセ一人デ一分  
二回位ヒ冷ス内漸ク三時ガナッタノデ、石川ヲ醫者ヘ 角ヲ氷買ヒニヤル 卅九度八分  
アッタ 三時半頃突然、ナニカニ、オソワレタ様ナ、オソロシイ顔色ト顔ヲ出シタノデ自  
分込ゾウツト寒氣立ツタ 無(ママ)中デ満々ト連呼シタガ、クツタリナッタノデ、其マ、  
死ヌルカト思ツタガ無理ニ水ヲ口ニ入レルト、ソレガノドヲ通ルトヤット氣ガツイタが目

ハツリ上リヒドカッタ。信太郎モ仁三郎モ目ヲ醒シオバーサンモ來タ。スグ宮内ヲ向ヘニヤッタ、ガアトデ  
(380ページへ続く)

◆▼176ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月17日(火)

天気晴

予期以上ノ好天気ニナッタ 安岡カラツヒニ送金ナシ

恵美子照子共ニマダ油断ハ出來ナイガ少シ好イ方デアッタ 帰宅シテ満ヲ火葬ニスル準備ヲ見タリ金取ル方面金支拂フ方面ニソレ、手紙ヲ出シテ請求シタリ断ツタリス

今日ナゼカ泣ケテ、仕方ガナカッタ 昨日ハアンナニ涙ガ出ナカッタノニ、人ガ物云フ度ニ返事ガ出ナイデ困ツタ

午後三時過ぎ自動車來。棺ノフタガ取ラレテ最後ノ顔ヲ見ル。横向キニナツテ目ヲ閉ジ静カニ眠ツテ居ル様デ腐ラナイモノナラ此マ、硝子函ニ入レテイツ迄モ取ツテ居イテヤリタカッタ お金ガ來タガ涙一ツコボサナイノガ不思議デナラナカッタ。キツト泣クダロウト思ツタノニ

夕方清平來 食後清平大口、キント病院ニ行ク ダンタント好サソウデアッタ  
夜大倉ガ來 アトニ田中ガ來タ

◆▼177ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月18日(水)

天気晴

今日ハ恵美子モ元氣ニナリ腹ガヘツテ居ルノデ物ヲ欲シガッタ 照子モ顔色カラロビルノ色迄大變ヨクナッタ モウ心配ハナイトノ事デアッタガ、マダ洗腸ヲヤルソウデ之レガ、止マナイ内ハ氣ニナッタ。千葉ニ行キ五円ダケ投ゲ出シテ、オモチヤヲ買ツタガ金ガ余ツタノデ家内ノ病院デベル帯ヲ一本買ツテ帰ル 恵美子モ大變嬉(ママ)ビ照子モオモチヤヲ、ハナサナカッタ

晝帰宅。清平キン大口、信太郎徳治仁三郎ニテ骨上ゲニ行ク 川辺君ニ行ツテ呉レタ由。自分ガ帰ツタ時ニハスデニ小サイ壺ニ這ツテ居タ

夕方小講師ト石橋氏参詣 法名ヲ本昭童子

◆▼178ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月19日(木)

天気晴

内田ヨリ富山ノ飛行機料五十円マケテ呉レタラスグ送ルトノコトニ承知シテヤル

其前自轉車デ病院ニ行ク 昨夕方重湯ヲ飲マシテヨイトノコトデ恵美子ニヤッタラ急ニ

元気が出た由 照子ニ番茶ヲ飲マシタラ之又ビンヲ両手デカ、エテ嬉(ママ)ンデ飲ンダ  
トノコトデアッタ

夜今夜ハ満ヲ本家ノ方ヘウツシテ床ニツク

◆▼179ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月20日(金)

天気 晴

予報ニ反シヨイ天気ニナッタ 一時半頃安岡ヨリ三保ニツイタ汐時シラセトノ入電アリ  
スグ返電ス 五時頃來飛セシヨシ

自分ハ三時頃ヨリ千葉ニ行キ原稿ヲ見ルツモリガマダ出來テ居ラズ。練習日記ハ多田屋  
ヘ注文ス

電車ニテ病院ニ行ク 車中代診ト同車ス

二名共元氣ヨクナツテ居タガ照子ガ起キタガツテカワイソウデアッタ。横ノマ、ダク様ニ  
シテヤルト首ニカラミツイテ、ソレデモヨイ氣持チニナツテ居タ  
夕食後泊ル

◆▼180ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月21日(土)

天気 晴

大口ノ家内ガ腹ヲコワシタトノコトデ見舞ニヨリ電車デ帰津 大蔵デ朝食シテ帰場 安  
岡ニ會フ 証明書期間キレテ無断デ帰ツタトノコトデアッタガ今更仕方ガナイノデ其  
マ、ニスルコトニシタ。内田ガ宿ノ人質ニナツテ居ルノヲ、ドウシタラ、ヨカロウトノコトデ、  
兎ニ角三十円渡シ東京カラ宿ニ電話シテソレデ解決スル様持タシテ上京サセル

兄ヨリ見舞來 十円這入ツテ居タ 大分苦シイラシイ。爲替手形千三百円ノヲ一枚書  
イテ送ツテ呉レトノコト。実ニ困ツタ申込ミヲ受ケタガ、御役ニ立テバ幸ヒト手紙ヲソエ  
テスグ書留デ送ル。鳥飼サンカラ妻君ガ昨日夕方ハガキヲ見タトテ見舞ニ來テ呉レタ。  
コンド木挽町ヘ張り出スコトニナツタ由デ鳥飼氏ハ急(ママ)ガシイトノ事デアッタ。何ンデ  
モモーターズスキノ魚屋サント協同ダソウナ

◆▼181ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月22日(日)

天気 曇晴

今日ハ西野プロダクシヨンノローケーシヨンデ賑ツタ 夕方迄カ、ツテ所員ニ御茶菓子一  
ツ買ワナカッタソウダ

朝満ノ初七日ノ御勤メヲ石橋サン道(ママ)師デ所員十名バカリデ行フ。終ツテ千葉ニ  
行キ会則稿(ママ)正ヲ見テ病院ニ行ク 照子ハヨク寝テ居タ 清平ガ來テ居タ。共ニ帰

場 夕食後清平帰ル 安岡モ食事ヲ共ニシ出張中ノ労ヲネギロウ

▲▼182ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月23日(月)

天気 曇リ

今日ハダメダト思ツタガ九時半頃森早川両氏來場 吉田君三等受験 無事通過  
午後三時頃カラ自轉車デ病院へ行ク。恵美子ハ益々ヨク照子ハ今日ハ八度四分バカリニ  
ナツテ下ガラナイトノコトデアッタ 二時間程居テ帰ル

▲▼183ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月24日(火)

天気 曇リ

午後四時頃カラ千葉ニ行ク 会則校正モイヨ、終ル 多田屋ニヨル 練習日記ノ校正  
ヲシテ帰ル

病院ニヨリ、夕食ニビールヲノム 眠クナツテ其マ、泊ル

今日病院ノ勘定書キガ出來タ由 恵美子ハ明日トノコト 満ガ四十余円 照子ガ八十  
余円 合計百弍十四円余デアッタ 別ニ高クモナイ様ダガ支拂ヒ考ヘサセラレル

▲▼184ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月25日(水)

天気 曇リ

朝食ヲ病院デスマシテ帰場

學校アブロニ全力ヲソ、ケ

高川腹ガ痛トテ午後休ム スグ下濟(ママ)ヲノマセタラコンヲヤリ絶食サセル

家内朝帰り家内ノ整理ヲナシ晝病院へ帰ル

朝大蔵ニ行キ十三ノゴム紐ヲ頼ム 今日須田君ガ來ルカラ聞イテ居クトノコトデアッタ

▲▼185ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月26日(木)

天気 曇リ

今日ハ午後金太郎ノ方ヲ手傳ヒ大ソロイヲナス 夜モ早ク寢ル

明日稅務署行キニツキニ年度分決算報告書ヲ作ル

▲▼186ページ▲▼ 昭和5(1930)年6月27日(金)

天気 雨

朝仕事ヲ見テ居イテ千葉国吉へ行く 來月十日迄待ツテ貰フコトニシテ稅務署ニ行く  
ヨモ三年度分ハ七日間強デ決算ヲ出スコト 四年度分ハ一ヶ月半位カヽルコトノ諒解ヲ  
得。竹内君ニサインヲ頼ミニ行キ妻君ニ渡シテ居イテ病院ニ行キ四日頃帰宅 クタブレ  
タ

夜少シ下痢シタノデ早く床ニツク

夜中風雨ツヨク心配ス

◆▼187ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月28日(土)

天気 雨曇晴

朝六時起床 佛様ノ掃除 此頃ノ日課ヲナシ食事

川辺アブロ發動機試運轉良好ナル練習ヲ見テ上京 工藤君ニヨッタガマダ岐阜カラ帰  
ツテ居ナカッタ 局ニ行キ検査ノ打合せヲナシ、新井サン二十年式翼ノ件ヲ依頼ス。アプ  
ロプレーンハイツノ事カマダミキワメガツカヌ由

四時帰場

◆▼188ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月29日(日)

天気 雨

拾時頃カラ病院ニ行ク 昨夜ウナサレテ氣持チ悪ルカッタ 恵美子ハヨイ方ダガ照子ハ  
又薬ヲノマナイ上ニ食欲ガナクナッタトテ行ツタラ丁度ブドウ糖ヲ注射スル處デアッタ  
イタイヽヽト泣イタ後チ少シアヤシテヤルト一寸笑ツタ 発病以來自分ハ初メテ笑顔  
ヲ見タガ何ニシロヤセテ居ルノデ泣イテ居ルノカ笑ツテ居ルノカ一寸見キワメガツカナ  
イ位デアッタ。何ントカシテ薬ト慈(ママ)養物ヲノマセタイモノダ 四時帰宅 帰ツテカ  
ラモソレガ氣ニナツタ

満ノ二七日ニ當ルノデ小教師サンニ來テ貰フ 布川ノ信者ガ一人助講ニ來タ

◆▼189ページ◆▼ 昭和5(1930)年6月30日(月)

満死後昨夜初テ満ノ夢ヲ見ル ヤハリ初メハ、ケイレンヲ起シカケタ顔デアッタ。一番頭  
ニ残ツテ居タ爲メダロウ。シカシイヤナ氣持デハナカッタ 少シ話シモシタ様デアッタ。死  
ンデ居ルコトヲ夢ノ中ニ意識シナガラ平氣デ話シスルノモ変ダ。ドウモワカラナイ

九時頃珍ラシク磯部氏來場 グライダークラフト工場ト提携シテ貰ヒタイトノコト  
賛成シテ居ク

京成電車カラ一月分ヲ未拂ダカラ電氣ヲ切りマスト朝ノ十時頃ニ來タ 今日中ノ約  
束ノモノヲ余リ馬鹿々々シイテ勝手ニシロトサセル

ドコカラモ爲替來ラズ。入金モナク夕方ノ米ト電氣屋明日ノ信太郎ノパスヲ心配ス午後三時

▲▼190ページ▲▼ 7月

研究所連絡

クラブ会報

夜間飛行

アブロ翼運動ノコト

▲▼191ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月1日(火)

天気 晴

早朝御看経ヲナス

川辺アブロ完成検査ノ爲メ辻本南波氏來場 南波氏ハ竹島ノ親戚デ木津ノ人ダソウダ 金物屋ノコトナドヨク知ツテ居タ

奈良原氏來場 児玉氏ト同家族及機関士篠氏來場 イヨ、直昇飛行機製作スルコトニナツタ由 児玉氏ノ話シデイス。パノ三百ヲ三百五十円 ローン八十七百二十円デ賣ルコトニシタガ但シ飛行機完成ノ上デナイト金六呉レナイノダソウダ。其代リ手入レハ向ウデヤルコト

夕方又御看経ヲナス ドーニモヤツテ居ル内精神統一ヲシタイト思フガ出來ナイ スグ外ノ事ガ頭ニウカンデ來ル 今日セツカクノ御供水ヲ持ツテ行ツテヤル暇ガナカッタ

▲▼192ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月2日(水)

天気 曇リ

朝御看経ヲスマセ朝食後御供水ヲ持ツテ病院ニ行ク 丁度ブドウ糖ノ注射ヲシテ居ル處デアツタ 一昨日ハ百五十グラム御茶ヲ飲ンダガ昨日ハ又飲マナクナツタトノコト 早速御供水ヲタンシヤデアマクシテ、ヤツタラウマソウニ二度ニ七十五グラム 少シ居イテ五十グラム午前中ニ飲ンダ 御経ノ御蔭カ兎ニ角飲メル様々々々ト念ジツ、経ヲ上ゲルコトニシテ居ルカラ此位ノコトハアツテモヨイ積リデ大ニヤツテ見様。ソシテ効果ガアレバ科學的ニ少シ研究シテ見様ト主ヲ

午後川辺君ニ長屋ノ家ヲ一番西ノ端ニカワツテ貰フコトヲ頼ム

◆▼1933ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月3日(木)

天気晴

久シ振りニ上京 川辺君行クト云フノデ待ツタガ來ラズ 先キニ行ツテ呉レトノコト尚  
木下氏へ電話デサルノタイヤーヲ頼マレル  
上京 局ニ行キ玉宮氏ニアプロ検査ノコトヲ頼ム 補助金マダ分ラズ 航空時代社ニ行  
ク 一寸ワカラス困ツタ 青木氏ニ會フ 道永君モ來 高橋秀氏ニモ會フ。夜間飛行五  
百円デキメテ居ル由 イイ話ヲ聞イタノデ、ソレカラ皆川ビルニ行キ久松氏ニ會フ へチ  
マロン確定 内金百円受取ル 三時迄待タサレル 森永ハマダ決定シナイカ確實トノコ  
ト スグ五光商会へ材料ヲ買ヒニ行ク スベテガ安クナツテ居ルノニ驚イタ  
日日ニヨリ大蔵二月六理立借入ニツキ照(ママ)介ヲ貰フコトヲ頼ム。帰途銀坐ニテ大倉、  
西田、須田君へノ贈物ヲ求メ、アスターニテ夕食 余リ腹ガハツテメシガ喰エナカツタ 九  
時大蔵ノ宅ニヨルト今日照子ガ冷タクナツテ危カツタトノコト 帰宅後熱心ニ御看経ヲ  
二本ニヤル 十一時終ル マダソレデモ全時間ヲ通ジテ無我ニナリキレズ色々ノコトヲ考  
ヘテイケナイ 入床後新聞ヲ讀ム 腹イタク下痢ス

◆▼194ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月4日(金)

天気晴

三時間位シカ眠レズ 翼(ママ)朝御看経後一番自動車ニテ病院行キ 割合二元氣ガヨ  
カツタ 恵美子ハ昨日ハ便所へ歩イテ行ツタ由  
御供水ニブドウ糖ヲ入レテ自分ノ手カラ、ノマシテヤツタ處百グラム余リ一イキニソ  
デシマツタ 近來ニナイ良成績ニヤット一安心。之レモ御看経ノ精ト思ワレル。シカシマ  
ダ、御看経中全時間ノ半分モ雑念ガ這入ルノハ面白クナイ  
今日ハ暑イ日デアツタ。税務署へ重イ帳簿ヲ持ツテ出カケル。マダ登記ガ東京ノ裁判所  
ニ其マナル事ガ分リ千葉税務署トシテモアツカエナイコトニナリ、至急移轉登記ヲスル  
コトニシテ帰ル

◆▼195ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月5日(土)

天気晴

朝池本ニ御供水ヲ持タセテ病院へヤルツヒデ二千葉へ蓄電池ノ充電ニヤル  
朝上京 十一時局着 豊田ガオナサケナガラ六十點デ。バスシテ居タノハ嬉(ママ)バシカ  
ツタ  
航空時代社其他ニヨリ工藤君デオソクナリ八時半帰宅 御看経シテ床ニツイタガ眠レ  
ズ十二時過ぎニナル

野間清治氏ノ体験ヲ語ルヲ讀ム

◆▼1966ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月6日(日)

天気 晴

今日ハアブロ作業ノ爲メ仕事ヲナス

晝前カラ病院ニ行ク。今日ハ少シモノマズ 昨日ハ四百グラムばかり摂取シタソウデ行ツ  
夕時ハ眼ノフチモ肉付イタ様ニ思ワレタガ帰リニハ又ヘコンダ様ナ氣ガシタ  
何ント薬ヤ養分ヲ取ル様ニシタイモノダ

◆▼1977ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月7日(月)

天気 曇リ

朝奈良原氏來場 アブロ機体ノ見積書ヲ提出ス スグ金ヲ呉レルトノコトニ病院ノ支拂  
ニ當アルコトガ出來ルト安心シタガハタシテ取レルカシラ 幾分心配モアル 篠氏モ來場  
正午ヨリ奈良原氏ト出ル 船橋ニテ分レ東日ニ行ク 田中來ラズトノコトニ先ヅ阿部ニ  
ウエルトト其近所ノメッキ屋ニベールベヤリングノメッキヲ依頼シ、東日ニヨル マダ、コナ  
イトノコト。來タラ航空時代社へ來ル様ニタノミ久松氏ヲ訪問 森永ハダメトノコト 材  
料代ヲ損ヲシタ ココヨリ所沢ニ電話シタルニ、今日ハ霞ヶ浦ニ出張シタトノコト 馬鹿ニ  
シタ野郎ダ。オカゲデ腹。ヘコデ帰リノ自動車賃モナク帰場ス。何ントシテモシヤクニサワ  
ル奴ダ。タシカニ使ヒ込ンデ居ルラシイ。  
夜照子食ヲ取ル様二本才看経ヲナス

◆▼1988ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月8日(火)

天気 曇リ

朝御看経 夜二本 昨夜一生懸命ニヤツタ爲メカ今日ハ照子ガオモユ百七十 茶ガニ一  
百グラムノンダ由 先ヅ有難イ

今日ハ旦代君ノ一等試験デ森航空官ガ七時前ニ來ラレタ

早朝安岡ニ田中へ電話カケサセタラスグ電爲替ニテ送ルトテツヒニ送ツテ來ナカッタ。夕  
方豊田君ガ入金シテ呉レタノデ石川ヲ所沢へ手紙ヲ持タセ出張サセル

◆▼1999ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月9日(水)

天気 曇リ

今日ハ五時起床 急イデ御看経シテ、電氣屋ニ四月分ダケ支拂ヒ、所沢へ電話スル 田

中丁度出テ來テ金六銀行開キ次第渡ストノコト 外ニ岡田ノ分モ話タ處ソレハ延バシテ  
貰ヒタイ 羽布ガ入ルナラ立替ストノコトニ二十五ヤール貰ツテ帰ルコトトス。夕方オ  
ソク帰り大ニ心配ス 約束ニモカ、ワラズ羽布代トシテ二十円引イタ由。早速ハマガ來ル  
大工ガ來ル 閉口 今夜ヨク考ヘテ明日支拂ヒヲスル予定ノ處ツヒニ今夜バタ、大部  
分出デ重要ナモノダケデ安岡ニモ工場員ニモ、病院ナド勿論一文モヤレナイコトニナル  
ノデ田中春雄君ヲ呼ビ練習費ヲ急ガセル。油屋へ金ヲ内入シテ稲毛ニ行ク

◆▼200ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月10日(木)

天気 雨

七時起床 病院デ食事ヲナシ検見川ノ醫者ニヨリ金ノ断リヲナシ恵美子今日退院ノ  
諒解ヲ得テ帰場 石川ヲ東京へ使ニ出ス  
検査官駒林、坂本氏來場 工場アブロ濟ミ鈴木アブロ翼急(ママ)ガシイカラ此次ギニト  
ノコトニテダメ  
午後クラブ会報ノ原稿ヲ作ル  
夕方自動車ヲ迎ヘニヤル 信太郎ガ乗ツテ行ツタ 恵美子帰ル 早速皆ソデオモチヤヲ、  
ヒロゲテ遊ソデ居タ

◆▼201ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月11日(金)

天気 曇リ

今日ハ手紙日デ大分書イタ  
内田ノ三十円受取ル 皆ソナニ又少シツ、分ケル  
午後上京 局へ新入会希望者ノ体格検査表ヲ提出ス 早川氏ニ成ベク早ク返事ヲ頼ム  
高橋、豊田、免状受取ル  
山下君ニ會ヒ鈴木委任状ノ件濟ンダ話シヲ聞キ判ヲ貰ツテ帰ル 田中ツヒニ來ナカッタ  
由 シマリノナイ男ダ 久松氏ヲ訪問シタガ不在。飛行館ニ行キ前航空局長へノ贈物ノ  
金ヲ馬詰君ガ居ナイノデ道永君ニ預ケル  
帰途工藤君ニヨツタガ不在 帰宅。自動車デ小島サント会ヒ御看経ヲナス

◆▼202ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月12日(土)

天気 曇リ

クラブノ原稿ヲ終ルツモリノ處へ国産直昇ノ児玉サント今井サン來場 奈良原氏ヲ待  
タレタガツヒニ來ラレズ。先日奈良原氏ニ出シテ居イタ請求書ニヨリ金百四十五円也ヲ  
受取ル 思ヒガケナイ入金ニ嬉シカッタガ夕方所員ニ分ケ塗料ヲ引取り小カイモノヲ

支拂ツタラツヒニ、ナクナツテ仕舞ツタ 之レダカラ、ヤリキレナイ ドウモ自分トシテハ  
金ノモテナイ性分カ拂ワナイデ居ク訳ケニ行カナイモノバカリダシ困ツタモノダ

▲▼203ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月13日(日)

天気 晴

久シ振リニ晴レタガ暑カッタ 午後ハソレデモ風ガ出テ涼シカッタ 午後ズットクラブ会  
報ノ原稿ヲ作ル スツカリ出来テアトハ会計報告書ダケデアル  
知覧君ガ想ヒ出サレテ記事ノ中へ加ヘル

▲▼204ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月14日(月)

天気 晴

クラブ原稿ヲ終ル 会計決算ヲナス 意外ニ金ノカゝツテ居ラナイノニ驚イタ

▲▼205ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月15日(火)

天気 晴

五時起床 スグ上京 伊藤西夫氏訪問 マダ寝テ居タ 晝頃会計ガ來ルカラ其頃來テ  
呉レトノコトニ局ニ行ク 西川玉宮氏ニ検査日取り十七日ト決メテ貰ヒ久松氏訪問  
東京ネオン電話スル 今日明日休ミデ分ラヌトノコトデアツタガマダ出荷シテ居ナイノ  
デ明日十時迄デニ出スコトヲ頼ミ、工藤君ニ會ヒ横浜飛行ノ件ヲ定メ、正十二時伊藤  
氏訪問 五十円受取ル。佐藤ニヨル ケーブルナク所沢へ電話シテ安岡ニ持ツテ帰ツテ貰  
フコトニス 四時帰宅  
夕食時大坂ノ蒲生庄兵衛ノ息子ダトテ日大ノ醫科ニ居ルノガ八円貸シテ呉レトノコト  
デアツタガ結局四円貸シテヤル  
高橋今朝治君アブロ來場入庫

▲▼206ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月16日(水)

天気 晴

クラブ会報注文ニ多田屋ニ行ク 二十八円、五百部ニテ割ニ安カッタノデ安心ス  
帰りニ病院ニヨル 昨日カラ又ノマナクナツタヨシ。最イソガシイノデ御看経ガ漸ク一本  
シカ出来ナカッタ爲メデアルトモ思エル  
兎ニ角多クヤッタ翼(ママ)日ハ不思議ニ多ク飲ムカラ泊ル

▲▼207ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月17日(木)

天気 晴

病院ノ帰りニ局トネオンニ電話カケル  
ネオン夕方到着 ヤット安心

松浦氏ト山下氏來場 夕方六時漸ク合格 オイルポンプノ爲メ遅クナル

▲▼208ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月18日(金)

天気 晴風

時事 世界記録第四位ノ颱風七〇六ミリ九州朝鮮ヲ荒ス 風速五十一米ノ由  
川開キ飛行ノ爲メ全員チユーブ取付作業

夕方七時頃久松氏外ヘチマコン社員來場 久松氏ヨリ三十円受取ル  
コイル一個ヨリ他不良ノ爲メ西田ヘ電話シテ明日立川ヘ取リニヤルコトニス

▲▼209ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月19日(土)

天気 曇風強

ネオン取付ケ作業ニ終日カッテ尚不足 荒天ノ爲メ延期デヨカッタ  
局カラ坂本氏検査ニ來場サル

チユーブ式本折レ止ムナク透明ノ分デ間ニ合ス

池本コイル取リニ立川ヘ一番デヤル 三時頃帰ル 一ケヨリ使用ニ堪エズ。ネオン夕方點  
火試験 五十分以上持チソウガコイル不良ノ爲メヨク分ラナカッタ

問題トナルベク予期シタ川辺君ノ支那學生ニツキ伊藤酉夫氏來場 川辺君ト会見ス

▲▼210ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月20日(日)

天気 曇リ

今日モヨクナクドウナルコトカト心配シタガヤルコトニキマッタト十二時頃分リソレカラ  
大急ギデ石川ト高川ヲ上京セシメ許可ト。パイプノ補充ニアタラセ、尚万一ノ場合ヲハ  
カリコノーヲ取リニトシテヘヲ完全ニシテ居ク 七時半頃キリ雨シゲク、視界ナク中止ト  
決定シテ電話シタガ居ラズ打電シテ帰ル 八時頃ヤ、晴レタガ汝ノ爲出ラレズ中止ス

▲▼211ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月21日(月)

天気 晴

所員ヲ休マセタガ自分ハ休メズ。近頃メッキリツカレガ、コタエタ、ガ上京 局其他ニ行ク  
久松氏ト昨日飛ベナカタコトニツキヘチマコロンノ取アツカイ者ニ會ヒニ行ク 廿六日ニ  
決定シテ帰ル

夜病院ニ行ク 照子今日ハ漸ク百五十グラムヨリ取ラズ又衰弱シテ居タ 朝食塩 夜  
ブドー糖ヲ二三日前カラ注射スル由

▲▼212ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月22日(火)

天気晴

朝食ハヤハラカイオカユヲタイテ呉レタノデソレヲタベヤセタ照子ヲ残シテ大口ニ行キ同  
道シテ貰ツテ千葉行キ 生レテ初メテ歯科醫ニカゝル 大口ノ友人ダケアツテ話シ好キ  
ドイツハツベクモ見エズ、二三度サイソクシテヤツテ貰フ 心配シタ様ナコトハナク一本モ  
ヌカズニセメンヲツメルダケデヨイトノコトデアッタノデ大ニ安心シタ  
千葉活版デ校正後、国吉ヘヨリ來月早々ノコトニ頼ンデ帰ル。午後休養 夕方少シ身  
体元氣ニナル

▲▼213ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月23日(水)

天気晴

奈良原氏児玉氏來 谷津へ食事ニ連レテ行カレル 倍食篠川辺両君 將來ノコトニツキ  
児玉氏ヨリ雑談ノ内ニ頼マレル處アリ四時迄カゝル。余リ金ヲツカワナイ處ハサスガ実業  
家ダ

帰りニ船橋ノガソリン屋へ支拂ヒヲナシアトノコトヲ頼ンデ帰ル  
今日ハマッタク元氣カイフクシタ

▲▼214ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月24日(木)

天気晴

照子ノ事ヲ思ヒ正午御看経中小島サン來 又新ラシクヤリ直ス 晝食ヲ共ニス 以上  
廿五日ノ記事

奈良原氏來場 安定翼トシテ三型ノ下翼ヲ使フコトニナリ之レニ補助翼ヲ取付ケル見  
積リヲ依頼サル

終日夜間装置ノコイル取付ヲナス 夜ニ入りテ少シ残ル 理想通り

夜照子ノ爲メ御看経シテ早ク寢ル

◆▼215ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月25日(金)

天気晴

今日八千葉カラ病院へ行ク予定ニテ午前中ネオンノ準備完成シ午後猿田へ補助金申請書ヲ書ク、内大蔵ヨリ吉田氏死亡ノ電アリハット思ツタ 自殺?ト 大蔵ノ家内モ來ソシテ思ツテ居タ悲觀ノ極ト思ワレタ 千葉行キ中止シテ食後上京 散髪シテ行ク丁度十一時ニナツタ 十円香奠 話シテ聞クト自殺デハナカッタ 赤羽駅ニテ急死ノ由。輕井沢カラノ帰途ダト アトノ事ヲ思ト妻君ガ氣ノ毒デアッタ。  
今日午後カラツカレタ精カ左ノ頭ガ神経痛ノ様ナ痛ミ方ガハゲシク困ル  
千葉へハ校正トウイジヨシノ手紙ヲ見テ貫ヒニ竹内君へ石川ヲ使ヒニヤル

◆▼216ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月26日(土)

天気晴

吉田氏ノ火葬場へ出ルノヲ見送ツテ帰宅 今夜ノ夜間飛行準備ニイソガシク、夕方食後谷津ニ行ク

九時出發 上空ニテ點火セルニマノ字ツカズ一時間二十分後帰場迄心配ス 着陸ノ際火ヨリ手前ニ降テ脚ヲコワス。火ヨリ手前デアッタコトト抵抗ノ爲メ早く沈ンダ爲メデアロウ 今夜ハ其マ、ニシテ引上ゲル

◆▼217ページ◆▼ 昭和5(1930)年7月27日(日)

天気晴

上野昨夜中ニ分解シタトノコト 今朝取リニ行ク

朝菌醫者ニ行キスグ上京 工藤君ニ昨夜飛行ノ模様ヲ聞ク ヨク出テ一字モ消エテ居ナカッタトノコトニ安心 吉田氏宅ニ行ク 森、道永君ニコ、デモヨク見エタトノ好評デ嬉シカッタ 但シコワシタコトハ口ニ出サナカッタ

告別式後タゞチニ協会ニ伊国飛行士ノ講演ヲ聞キニ行ク 丁度終ツタアトデアッタ。處ガ宅カラ電話デ照子ガ危篤トノコトニスグ稲毛ニ直行ス。モウ生キテハ居マイト思ツタガ時々ウナツテ居タガマダヨカッタ。脈モ非常ニヨカッタガ夜一寢入りシテ氣ガツクト脈ガ細クウナリ声ガタエナクナツタノデ家内ヲ起シ醫者ニ注謝(ママ)ヲシテ貫ツタガ遂ニヨクナラズ五時半死ス。一時頃ヨリ死又迄小供ノコトトテ、カワイ、声デウナルカラ、ヨイカ、オトナデハトテモ聞イテ居ラレナカッタロウト思レタ

スグ検見川ノ先生ニ挨拶ニヨツタガ不在 帰宅。兎ニ角金ガナイノデ、石川ヲ久松氏ノ處へ取りニヤル 夕方オソクヤット百七十円受取ツテ歸ル。ソレ迄待テナイノデ午後二時頃一文モ支拂ヒ出來ズ極リ悪ク死体ヲ引取ル。夜スグ五十円入院料ノ内入ト外ニ

先生ヤ女中ニ至ル迄経ヲ包ンデ持タセテヤッタ ツヒデニ診断書ヲ云ツテヤッタガ、金ガ少イトテ書イテ呉レナカッタトテ大口ノ家内モ一所ニ來テ話シテ居タ オナホノ話シ方ガ面白クナカッタノデアロウガ何ニシテモ氣持ノ悪イコトデアッタ

▲▼218ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月28日(月)

天気 晴

昨日ノ午前五時死亡以後ノ記事ハ本日ノ記事ナリ

▲▼219ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月29日(火)

天気 晴夕立

石川ヲ猿田ヘ金取リニヤッタガ之レモ一文モ貰ワズニ帰ツテ來タ  
奈良原氏児玉氏來場 翼改造トエロン新造 車輪ノ見積書ヲ出シ五十円金ガ入ルダ  
ロウトテ内金呉レタ。外ニ奈良原氏ノ取巻連追拂ヒ代及引越料ノ出處ナキ爲メトテ五  
百円ノ領収書ヲ書イテ呉レトノコトニ書イテ差出ス  
午後五時照子出棺 お寺サン丁度自動車ニ乗セタ處ヘ來タノデ出棺後経ヲ上ゲテ貰  
フ。來月式日一週忌ト満ノ四十九日トニ告別式ヲ行フ事トス

▲▼220ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月30日(水)

天気 雨

猿田ヘ金呉レナケレバ補助金取消ス旨書留メデ送ル  
川辺ニモ請求

▲▼221ページ▲▼ 昭和5(1930)年7月31日(木)

天気 曇リ雨風

上京 佐野デ買物ヲナシ局ニ行ク 検査日取リト川辺金請求ノ爲メ。久シ振リデ課長  
カラロヲ聞イテ川辺ト馬詰ノ件聞カル。馬詰ノ間違ツテ居ルコトヲ話ス  
飛行館ニ行ク 片岡ニ会フ 五日ヨリ講習中ノ練習ニ付見テ貰フコトヲ話シタガ丁度富  
士山カラ「グライダ―」ヲヤルノデ見ニ行クトノコトデダメ  
日本計器ニ回轉計ヲ頼ミニ行キ途中雨ニ降ラル  
倶楽部会合ハ申合ヲ励行セザルコトナル 会員名簿ヲ作ル 会費ヲ取ルコトナル

▲▼222ページ▲▼ 8月

- クラブ発展策
- クライダー完成
- 直昇機着手
- 研究所連絡
- アブロ翼ノコト

▲▼223ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月1日(金)

天気 曇リ雨風

猿田ツヒニ送金セズ氣ヲモム 川辺ニ行キ正午三十五円受取ル スグ船橋ニ行キ葬儀屋  
ト菓子屋ノ注文ヲナシ全部支拂ヒ済ミヤット安心ス

▲▼224ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月2日(土)

天気 曇リ

次第二風弱マル

満照子告別式ヲ取行フ爲メ早朝歯科醫ニ行ク。

鳥飼、佐藤、石橋サン、外稻毛ト所沢ノ練習生、所員デアッタガ大蔵モ朝カラ來。清  
平モ來ル

二時丁度ニ擧式 式後スグ取カタツケル

家内母ト夕方例ノ障(ママ)突 母、金太郎宅ニ行ク 相変ラズノ人ばかり  
夕方大塚來場 本日ヨリ再勤

▲▼225ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月3日(日)

天気 晴

久シ振リ二本当ノ天候ニナル

朝歯科醫ニ行ク 右ノ奥下ノ齒ニセメントツケ前上一本入レ齒スルコトニシテ形ヲ取ル  
十五円カ、ルトノコトニ二寸タヂロイダガ、ヤリカケタ時ヤラナイト出來ナイト家内モ  
進メルノデヤルコトニシタ

キンヲ東京ノ先キカラ暇ヲ取ルノデ稻毛ノ妹ヲツケテヤル 小供ヲ全部引連レテ預テ  
行ツタノデ大サワギデアッタ

▲▼226ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月4日(月)

天気晴

奈良原氏來場

◆▼227ページ◆▼ 昭和5(1930)年8月5日(火)

天気晴

奈良原氏來 今日児玉氏金持ツテ來タラ十円貸シテ呉レトノコトデアツタガ児玉氏來  
タガ金持ツテ來ズダメ

夕方明日霞ヶ浦ノ拂下受ヲ取りニ行カネバナラス事ヲ思ヒ出シタガ金ナク川辺へ取りニ  
ヤツタラ上京シテ居ナイトノコト 家内ニ都合サセテ上野ニヤル事トス

本日ヨリ講習初マル 安岡、鈴木、且□、山田、皆所沢行キ

高橋今朝治君鈴木機受檢ノ爲メ來テ呉レタガ検査官來ラズ

◆▼228ページ◆▼ 昭和5(1930)年8月6日(水)

天気晴

昨日検査來ラズ 少々中腹デ九時十五分前局ニツク 皆イタ

玉宮西川両氏ノ前デ昨日サンザン待ツタコトヲ云フ。何ノコトダ朝連略(ママ)ヲ取ラ  
ナイカライケナイトノコト 馬鹿々々シイ 一昨日行ケナケレバ、昨日行クトハツキリ云  
ツテ居キナガラ玉宮ト云フ人モ森川サンニ似タ人ダ。兎ニ角明日トキマツテ協会ノ圖書  
室ニ行キヘリコプターニ關スルモノヲ調べテ久松氏ヲ訪フ 名古屋へ行ツテ居ラナイトノコ  
トニ九日ノ飛行ニツキ三百円以下デヤレナイコトヲツグヲ帰居キ手紙シテ帰宅スルト、  
クラブノアンリオヲ埴山ガ逆立サセテ居タ。橋本国雄來ル 買手ガアレバ賣リタイカラ  
承知シテ呉レトノコト。ソレハイケナイカラ十年式補助金ニテ五百円ヤルカラ今迄通り  
ニシテ來年迄待テト云ヒ結局東京ノ叔父ニ相談シテ見ルトテモノ分レトナル  
夕方ヲ共ニスベク川辺ト二人呼ビニヤツタラ二人デ上京シテ來ラズ 氣持悪ルシ

◆▼229ページ◆▼ 昭和5(1930)年8月7日(木)

天気晴

トツカピン服用 翼(ママ)日ヨリ頭ノ痛ハ取レ今日ナド機体検査中炎天ニ出テ居テモ今  
迄ナラトテモ居ラレナイガ、カナリ永ク居テモ何ントモ感ゼズ ギラ、スル天空ヲ見テ  
モマブシクナイ。クシヤミサエ出ナカッタ。此工合ダト顔ノ熱ク感ジルノモ直ルカモ知レナ  
イ。續ケテ服ムコトニ決メル

京成電氣三月十二日以來止メラレタコトニナツテ居ルノヲ其マ、使用シテ居ルコトガ分  
リ二人來タ 会社側ノ手落ちヲ述ベタガ中々聞キ入レナイ。不都合ナ集金人ダ

夕方清平來 父上京 新潟へ行クノ二百円入ルトノコトデアッタガ今日ハ電気屋ニヤラ  
ナイノミカ米ヲ漸ク一斗買ツテ夕方ノ間ニ合セタバカリナノデトテモ出來ズ。明日奈良  
原サンノ方ノ内金貫フコトニ篠君ヲ頼ンデ市川へ行ツテ貰フ。兎ニ角宿屋ニ居テハ大變ダ  
カラ明朝コチラへ來ル様事傳ヲヤル

▲▼230ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月8日(金)

天気晴

昨夜篠君ニ頼ンダ件奈良原氏來場 手紙ヲ貰ヒ自分上京 児玉氏訪問 丁度居ラレ  
テ、半額ノ予定ヲ先キノ五十円モ引カズ全部呉レタノハ有難カッタ。晝食ノ馳走ニナリ  
妻君ノ獨手療法ヲヤツテ貰フ 胃腸ト心臓ガ悪イソウダ 二時過ギ辭シテズツト帰宅  
ス 兄ガ丁度持ツテ居タ 兄ノ方八十円ニシテ貰ヒスグ電気屋へ三十五円持タセテヤル  
兄ト夕方ヲ共ニシタガ御馳走ニナリ帰りニヨツテ貰フコトニス

▲▼231ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月9日(土)

天気曇リ

今日皆ニ少シツ、分ケル  
午後千葉ノ齒科醫ニ行ク 明後日入レルトノコトデアッタ。印刷屋ニテ会報受取り 竹  
内君ハ明日ニシテ帰場  
家内ト往復共自動車一所ニナル

▲▼232ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月10日(日)

天気晴

早朝一番自動車デ國吉ニ行ク 百円局ノ方下リ次第ト云フコトニシテ竹内君ニコンバー  
会社ノ手紙ヲ讀ンデ貰ヒニ行ク 弐千瓦デスイフト機一台附ケテ圖面等一切ヲ渡スト  
ノコトデアッタ。一台付ケテ呉レレバソレデ何ントカシテ陸軍へ買ツテ貰ツタラソレダケデ  
全部買エルト思タ 一ツ運動シテ見様カシラ  
午後照子ノ二七日ニテ小島サン參詣シテ貰フ 今日ハ御馳走ヲ作ツテ待ツタノニ清平ツ  
ヒニ來ラズ 大藏ノ家内子宮ニテ明日入院スルトノコト

▲▼233ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月11日(月)

天気晴

クラブ会報發送

児玉氏來場 奈良原來ラレズ帰ル 明日奈良原氏訪問ノ上上京スルコトトス  
大倉ノ家内入院ノ爲メキント家内行ク  
大坂ノ兄來 夕方迄居タガモテナシ出來ズ帰ル

▲▼234ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月12日(火)

天気 晴

上京 局ニ行ク 鈴木ノ願書出スツモリノ處三ヶ月ノ堪航証トノコトニ失望。川辺ノハ  
漸ク査定ガ終ツタバカリ 金ニナルノハマダ、  
久松氏ニ会フ ヘチコロ夕方迄待ツタガツヒニ極ラズ  
夜帰宅 田中来 橋本ノ代理トテ大格納庫ノ管理者トナツタカラ局ヘモ定置場管理者  
トシテ届書ヲ提出セリト 先日叔父ト相談ノ上返事スルトテ帰ツタママ一言ノ挨拶モナ  
ク局ヘ届タリスデニ川辺ニ賣ルコトニシ川辺金策中ナリトノコト。川辺ニモ一言コトワリナ  
シニ買ワナイダロウコトヲコトワツテ居ク  
一時ニナル

ツヒニ朝迄一睡モ出來ナカッタ  
不都合極マル奴等バカリデアル 田中ノ野心 川辺ノ不信、橋本ノ裁判

▲▼235ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月13日(水)

天気 晴

昨夜一睡モセズヤヤ出來ナカッタ 朝早速橋本ヘ長文ノ手紙ヲ書ク マダ書キ足りナイ  
ガ、アトハ同人ノ出様ニヨツテノコトニス  
奈良原氏來場 重心點ヲ定メ機体ノ進行ヲハカル。同氏心臟ガ大分苦シソウデアッタ  
ノデコチヲノ方ハ、ワカラナイ處ハ聞キニ行クカラ静養ヲ乞フ

▲▼236ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月14日(木)

天気 晴

ドウシテモ取ルツモリデ銚子ヘ行ク 猿田例ニヨツテ不在。宮田君ガ大分奔走シテ呉レ  
タノデ夕方迄マッタガツヒニ金出來ズ 少シアヤシイ點モアッタガ明日送ルトノコト 万  
一間違ツテモ十九日ニ六間違ナシトノコトデ引上ゲル  
不在中片岡君ガ來タソウダ

▲▼237ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月15日(金)

天気 晴

日曜ノ休ミヲお盆ニツキ繰上ゲテヤスマセル  
クラブ練習ニガソリン入ルノデ自身船橋ニ行ツテ持タセテヨコス 余リヨイ顔ハシナカッタ  
ガ間ニハロフ  
安岡昨夜帰ル 参考書ガ大分出來タノハヨカッタ

▲▼2388ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月16日(土)

天気 晴

終日在所 マダ時々格納庫ノコトガ思ヒ出サレル  
満ノ命日ニナル 夜家内一同デ御看経スル ドウモマダ、ダキベテヤリタイ様ナ氣持ガ  
スル  
大利根ノ鎌田君、ソレニ数年振りニ塚本君來場 税務署へ出ス決算表作りヲ高川ニヤ  
ラセテ見ル。ヤハリ出來ナイ  
コンパー会社へノ手紙ヲ竹内君ニ依頼状ヲ出ス ウエストランドノ方ハコトワルコトニス 最  
(ママ)非共コンパーハ買ヒタイモノダ  
朝山田君へ行ク 小兒ノ病氣モダン、ヨイトノコトデアッタ。アブロイツデモ引渡スコト  
ヲ申入レル

▲▼2399ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月17日(日)

天気 晴

昇降舵ノ設計ヲ初メル  
奈良原氏カラスグ來テ呉レトノ手紙來 正午ヨリ行ク 丁度上リタテノ小魚ガ來タノ  
デ少シ持ツテ行ク 別ニ之レト云フ用事モナカッタ 四時帰宅スルト誰レモ居ラナイ 聞  
クト上野ガ休メト云ツタトノコト 夕食後上野ヲ呼び相談ナシデ休マセタ不都合ヲナ  
ジリ今後ワイマシム。尚全員ヲ集メ近來作業ノ怠マンヲセメ注意ヲ與フ

▲▼2400ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月18日(月)

天気 晴

今日ハ方向舵ノ設計ヲナス  
コンナ仕事ヲ自分デヤルノハ誠ニ面白イ 少シ勉強シテ全部ノ設計ヲ自分デヤル様ニシ  
タイモノダ  
川辺ノ妻子ハ箱根ノ温泉へ行ツテ居ルノダソウダ 影(ママ)氣ノヨイ話シダガ又腹ガ大  
キイトノコト コンドハタレノ子カ一寸區別ガツキ兼ルダロウ

昨日一昨日ハ女中ヲ連レテ稲毛ヤ東京へ御遊ビダソウダ。困ツタ人ダ

▲▼241ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月19日(火)

天気晴

心配ナ颱風ハ分利(ママ)シテ影響ハナイトノコトヲタ刊デ見テ安心シタ

今日ハ昨日ノ方向舵ノ残リトエレロンノ圖面ヲ完成シタ 丁度五時五分前ニ終ル

正午川辺君ニ行キ小栗ノ金百円ニオウ外ヲツキマケタコトハ即金ノコトデ延ルノナラダメト念ヲオシテ居ク

朝山田君來場 昨日アブロ持ツテ行キタイトノコトデ午後準備サセテ居ク

田中不二雄カラ先日ハ氣ニサワルコトヲ云フテスマナカッタトノ手紙來 少シ心持ガヨクナツタ 人間テ妙ナモノダ 自分ダケカシラ。アトノ條件ヲ聞キニ來タガ明日返事スルトトス。

猿田マダ金來ラズ 宮田氏へ打電ス モシ今日來ナケレバ明日行クトシテ居ク

▲▼242ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月20日(水)

天気晴

一番自動車デ千葉ニ行キ千葉ヨリ汽車デ銚子ニ行ク 飛行場ニ行クト丁度猿田氏ガ居タ。大変失禮ヲ謝シ先日來日光デ宮田カラ、クワシク話シヲ聞イテ初メテ知ツタ様ナコトヲ云ツテ居タ 兎ニ角日光ハ四十人バカリ同乗者ガアッタノデ今日帰ツテ來テ今夜計算スルカラ明日正午迄ニ必ズ送ルトノ約束デ帰ル 帰リノ切符ナド買ツテ呉レタリ旅費トシテ水上アブロノペラ一本送ルトノコトデアッタ

三時半帰宅ス

浅野來場 ブラ、遊ンデ居ルラシイ

▲▼243ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月21日(木)

天気晴

今日ハ奈良原サント猿田ノ金ヲ待ツタガドチラモ來ナカッタ 猿田カラハ明日ニシテ呉レト電報ガ來タ

朝田中へ橋本国ノ件ノ返事ヲ出ス 今月五百円入レルコト アト利子ハ五分ニ負ケテ貰イタイコト 返済期日ヲ六年十二月卅一日トスルコトヲ云ツテヤル

▲▼244ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月22日(金)

天気晴

終日在所

▲▼245ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月23日(土)

天気晴

朝石井へ行ッテガソリンヲ持ッテ來サセル 奈良原氏待ッテ居ラレルノデ、スグ帰宅 後共ニ上京ス。グライダーニドウラルミンヲ使用スルコトト同時ニ宣傳スルコトノ話シヲナス。自分ハスグ局ニ行ク 金來月デナケレバ間ニ合ワヌ由 閉口 佐藤ニヨリ鉄板トパイプヲ求メテ帰ル 橋本ノ件話シヲ聞ク  
猿田ヨリトウ、金來タガ現金ニハナラナカッタ由

▲▼246ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月24日(日)

天気晴

今日ハ見積リヤ計算ヲスルツモリノ處晝前清平が大坂カラ帰り竹内君モ來ル筈ナノデ御馳走ヲシテ待ッタガツヒニ來ラズ 夕食ヲ早クシテ今日ハ晝ト夜ト二回お看経ヲシタ夕方自動車屋ガ佐藤ノ鉄板トパイプヲ持ッテ來テ弍円呉レトノコトニイツモヨリ高イ様ニ思タノデ高イト云フト、何ニカ自分等デ勝手ニモウケテ居ル様ニ思ワレタトデモ思ツタカ、カレコレスル内自分ガウツカリ馬鹿ト云ッタトテ品物ヲ持チ帰ルトノコトニ大口論シテツヒニ主人ニ來ル様云ヒツケテ帰ヘス。アトデ考ヘテドウシテ、アンナ馬鹿ナ争ヒラシタカ知ラ 今月ハドウモイケナイ

▲▼247ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月25日(月)

天気晴

イヨ、直昇ノ金ヲ借リルコトニキメ早朝六時宅ヲ出テ奈良原氏訪問 千五百円ナイトドウシテモ、ウマク運ビガツカナイノデ道々ソノコトヲ考ヘナガラ行ク。然ルニ一昨日出タマ、昨夕帰ルトノコトデアッタガマダ帰ラヌトノコトデムダ足シタガ帰宅後胴体エレベーター方向舵ノ見積リヲ行フ 約千円余リニナッタガ之レデハマダ足りナイノデドウシヨカト奈良原氏ニ相談スルコトニス  
午後八今月ノ仕事ノ計算ヲナス。  
安岡太平洋飛行ヲ見タイト云ノデ十円ヤツテヤル  
田中來 橋本カラマダ返事ナイガイツ金貰エルトノコト二月末迄トキメテ居ク。川辺シキリニ買イタガツテ居ルトノコト 不都合千万ナヤツ。話シガキマッタラ早速値上ヲシテヤル

◆◆248ページ◆◆ 昭和5(1930)年8月26日(火)

天気 晴 九十三度

朝近頃ナマケタ体操ヲ行ヒ奈良原氏ニ行ク 少シ遅レタノデ行違ヒニナリ、スグ引返シ、金ノ件想(マ)談ス。計算ト見積リノ外ニ五百円前借りヲ頼ダトノコトデ、ソウスルコトニス。午後計算ヤ記帳デ五時過ぎニナル

昨夜安岡帰ツタ由 昨日ブロムリート汽車ノ中デ一所ニナリ自動車モ食事モ共ニシタトノコトデ大変ヨカッタ 試験飛行モ見タ由デアル

◆◆249ページ◆◆ 昭和5(1930)年8月27日(水)

天気 晴

六時カラ上京 八時児玉氏宅ニ行ク 奈良原氏スデニ來テ居タガ今日ハ金ニナラナイトノコトニ万事奈良原氏ニ依頼シテ帰ル 協会ニヨリ少シ晝寝シテ工藤君ニヨリ帰宅 三時丁度児玉奈良原氏來場 出資者ノ村田氏同道デ今谷津へ行ツタトノコトニ追ッテ行ク 会見ス 会計ヲ預ル西田ト云フ人ニモ會フ 少時ニテ分レル 明日金呉レトノコトニ先ヅヨカッタ

◆◆250ページ◆◆ 昭和5(1930)年8月28日(木)

天気 曇冷

六時半宅ヲ出デ九時局着 川辺ノ請求書同付ヲ見ル 辻本氏不在。二等飛行士五十五キロ以内ニ着陸ノ件ニツキ調査ス 判定セズ研究シテ返事スルトノコトデアッタ

丁度十時 児玉氏宅へ行ク間モナク奈良原氏金千四百円受取ツテ來ラル 皆呉レタガ篠君分此内カラ立替ルコトニナル

協会ニ行ク 記者ニテ所沢へ電話シタラ丁度田中來 契約書ヲ作り五百廿五円渡ス 橋本ヨリハ未給中出張費 入営中ノ給料込請求シテ來タ由 考フ間敷イ男ダ。之レハサスガニ田中モ事ワルトノコトデアッタガ契約ニアタリ分割入金ヲ迫リ應ゼザレバ右請求ヲナスト云ワヌバカリノロブリハ不快 此男ノクセダガ、後チ地下室ニテビールヲノム中ニ契約書中分割金高中ニ利子モタ、金高ダケヲ記シ利子ト云フコトヲ書カナカッタコトハ格納庫料ヲ請求出來ル口実ニナルトノコトデアッタ。ソナコトハアリマセンガ自カラノ横着振リトヌケ目ナサヲ自慢ノツモリデ話シテ居タ。兎三角、自分ノヤッテ居ルコトヲ自慢スルクセガアルガマダ若イタメダロウ。尚川辺ヲ今度ノコトデ追出サナイ様ニシテ呉レ 特ニ一筆書イテ呉レトノコトニ馬鹿ナコトト一言ハネツケル

日日ニヨリ報知デクラブノ広告ヲタノミ帰宅 片岡ニ會ヒ十円貸ス 写真ノコトタノマレ

工藤ニヨリ、長岡閣下ニ会ヒクラブノコトヲ話シ會フ

▲▼251ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月29日(金)

天気 晴

朝國吉三行ク 不在 明朝ヲ約シテ帰宅後一同ヲ集メ七八月分ノ給料支拂ヒラナス。  
今月ヨリ全部日給ニ改メ明後日ヨリ各自自炊スルコトニナル 勤務振りニツキ今後厳格  
ニスルコトヲ申シ渡ス。後子信太郎ト徳治ヲ連レ報知機歓迎ノ爲メ代々木ニ行ク 今日  
ハ大坂泊リニテ帰途銀坐ノアスターニテ夕食後帰ル

▲▼252ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月30日(土)

天気 晴

時事 ブロムトリー機今朝五時半出発セシモガソリン重ク中止ス

一番自動車ニテ千葉ニ行キ國吉氏ニ、百円渡シ外ニ車賃五円ヲ渡ス 明日契約書作ル  
コトニナリ、スグ上京。工藤君ト同道シテ代々木ニ行ク 三保ニ不時着シテ着陸ハ午後二  
ナルトノコトニ晝食ニ行ク。伊藤酉夫氏ニ會フ 一時前無事到着ヲ見テ帰途日本計器ニ  
テ廻轉計式ケ受取り帰ル

帰宅後且代君ニ自分東亜ノ代表トシテ且代君ト交渉スルコトヲ要求シ從來ノ通りナレ  
バ何事モスベテ前金ノコトヲ要求ス

今日ハ昨日開眼式ノアツタ黒砂地蔵ノ前ヲ通ルト一人デニ涙ヲ催スシ、吉原君ノ到着  
ニハ母親ノコトヲ思ヒ涙ガ出ル カクモ小供ヲウシナッタコトガ涙モロクシタモノト思ワレ  
タ

▲▼253ページ▲▼ 昭和5(1930)年8月31日(日)

天気 晴

朝國吉行キ 示談取下ゲノ判ヲ押シアト金ノ支拂ニツキ頗ル楽ナ契約書デアツタ。尚  
佐藤ノ分ハ他ニ絶対賣ラナイコトノ契約返リ書ヲ取ル。

竹内君ニ行キ手紙ヲ讀ンデ貰フ アトハバーブルクラブトコンパー会社ヘノ手紙ヲ書イ  
テ貰フ

帰宅後橋本國ヘ手紙出ス。内田隆平氏來 アンリオ修理ノ件 川辺君ツイテ來テ話シ  
アリ 事ワツテヤロウト思ツタガ他人ノ前デ恥ヲカゝセルデモナイト思ツテ聞イテヤル  
夜篠君ノ発動機學會ノ会則原稿ヲ作ツテヤル

本日ヨリ工場員全部自炊ヲ初ム

▲▼254ページ▲▼ 9月

- クラブ発展策
- グライダー完成
- 直昇機進行
- 研究所連絡
- アプロ翼ノ件
- スイフト機購入準備

▲▼255ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月1日(月)

天気 晴

朝シユウ雨アリ

上京 局ニ行ク 辻本氏ニアンリオ胴体金具ノ件交渉 玉宮氏ト相談ノ結果改造ノコトニ決ス ヤレ、。川辺補助金午後呉レル由 午後一時行キテ受取ル 其間協会ニ行キコンパー会社トウエストランド会社宛手紙ヲタイプライターニ打ツテ貰フ。工藤君ニヨリ其他羽布木材等買物ヲシテ帰場

▲▼256ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月2日(火)

天気 晴

終日在所 三年度決算漸ク終了ス

朝奈良原氏來場

旦代氏ニ八月分格納庫料ト小栗ノ金百円ヲ至急呉レル様請求ス。間モナク川辺自身四十円持参ス 之レモ人前デアツタノデ無言ノマ、受取ル。旦代君へ領収書ヲ持タセテヤル

朝大蔵ニ行キ佐藤立川出張ノ打合せヲナス

山田君ニヨル 同君ニモ川辺ハ格納庫ヲスデニ買ツタ様ナ事ヲ云ツテ居タ由。アプロ借り入レノ件ヲ話シ東京行一回三十円ニテキメル

▲▼257ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月3日(水)

天気 晴

税務署提出ノ爲メ貸借対照表ヲ作ル 今日行ク予定ナリシモ遅レ明日ノコトニス 信州ノ笹井氏ヨリ來テ呉レトノ手紙來 五日立ツガ旅費送レト打電ス

◆2558ページ◆ 昭和5(1930)年9月4日(木)

天気 晴

午前千葉行き メッキ屋ヲ調査シ齒科醫ニ立ヨリ右奥ノゴムヲ取ル 此次ギハ抜イタ方  
ガヨイトノコトデアッタ

税務署へ三年度決算表ヲ出ス。帰途寒川海岸ニ出テ白戸ニヨル。白戸不在 妻ノ處へ今  
先キ行ツタ處ダトノコト 妻君ニ会フ ゴロリ横ニナツテ居テ余リ愛想ハヨクナカッタガダ  
ン、シヤベリ出シテ近況ヲ聞ク 白戸モ身体ガ今年ハヨクナイラシイ 胃ダトノ話シダ  
ガ多分肺ダト思フ。晝過ギ帰ルト學校ノアブロ又鈴木克衛ガ三溝ヲ乗セテ渡辺ノ倉  
庫ノ上ニ墜落シタトノコト 食後行ツテ内ノモノニ取方ヅケサセル 川辺ニモ一寸見舞ダ  
ケ述ベテ居ク。鈴木菊モ行ツテ居タ

ブルムリー中尉四時頃大蔵同道來場シタガ水ガアッタノデ全然見込ミナシトテ帰ル  
満潮ノ時見テハダメダ 最モ干潮デモコノハヤレナイコトハ初メカラ分リキッタコトダ 川  
辺ガシキリニ進メテ居タガ馬鹿ナ話シダ

笹井一馬ヨリ來テ呉レトノ手紙アリ 旅費送レト云ツテヤル

◆2559ページ◆ 昭和5(1930)年9月5日(金)

天気 晴

笹井旅費來ラズ 手見タカスグ來テ呉レトノコト コチラノ電報ガツカナイラシイ。處へ  
調ベテ兎ニ角今夜立ツ旨打電ス

奈良原氏來場 児玉氏ガ來ルカラ形ヲ調ベテ居クコトニ氣ヲモマレル。試験台ヲ据付ケ  
ルコトトス 晝食ヲ共ニシテ食後上京 工藤君ニヨリ明日写真飛行ノ打合せヲナシ警視  
廳ノ願書ヲ頼ンデ、三時二十分長岡低(ママ)ニ行ク 四時吉原君一行來 外ニ協会ノ  
モノ三四人ト伊勢谷整理課長トダケ。報知ノ常務久間氏ハ自分ガ飛ンデ居ル頃カラ  
知ツテ居テ一度最(ママ)非會ヒタイト思ツテ居タトノコトデアッタ。アノ當時ノ飛行士  
中一番品行方正デアッタトテ誉メラレキマリ悪ルカッタ

六時辭シテ銀坐ノ丸見屋三行キ松下氏へ十數年來ノ約束ヲハタスベク生キタスツポンニ  
匹ヲ求メ十時五分飯田町發ニ乗ル

◆2600ページ◆ 昭和5(1930)年9月6日(土)

天気 晴

久シ振リノ汽車旅行デヨク眠レナカッタ 茅野アタリデ洗面 上諏訪駅前ノ東京化シ  
タコトニ先ヅ驚イタ。辰野駅ノ電車ガ便利ニカツヨクナツテ居タ。是ラモ駅前ガ立派ニ

ナツテ居タ。辰野屋ノコトナド思出ス。九日ノコトニツキ鈴木ニハガキ出ス

六時五分頃発 心地ヨク両側ノ山形ヲ眺メツ、一時間赤穂着 涼屋旅館ニ入ル 朝食後少シ横ニナル 九時頃笹井君來 十時半頃ヨリ飛行場ヲ見ニ行ク。セマイガ地均シト小棧ヲ取レバ飛ベル 何シロ風ニ対スル方向ガヨイノデ降りテ來ル方ガ谷ニナツテ居テ障害ガナイカラ。帰りニ當村自慢ノ名村長ニ会ヒ一時間余リ飛行場問題ヲ説ク 大分乗氣ニナツテ居タ 必ズヤルダロウ。自慢スルダケアツタ頭モヨサソウダシ人品モヨカッタ村役場ノ立派ナコト 実ニタナ縣廳位ハアル

旅館ニ帰ル 今日ノ約束ハ飛行場ヲ地均シ 出來タラ見方々契約ニ來ルコト 金六一度先キニ呉レル由(之レハ金ガ出來タラ知ラセルコト)飛行一日ヲ同伴ニテ一日トスルコト晝飯ヲ三時頃ナシ又料亭へ案シテ二人バカリ藝者ヲ呼び歎待シテ呉レタガ嬉シクハナカツタ福沢氏米山氏ナド駅前送ツテ呉レテ月明ノ中ヲ飯田ニ行ク天龍峽ニ泊ルツモリデ電話デ聞イテ貰ツタラ明日ノ野球デ満員ダトノコトデ柳糸館へ泊リタカッタガ福沢氏ノ親類ニナルカラトテ蕉梧堂へ案内サレル。  
アンマヲ取り谷川ノ音ヲ聞キツ、十一時半眠ル

▲▼261ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月7日(日)

天気晴

八時半頃迄ユツクリ寢タ 日記ヲ付ケ九時朝食 時間ヲ聞クト九時半ト十時半ニ自動車ガ出ルトノコトニ大急ギデ仕度シテ九時半ノ自動車ニ乗ル 用心ノ爲メビオフェルミンヲ買フ 八幡下車見當ヲツケテ川ノ方ニ行ク 立派ナ道ガ出來テ學校ナドモ大キナノガ出來テ居タ 人家モ随分ニフエテ居タ 漸ク、サガシテツイタ家ハ立派ナモノデアッタ 丁度不在デ、ムスメガ中々ハキハキ氣ノキイタモノデアッタ。ナツカシイ川原三行ツテ見タ。コ、ハ河ノ流レモ川ノ工合モ川向ノ人家モモトノマ、デ家ノ白カベガ新ラシイ位デ我家ニカエッタ様ナ氣ガシタ。一時頃主人帰り大變ヨロコンデ、呉レテ晝食ニ例ノコイノアライ、ウナギノカバヤキ玉子ヤキナド田舎式ニウント山盛り出シテ、ブドウ酒トビールデ馳走ニナリ、終ルト自動車デ天龍峽ニ行キ仙峽閣デ又馳走ヲ出サレテビールゼメニ困ツタ 記念写真ヲ取り七時頃満月ノ天龍峽ヲ自動車デ帰ルトスグ又ビールデヤツト飯ニシテ、貰ツテ八時頃床ニツク

土木工事デ大分四五万式三年ノ内ニモウケタソウデ景氣ハヨカッタノハ非常ニ氣持チヨカッタ。近來知ル人皆不景氣顔ノ中ニコ、バカリハセイセイシタ。ソノ中ニ養サンヲヤツテ居ルノニハ感心シタ

▲▼262ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月8日(月)

天気晴

夢ばかり見タ 五時床ヲハナレ天龍ノ流レテ頭カラ足ノ先迄アラウ 昨日ト違ヒ今日ハ水モスンデ居タ 又河原デ石ヲ拾ヒ帰ル。今日モ又ビールゼメデ腹ノ工合ガ悪イ 朝食後自動車デ開善寺ト南原橋ヲ見テ來ル 寺ニハ左リ甚五郎ノ作ダト云フ山門ガアッタ 説明ニヨルト建武二年 今カラ五百九十五年前ノモノトアル 其頃左甚五郎ハ生レテ居ラナイ筈ダガ変ナ説明デアッタ 南原橋ハ高キコトニ於テ猿橋ヲシノグコト十六米 東洋一ナリト 長サモ八十余米アル由 河上辨天島ヲ眼下ニ見テ好イ景色デアッタ。帰ルトスグ又ビールデ、スシヲワザ、飯田カラ取ヨセテ呉レタトノコト 或(ママ)程ウマカッタ

十一時半イヨ、辭シテ眞綿トワサビノ土産ヲ貰ヒ八幡駅ニテ昨日ウツシタ写真屋ニ行ヒ写真ヲ貰ツテ松下氏浦サン一サン見送ツテ呉レ東京迄二等ノ追買ツテ呉レタニハ恐縮シタ

四時上諏訪下車 鷺ノ湯ニ行ク 寒ニ立派ニナツテ居タ 湯ニ入ル ヌルイ方ニ這入ルト丁度湯加減ヨクコレナラ今夜泊ツテ行キタクナツタ

夕方散髪シテ明眠ノ夕景色ヲ賞シテ帰宿 腹工合ナオラス西式ヲ行フ ヤ、ヨクナル

◆◆263ページ◆◆ 昭和5(1930)年9月9日(火)

天気晴

五時頃マダ寝ルツモリデ寒イノデ一風呂這入りニ行ク 昨日ヨリ少シ熱カッタ 坐敷ニカエルトキレイニ掃除ガ出來テ居タノデ其マ、起キル。火鉢ガコイシイ位デアッタ 少シ土産モノナド買ヒ、クラブノコト工場ノコトヲ考ヘル クラブノ件ニツキ十一月三日ヲ期シライトプレーン大會ヲ催ス案ヲ思ヒツク。ヨイ収畫(ママ)デアッタ 昨夜泊ツタ甲斐ガアッタ

十時ニ立ツヨテイヲ八時三十分出發。立川ニヨルノモ中止シテ五時帰宅ス

◆◆264ページ◆◆ 昭和5(1930)年9月10日(水)

天気晴

一番自動車デ国吉ニ行ク 示談ノ分ヲ役場へ提示スル書類ニ判ヲ押シテ呉レトノコトニヨク見テ判ヲ押ス。明日裁判所へ出頭命令ハ行カナクテモヨイトノコトデアッタ

齒科醫ニテ右奥上ノ親知ラズ齒ヲ抜ク。齒ヲヌクノハ初メテノ經驗デアッタガ、痛クハナカッタ

帰宅スルト珍ラシイ 矢島ノ未亡人ガ來テ居タ 佐一君ヲ、ツカツテ呉レトノコトデアッタノデ一円位デヨケレバト云フコトデ返事シテ居ク。丸ノ素人ノ様ナコトモアルマイカラ晝食ヲ共ニス。丁度且代ヲ呼ビニヤッタ處デアッタノデ一所ニ食事ヲス 且代學校ヲ止メルコトニシタ由 校長ハ今朝鈴木克衛ノ国へ行ツタ由

藤原延來 飛行機定置場ノ件デアッタ 今日ハメヅラシイ人物バカリ來タ  
クラブ新入學生一名アリ 木下ト云フ

▲▼265ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月11日(木)

天気晴

児玉氏奈良氏來場 工事進行遅キ爲メ一同二午餐ヲ出シゲキレイノ言葉アリ。終ッ  
テ信州ノ土産物ヲ二人ニ事傳テ、上京ス スグ協会ニ行ク 長岡氏ヨリ此度ノ件ニツキ  
経過報告アリ。終ッテ五時半富士見軒ニテ協会側ヨリ同様経過報告アリ 且ツ意見ヲ  
求メラレタニ対シ新聞記者及飛行関係者ヨリ大分意見ガ出テ総務理事タヂ、ノ大弱  
リデ氣ノ毒デアッタ 自分ハ協会ト局ノ關係ヲ善導サレタキ希望述べル。田中明日ノ  
霞ヶ浦行キニツキ十年式翼三枚貫ッテ居ルトノコトニ譲リ受ケ委任状ヲ受取り上野ニ  
行キ駅前ニ泊ル

▲▼266ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月12日(金)

天気晴

七時ノ列車ニテ藤田君ト同道ス。時間ガアッタノデ関根ニ行ク 不在 三十分程待ッテ  
井上氏外田中追來タ。結局田中ノ分二十円バカリ自分方ガ三十余ニナッテ予定ヨリ  
少ナカッタガ大部分金ガナクナッテ心細カッタ。関根デ一般拂下ノイスパノ三百ヲ一  
台三十五円ニテ買フ タイヤーハ田中ニ一任シテ帰ル 金ハ立替ルコト 明日協会デ会フ  
コトニス  
運送方法ハ汽車ハ三十五円バカリカ、ルノデ自動車ヲ交渉 十五円ナラ來ルガ十二円  
デア交渉 返事ハ田中ガ聞イテ來ルコトナル 十時帰宅 夕立ニオソワレ、停留所ヨリタ  
クシーニテ帰ル

▲▼267ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月13日(土)

天気晴

鈴木格納庫料ノ件式台三十円ニキメル タイヤー一組返スコトヲ請求ス  
川辺ニ金請求 内田ノ分五十円本日呉レル由 一型分ハ十五日迄ニ呉レルトノコト  
小栗ト共ニ上京ス 局ニ行ク 宗里アプロ分近々ニ出ル由  
田中試験月末ノ由

協会ニ行キ友野ニ行ク 友野不在 設計者又不在ニテ要領ヲ得ズ。四時ノ会合五時半  
トナリ長岡氏ノバンサンアリ 終ッテ鳩ノ間ニテ長岡氏ノ飛行クラブ存廢ニツイテ聞カ  
ル 閣下ノ意見一ツト云フコトニ帰着ス。結局評議員多数ノ意見デ止メルコトニナルダロ

ウ 次ギニ此度ノ件天下ニ声明書ヲ出スコトト協会顧問辭任ノ件ヲ聞カル 自分ノ意見表示ハ時間ニ都合上出來ナカッタガ自分ノ意見ト大差ナク顧問ハ辭任シナイコト 声明書ハ出スコトニナルダロウ 然シ声明書ハ其内容如何ヨツテ反ツテ悪イ結果ニナルコトヲヒソカニ心配ス

▲▼268ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月14日(日)

天気 晴

時事 午前五時八分太平洋横断機タコマ市号ブルムリー中尉操縦ゲツテイ航空士同乗青森縣淋代海岸ヲ出發ス

奈良原氏來場 児玉氏ノ都合上村田氏ニ見セル爲メ千円ノ領収書ヲ書イテ呉レトノコトニ多少ノ不安ハアッタガ書イテ渡ス 之レデ先キノ五百円ト合セテ千五百円ニナル 児玉氏カラ返リ書ヲ入レサセルカラトノコトデアッタ

今日ハ照子ノ四十九日ニ當リ夕方千葉ヨリ御參詣ニ來ル おハギヲ作ツテ皆ニ出ス

▲▼269ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月15日(月)

天気 薄曇リ

早朝奈良原氏來場 昨日ノ分ヲ傳動機八百円。回轉翼千弍百円 イヅレモ内金トシテ領収書ヲ書イテ呉レトノコトデ書イテ渡ス 返リ書ハ持ツテ來ラレナカッタ

▲▼270ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月16日(火)

天気 晴

上京 局ニ宗里アブロノ補助金請求書ヲ富田君ノ手許ニ出ス。アイニク居候ヲ一人使ツテ呉レナイカト頼マレ閉口シタガ兎ニ角一兩日中ニ返事スルコトニス 本人ハ陸軍出ノ曹長トノコトデアッタ

協会ニテ道永君ト會ヒ曙ニテ食事ヲナシ大体方針ダケ決定 次回ハ土曜日会见ノコトトシテ分レル

▲▼271ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月17日(水)

天気 曇リ

久シ振リニ終日在所

▲▼272ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月18日(木)

天気 雨

今日ハ工場作業方針大分進行ス

朝局ノ富田氏ニ電話シテ事ム員引受ケルコトヲ通知ス

夜恵美子ガ電燈ノ紐ニ一寸サワツタラ落ちテ全部消エテシマッタノデ早ク寝ル

電燈会社へ配線直シト増設ヲ申込ム

夜十二時半雨ノドシヤ降りノ中ヲ田中來 明治ハ五台飛行サセテ呉レトノコトデアツ  
タ

▲▼273ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月19日(金)

天気 雨

大雨ノ中ヲ上京 局ニ行き富田氏ニ會フ 事ム員四十五円ニテ長尾ヲ提供スルコトニキ  
メル

アンリオ金具辻本氏ニ見テ貫ヒ仕事進メテヨイコトニナル

▲▼274ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月20日(土)

天気 晴

昨日ニ引カエカラリト晴レタ秋日和。十一時半千葉ノ飛行ヲ行ヒ十二時半ヨリパラマ  
ウントノ飛行ヲ行フ 五台行き皆無事帰ル

田中ト上京ス

道永君ニ七時過ギ會フ 最(ママ)非ヤリタイトノコト。豊田君ヨリ久松氏ヲ説クガ僕ニ  
モ最(ママ)非会ツテ呉レトノコトデアツタ

今日ノ飛行ノ金間ニ合ワズ 明後日霞ヶ浦デ受取ルコトトス

▲▼275ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月21日(日)

天気 晴

七時半起床。顔ヲ洗ワナイ内ニ鈴木菊雄來 漸クハナシテ帰ル。今日ハ庭ヲ久シ振り

ニ土イジリヲヤツタガ、少シテクタブレテ午後ハヤメテシマッタ

夕方前、村田氏來場 現場ヲ見テ帰ル 同時ニ警視廳ノ助川氏來場 少シ話シテ帰ル。

谷津デモ行コウカト思ツタガヤメタ

高橋三郎教官ニ絶対服従スルコト 奨励金委任状書クコトニヨツテ百円デ式等迄ヤラセ  
ルコトニス

夜十一時ト二時半頃ニ回セキデ苦シム 父ガサソ苦シイコトダロウト思ツタ

▲▼276ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月22日(月)

天気 曇雨

高川ヲ連レテ霞ヶ浦行キ 所沢ヨリ自動車來ラズ 下見終ツテ後所沢へ電話スル 明日最(ママ)非行クトノコト 尚帰途東京ニテ會フ約束ニテ飛行館ニテ待ツ 二時間以上待タサレル 不都合ナ奴ダ 鈴木ノ分トクラブノ分金受取ツテ帰ル

▲▼277ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月23日(火)

天気 晴

出ガケニ郵便局迄自転車デ行キ重イノデ太モ、ガ痛クナッタノガ一日痛ンデ困ツタ。ソレニ何ンダカ気分ガ悪ルカッタ 横須賀ノ入札ガ一度デスンダノデヤレ、ト思ツタ 帰リニ佐藤ニヨリ買物シテ帰宅 スグ床ニ入ル 三十八度アッタノデ水デ冷シナドスル 一寸苦シカッタ

高川又カスミヶ浦ニヤル 夜羽根到着ス

▲▼278ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月24日(水)

天気 曇リ

富田君照(ママ)介ノ事務ヲ連レテ來場。一寸前ニ居タ高塚ニ似タ處ガアッタ。自分ノ過去現在將來ヲ語り諒解サセル。ソレデヨケレハ來イト云フコトデアッタガ最(ママ)非來ルトノコトデ富田君迄或ル時機ニ引張ツテ呉レト云ツテ居タ  
クラブ田中春雄三等試験合格 學科ハ來月早々

▲▼279ページ▲▼ 昭和5(1930)年9月25日(木)

天気 晴

今朝ハ大變工合ガヨカッタ 奈良原氏來場 上野篠兩名先日來ノ小兒ノ問題カラ爆發シタガ結局自分ノ解決デ落着ス 児玉氏延塚氏ヲ連テ來場サレタガ試運轉間ニ合ワズ

今日ハ鳥飼氏モ來 タ方宅デ奈良原、鳥飼、川辺ニ大口ガ來テ久シ振リニ皆ガ集マッタノデタ方ヲ出ス。獵天狗ノ話シテ持チ切り。コチラハイニク空氣銃サエ打ツタコトガナイノデ感心シテ聞クダケ 八時頃散會

大口カライロ、メヅラシイ話ヲ聞ク

夜又セキデ一時頃迄眠レズ 漸ク眠リカケタラ上野ガ上ゲ下シテ苦ンデ居ルトノコトニ醫者ヲ迎エサセル

◆▼2800ページ◆▼ 昭和5(1930)年9月26日(金)

天気 雨

雨ノ爲メ上京ヲ中止シ帳簿ヲ整理シ鈴木、川辺請求書ヲ作ル

安岡買物ニ上京サセル

今朝方又佐藤ガ上ゲ下シヲヤツテ注射デヤツトシヅマル 何ンデモサバノ干物ノ中毒ト

ノコトデアッタ 二人本日休ム

宗里アンリオノカバーヲ、シワノバンシテヤル

鈴木事ム員來場 工場ノ仕事ノ事ヤ資本關係ヲヨク話シテヤル。本人ノ狀況モ聞ク

富田氏トハ友人關係ダソウダ

田中不二雄來 自動車賃ヲ渡ス 晝食シテ帰ル

◆▼281ページ◆▼ 昭和5(1930)年9月27日(土)

天気 晴

今月ノ給料ヲ支拂フ 久シ振りデ勘定日ニ支拂ヒヲナス

上野、佐藤回復ス

九時半ヨリ上京 局ニ行き井上氏ニ拂下代金ノ拂込ミヲナス 五十円ト七十八錢ハ安

カツタ。会社ト俱樂部ノ印鑑届ケト宗里アンリオノ見込書ヲ提出ス

協会ニ行ツタガ久松氏來ラズ 一時半航空時代社へ行ツテ会フ。大会主催ノ件ヲ進言

シ火曜日ニ否ヤ回答ヲ受ケルコトニ約束ス

ゴム紐ヲ求メ帰宅

今日荒木ガ來タ由

◆▼282ページ◆▼ 昭和5(1930)年9月28日(日)

天気 晴

今日ハ日曜日 奈良原児玉氏來 発準備出來ズ帰ル

女ノ入会者相次イデニ組來場 イヅレモ明日來ルトノコト

鈴木事ム員一寸來テ家ヲ借タカラトテ帰ル

川崎第百銀行ヨリ宮本ノ金ニツキ手紙ツキ次第來行サレタシトノ手紙來ル 困ツタコト  
ダ

◆▼283ページ◆▼ 昭和5(1930)年9月29日(月)

天気晴

早朝飛行練習中鈴木菊雄モヤノ爲メ高度ヲアヤマリ、アプロ大破  
上京 女入会者來場

本日ヨリ鈴木君出社 帳簿ノ付方其他指導ス  
今日ヨリ應接室、コンクリート初マル

奈良原児玉氏午後來場サレタガツヒニ廻ル迄ニ到ラズ日暮レル

夜中ノ一時半田中不二雄、明日鈴木ノ機体検査ニ不足品アリトテ來場 ローンノ天  
狗鼻取付ナット十個貸シテヤル 二時床ニ入ツタガ眠レズ

◆▼284ページ◆▼ 昭和5(1930)年9月30日(火)

天気晴

本日試運轉初メタルモ初動セズ明日ニ繰越ス 奈良原児玉氏來場  
アンリオ翼乗ル 鈴木三十円 川辺二十五円受取ル

保険署へ安岡ガ女ノ体格検査ニツイテ行クノデ持タセテヤル。女ハ身長五尺二寸五分  
体重十七べ八百アリソンナデモノイト思ツタガ驚クベキ立派ナ体格ノ持主ダ

◆▼285ページ◆▼ 10月

○ライトプレーン大会ノ件

○工場アプロ完成ノ件

◆▼286ページ◆▼ 昭和5(1930)年10月1日(水)

天気晴

朝作業ヲ見テ後チ上京 航空局上市ノ体格検査表提出

田中片岡ト一所ニナリ飛行館へ行ク。コンパー会社ヨリノ電報ヲ讀ンデ貰フ ヨク分ラ  
ナイ様ダガ判ジルト中古ノ發動機ト計器ノナイモノヲ一台ツケルト云フ意味ラシカッ  
タ

久松氏會見 課長ト相談シタラシイ處ニヨルト今ハ時期尚早(久松氏ノ仕事トシテ)ト  
ノコトデヤリタクナイトノコトデアッタ。朝日ノモスコワシタトノコトデアッタ。之レデハ  
出ル機体モスクナクナルノデ、ソレデ大分考ヘサセラレタ 又ノコトニ仕様。鳥飼氏ノ新  
店ヲ訪問シテ、矢島ニヨリイツカラデモ來ル様ニ云ヒオイテ帰ル  
久シ振リニ牛肉ト松竹ヲ求メ帰ツテ喰フ

▲▼287ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月2日(木)

天気 曇り雨

朝稲毛ノ民公ガ死ンダトノ知ラセアリ家内ヲヤル

夕方川辺君事務所ニ來 何ニカト相談ヲシカケテ來タ。コトワルデモナイノデ相手ニナル 先日來安岡ノ處ヘバカリ行クノモ且代行キ自分トハナレテ心細カッタラシイ

▲▼288ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月3日(金)

天気 晴

稲毛ヨリ終日在所

▲▼289ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月4日(土)

天気 晴

種々考慮ノ末早朝局ニ検査ヲ頼ミ行ク 玉宮西川氏不在 月曜日ニ來テ呉レトノコトデ帰ル

川崎第百ニ行キ先ヅ先方ノ意見ヲ聞ク 実ハアマリ來ナイノデ明日内容証明ヲ出シタトノコトデアッタ 毎月五十円ヅゝ入レテ十ヶ年デ終ル様ニシテ呉レトノコトデアッタガ即答ヲサケ月曜日返事スルコトニシテ帰ル

稲毛ヨリ犬ヲ連レテ來ル 今迄飼ッタ犬ノ中デ一番ヨイ犬デアッタ

▲▼290ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月5日(日)

天気 晴

今日ハ苗床ヲツクリ秋蒔ノ種蒔キヲ行フ

▲▼291ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月6日(月)

天気 晴

早朝局行キ 玉宮氏ニ會フ 検査日取り明日聞イテ呉レトノ事。井上氏霞ヶ浦引取り十四日ノ由

第百京橋支店ニ行ク 三ヶ年間年三百円 アト七ヶ年ニ全額ヲ終ル予定ニテ申入レ結局三ヶ年間毎月三十円ト云フコトニテ決定 但シ三ヶ月迄ハ毎月納入出來ナイ時ハ待ツコトノ諒解ヲ得 尚手形自分アテノモノ宮本氏ヨリ取ルコト 堀江氏責任ヲ持ツ 一時帰場

本日ヨリ八時半迄三時間夜業ヲ行フ

▲▼292ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月7日(火)

天気 雨

朝山田君トアプロ借入交渉 條件二百五十円 往復運送ヲマカセルコトニテ申入レル  
午後返事ノコト 後チ鈴木ニ三型借入交渉 條件定メズ。  
局電話ニテ検査日取り聞ク 玉宮氏金曜日行クトノコト 尚木曜日一度連絡ヲ取ツテ  
呉レトノコト

今日ハアンリオペラ型取りヲナス 夜業ニセクション型ヲ作ル

▲▼293ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月8日(水)

天気 晴

山田君朝返事ニ來 安井カラモットヨケイニ貫ツテ呉レトノコトデ金高ハ云ワナイ由  
今日何處ヨリモ入金ナク信州ニ行ケズ。電報ニテ差支アリ行ケヌ來レ呉レト打電ス  
安岡タイヤル会社ト日本計器(ヤル  
直昇ノイス。パノ三百試運轉ヲ行フ 千八百回轉 児玉氏嬉(ママ)ブ 奈良原氏ト晝食  
ニ、魚ノスキ焼ヲ出ス 川辺モ倍(ママ)食  
クラブ、アンリオ分解ス

▲▼294ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月9日(木)

天気 晴

今日來ルカト思ツタ笠井來ラズ 事傳ヲタノマレタトカ云フ飯田ノ人が來テ二日前ニ知  
ラセタライツデモ來テ呉レルカト云フコトト空中輸送ノ場合ニハ乗セテ呉レトノコトデア  
ツタ 同乗ハ返事ヲ與ヘズ行クトハ快ダクス  
上仲鈴子入会金其他一文モ這入ラズ呼ビテ話シス 郵便局ノ通帳ヲ送ツテ來タノデス  
グ金ガ取レナイトノコトデ通帳ヲ預リ居ク

▲▼295ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月10日(金)

天気 曇雨晴

降ツテ居タガヤレル見込ガアツタノデ安岡二局へ電話ヲカケサセル 行クトノコト  
坂本氏來 飛行終了後三時頃玉宮氏來場 内田ノアンリオモ見テ通過ス 内田アンリ  
オ發シリンダーダケ取替ノコト

◆▼296ページ◆▲ 昭和5(1930)年10月11日(土)

天気 曇り

局二昨日ノ機体ノ名議(ママ)変更ト変更登録ノ爲メ上京 手續キヲ終リ東日ニヨリ十年式脚ノ金ヲ請求 明日渡ストノコト 金高二十円。清平ニヤツテ貰フコトニ大蔵ニ話シ清平へ其旨ハガキ出ス。協会ニ行キ中君ニ会フ 別ニ用事モナカッタ様ダ。大蔵來 新橋演舞場へ旋風時代ノシバイヲ見ニ行ユウトノコトニ約束ス 金ガナカッタノデ丁度片岡ガ來タカラ先日ノ金ヲ請求シタガ持ツテ居ラズ困ツタガ時間ニナツタノデ行ク

大蔵全部出シタ 最モ入場ハ無料デアッタ スベテテ帰り込入レテ五円五十錢拂ツタラシイ

十二時半帰宅 清平ガ金ヲ貰ヒニ來タノデ大蔵デ十円都合シテ渡シタトノコトデアッタ

◆▼297ページ◆▲ 昭和5(1930)年10月12日(日)

天気 晴

朝直昇機ノ重心點ヲ計算シ後チ上野ノ小型發動機ノ爲メプロペラノピッチ計算シテヤル

午後竹内君へ行キコンパー会社ヨリノ電報ヲ見テ貰フ 先キノ一通ハヤハリ發動機ナキ機体ヲ付ケルコトニヨリ二万円 外一機ニツキ百円ヅ、特許料ヲ呉レトノコトデアッタ 後トノ一通ハ部品スパ、ラダー、エレベーター、脚等デ二十八瓦トノコトデアッタ 右ニ対シ返事ヲ書イテ貰フ爲メ帰ツテ今迄ノ來翰ヲ全部送ルコトニス

◆▼298ページ◆▲ 昭和5(1930)年10月13日(月)

天気 晴

明日引取り準備ノ爲メ高川ヲ午後自動車タノミニ霞ヶ浦へヤル

◆▼299ページ◆▲ 昭和5(1930)年10月14日(火)

天気 晴

七時ヨリ出テ霞ヶ浦行き 自動車ノ積込込見テ三時五十分ニテ帰ル 夜十時頃到着ノ由 寝テテ知ラナカッタ

関根デ山羊ノ「雄」ヲ貰ツテ帰ル 児供ガ嬉(ママ)ブダロウ

▲▼300ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月15日(水)

天気晴

午前中在所 今月ノ作業材料金廻リヲ調査ス

奈良原氏來場 篠君ノ件兒玉氏へ篠君カラ手紙ヲ出シタトカニツキ兒玉氏非常ニ立腹シ解雇スル由

午後上京 局ニ検査ノ事ヲタノミニ行ク ダレモ居ラズ江口君ニ依頼ス

協会ニ行キクラブ來月三日ノ競技会打合せ会ニ出ル。高木、徳永、木暮、馬詰、御見ハ少時來テ帰ル

岡田勇氏ニ飛行館迄來テ貰ヒ補助金ニヨル材料アト百米廻スコトノ交渉ヲナシ成立

明日十米ダケ アト二十日ニ貰フコト 前ノ分モマダデアツタガ快ク承認シテ呉レタ。

之レデ羽布ノ方ハ一先ツヨシ。夕食後帰ル

伊東西夫氏ニ交渉 クレルジーシンダーヲ譲ツテ貰フコトヲ約束 明日取りニ行クコトトス

▲▼301ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月16日(木)

天気晴

終日在所 夜業

▲▼302ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月17日(金)

天気晴

月曜日検査ノ打合せヲ電話デ玉宮氏ト連絡ヲ取り夕食後上京 佐藤ニ注文品ヲナシ

十時ニテ飯田町出發

夜業八時半迄

▲▼303ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月18日(土)

天気晴

五時半辰野着 八時赤穂着 十時頃漸ク笹井ト会フ 飛行場ヲ見ニ行ク 地均シ出來

タノデ大変広ク見エタ アト小松ノ部分ヲ切レバ大丈夫 安心シテヤレルガ警察ガアヤ

シイノコトニ行ツテ見タガ、ハタシテ離着陸ダケナラ差支ナキモ見物人ヲ入レルニハ巾三

百米突ヲ要ストノコトニ又畑ヤ田ヲ見ニ行ツタ カナリ、ツヒニ下平ノ田甫(ママ)ヲ見テ

決定ス。日スデニ落ツ 笹井車賃モナイラシク自動車モ乗合バカリデ帰りハ約二十丁余

リアルイタノデ少シクタブレタ 宿ニ帰ツテ契約書ヲ作ツタガ金ナク廿五日ニ持参スルト

ノコトニテ旅費モ取レズ夜行ニテ帰ル

▲▼304ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月19日(日)

天気 晴

六時新宿着 昨日金ヲ取レナカッタノデ先ヅ磯部氏ヲ訪問ス 金ノコトヲ聞イタガダ  
メナノデ佐藤ニヨリ尚奈良原氏ニ廿五日千円間違ヒナイカラタシカメルベク市川ニヨッ  
タガ丁度津田沼へ行ツタトノ事。スグ帰場 晝前ニナツタ 川辺君宅ニ居ラレタノデ会ッ  
テ後チ金ノコトヲタノム

▲▼305ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月20日(月)

天気 曇リ雨

今日玉宮外二名來場 予定通り検査進行ス  
児玉奈良原、村田ノ西田氏來場 夕方帰ル  
夜業八時半迄  
今日初メテ鈴木ヲ局ヤ岡田へ出ス

▲▼306ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月21日(火)

天気 雨

朝カラ雷雨デ小サイ小供ハ學校ヲ休ム 夕方カラ漸ク止ム  
全員ヲアブロニ総動員シテカゝル 夜八時半迄

▲▼307ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月22日(水)

天気 晴

今日モ金來ラズ 漸ク練習生ガ入レタノデ之レダガソリン屋ト合同運送店ニ交渉シ内  
入シテ塗料ヲ取ル  
夜十一時迄夜業 右ノ眼ガ痛ンデ困ツタ  
高橋豊田野外飛行練習ヲ行フ

▲▼308ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月23日(木)

天気 曇リ

山田君來場 今朝行クトノコトニ早朝鈴木菊雄ト打合セ鈴木伊四郎ヲ上京セシム 局

検査日取り打合せ。伊藤アンリ才補助申請書 機体番号訂証(ママ)ノ件  
瓦斯電ヘロッカーノピン取りニヤル 自分ハ銚子ペラノ件ニテ千葉迄自動車デ行ク 九  
時四十五分ニ乗レズ一時間半以上ノ時間ヲ利用シテ竹内君ヲ訪問 返電ノ件ニツキ聞  
キタゞ十一時ニテ銚子ニ行ク 猿田氏津田沼ニ行キ自分ノ帰リヲ待ツトノ電報ガ來  
テ居タノデ、取アエズペラ一本借用ノ形デ今夕ノ自動車ニ積ンデ貰フコトヲタノミ四時  
四十分ニテ帰途ニツキ千葉下車 猿田氏ニ會フ ペラニ翅四翅二本ト温度計ト交換シ  
テ呉レト先方カラ云ヒ出シテ丁度ヨカッタ 早速取キメル 尚アプロノ翼一台分ト一枚  
アルノデ補助金ガ五十円バカリ取り前ニナルノデソレデ買ヒ取ルコトヲ極メル  
自動車十二三円デタノム  
帰場八時過ぎ 今日ハ作業上九時ニテ終ル

▲▼309ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月24日(金)

天気 曇リ

今日ハツヒニ徹夜ス ソレデモ完成ニイタラズ 羽根ノ合ワナイノトタンバックノ合ワナイ  
ノデオソクナル

十二時頃銚子カラペラ到着ス

鈴木伊瓦斯電ヘ早朝ヤル 夜九時頃漸ク一台分持ツテ帰ル

▲▼310ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月25日(土)

天気 曇小雨

五時頃カラ七時頃迄床ニ這入ル 其間ニ大塚脳貧血ヲ起シテオレタ由

十時頃松浦駒林両氏來場 午後漸ク完成 機体ノ検査ヲ受ケル 方向舵ノ線ニスコシ、  
サワル處ヲ外ニ坐席下カバーノ木捻不足。発動機ハ検査前立會ワズニ廻ス 少シ振動ア  
リ スデニ汐上ゲ細雨シキリニフリ風モアリ飛行ハヤメ、アラタメテ見テ貰フコトニナツテ  
中止 アト休着サセル

夜御獄行者ノ火渡ヲ工場前海岸デ行フ 兎三角ハダシデ火ノ上ヲ歩イテ行クノハ不思  
議デアッタ 笹井ヨリ今夜立ツトノ入電アリ

▲▼311ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月26日(日)

天気 晴

久シ振リデ休ミ 今夜皆ト夕食ヲ共ニスベク午後千葉へ瀬戸物ナド買ヒニ行ツタガ何ン  
ダカ非常ニツカレタ

帰ツタラ笹井ト今井両氏來テ居タ 五百円ノ内旅費トシテ四十円貸シテ呉レトテ四

百六十円受取ル 二人モ丁度時間ニナツタノデ皆シナト一所ニ食事ヲス。同乗シタイト  
ノコトニ明朝早ク來ルコトニシ船橋へ泊ルコトス

▲▼312ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月27日(月)

天気 晴

朝笹井君來 同乗ニテ朝食後千葉方面ニ行ク  
自分上京 明日検査ノコトヲタノム 二等試験明日決行スルトノコトニ大急ギテ帰り準  
備サセル

▲▼313ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月28日(火)

天気 晴

森航空官六時過ぎ來場 七時豊田出發 今日ノ高橋ト二人二等ノ試験霞ヶ浦ヲ経テ  
立川ニ至リ津田沼ニ帰ルノデ汐ガ七時半ニハスツカリ上ゲタノデ谷津ニ行キ樂天府デ休  
ミナガラ試験ヲ受ケル。アプロノ検査モ今日受ケルノダノニ松浦氏漸ク十二時過ぎニ來  
場 堪航証アスノ間ニ合ワナクナルコトヲ心配シタ スベテ順潮ニ試験ヲ終ル 午後ヨリ  
雲出テ次第ニ悪クナル

▲▼314ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月29日(水)

天気 晴

朝奈良原氏ニヨツタラ丁度行違ヒデアツタ スグ局ニ行キ堪航証ノ事ヲタノミ立川飛行  
場ノ件ニツキ手續ヲ課長ニ聞イテ、シカラレタガ、アトデ何ント思ツタカ、色々モノモ云  
ヒカケテ親切ラシクシテ居タ。少シ氣ニナツタノダロウ  
兎ニ角大骨折デ漸ク両方スマセ外ノ用件サラニ出來ズ帰宅  
午後ヨリ次第ニ晴レ明日ノ天候良好ヲ思ワシム

▲▼315ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月30日(木)

天気 晴後曇リ

今日ハ仕事ト考慮ヲ要スルコトガ非常ニ多カッタ  
安岡赤穂へ田中春同乗九時十七分出発シタガ次第ニ曇ツテ來タノデドウカト思ツタガ  
四時頃ツイタトノ入電アリ、一安心シタ  
アンリオ中央翼ノスケッチヲナス  
夕方関口ヲ出張サセル

山田機來場 夜間装置取ハヅシニ一日カ、ル

▲▼316ページ▲▼ 昭和5(1930)年10月31日(金)

天気 雨後曇リ

眠ツテハ醒メ醒メハ眠リ八時漸ク起キル 風雨ハゲシク谷津ニ置イタ川辺ノ一型鈴木ノ三型大分困難シタ由

不在中ノ事打合セシテ三時宅ヲ出ル 奈良原氏訪問シタガ不在 児玉氏ニ松下氏ノ照(ママ)介状ヲ貰フベク行ツタガ之レ又不 散髪シテ夕食後行ツタガマダ帰ラズ 名刺ニ四日來場ノ件五六日頃ニシテ貰ヒタイコトヲ書キ置イテ出發 十時二十七分新宿發

▲▼317ページ▲▼ 11月

グライダー完成

アンリオ二台完成

直昇進行

スイフト機購入準備

▲▼318ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月1日(土)

天気 晴後曇リ

七時半涼屋着 丁度朝食ノ初マル處デアッタ 安岡、田中、関口ト共ニ食事ス 門松ハ昨日ノ朝出發シタトノコト

松下氏へ着イタ旨打電ス

皆ニ一步オクレ九時二十分自動車デ飛行場ニ行ク 此前見タ時ヨリ雨ノタメ水ガ、タマツテヤワラカクナツテ居タ。ムシロヤ、ワラヲ敷イテ十時過ぎ第一回ノ宣傳飛行ヲ行フ中々離々セズ、アブナイ離着デアッタ。後チ少シ風ガ出タノデ幾分樂ニナツタ 四回ノ飛行デ最後ニ笹井君ノ妹ト弟ガ同乗シテ記念撮影ヲヤツテ終ル 天候アヤシクナル 夜岡谷ノ山田ト云フノニ會ツテ安岡ノ借金ヲ解決ス 手形ト証書ニ対シ五十円デ、仕切ルコト 日八十日頃津田沼デ拂フコト 方法ハ右証書ヲ代引デ送ルコトトス 外二八円 呉レトノコトコトデアッタガ、アイニク金ナク明日ノコトニシテ分レル

▲▼319ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月2日(日)

天気 雨後晴

ジヤーン、降リデツヒニ延期 主催者ノフトコロ大違ヒ 従ツテ自分ノ方モアヤシクナル  
松下氏カラ遊ビニ來イトノコトニ午後安岡笹井ヲ連レテ行ク  
午前中山田來 田中君ノ小遣十円ヲ借りテ八円支拂ヒ受取リトアト五十円ニ対シ一  
寸記入サセテ居ク  
二時半松下着 キレイニ方付イタ坐敷デ氣持チヨカッタ 夕食後安岡笹井天竜峽ニ行  
ク 自分八床ニツク

▲▼320ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月3日(月)

天気 晴

六時十分前起床 モヤガヒドカッタ。ソレダケ趣キノアル風影(ママ)が見ラレタ。朝食後  
七時十四分発ニテ帰ル 同ジ電車ニ安岡ト笹井ガ乗テ居タガ車ガ違ッタノデ氣ガツカ  
ナカッタ  
十時過ぎ第一回飛行後四時半迄二十回飛行 八回目位カラ安岡ノ着陸見當アヤシク  
ナリ今一度ト云フノヲコトワル 之レデ丁度契約ノ回数ダケハタシタ訳デアル 見物丸  
デナク、村ノ有力者ナド一人モ來ナイ不影(ママ)氣ノ飛行会デアッタ。帰リハツヒニ宿  
迄歩ク 夜笹井來 夕食ヲ共ニス。帰還飛行ニツキ飯田着陸許可ヲ要スルノデ何ントカ  
便法ト思ツテ警察へ話シ保安課へ電話デ聞イテ呉レタガヤハリダメ 一度帰宅後松本カ  
ラ飛ブコトニス

▲▼321ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月4日(火)

天気 晴

夜中カラ風ツヨク四時半安岡ヲ起シ三人デ飛行場ヘヤル 七時頃帰ツテ來タ 大丈夫  
デアツタガ番人ガ一人モ居ナイトノコトデアッタ  
朝飯田ヘ行ク予定デ笹井ニ話シテアツタノデ僅カニ五円使ニ持参サセタノデ後チ七十  
円ダケ最(ママ)非今夕迄ニ作ル様手紙ヲ持タセテヤル。後程返事スルトノコトデアッタ  
ガ不安ナノデ午後一時ノ電車デ松下氏へ五十円田中ニ手紙ヲ持ツテ借リニヤル 後チ  
公園ヲ散歩ス  
松本ノ飛行場ノ私役ニツキ長谷川カラ許可ヲ申請スル必要アリトノコトニ免(ママ)倒ダ  
カラ同乗者(関口ニ氣ノ毒デアツタガ)ヲ止メテ一氣ニ津田沼へ帰ルコトニス

▲▼322ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月5日(水)

天気 晴後曇リ

安岡五時頃帰ル。アトで聞ケバニ軒行ツタトノコト。金不足。七円五十銭別ニ支拂フ。ガソリンヲ持ツテ來ナイノで現金、デ買ヒ飛行場ニ行ク。田ハヨホド硬クナツテ居タ。十一時六分前松下氏訪問ニ出發。  
風次第二強クナル。四十五分で帰ツテ來タ。十二時廿六分、津田沼へ向ツテ出發ス。関口同乗。風向ハヨカッタノで早く離陸出來タ。笹井來。中沢村で中食ヲ取ル。二時ノ自動車で宿ニ歸リガソリントカストル半カント、残ツタノで自動車屋ニヤリ。笹井ノ事務所ニ行ク。二三人居タガ顔色ナカッタ。アルダケ出シタノガ三十円。内二十円取ツテ十円ヲ笹井ニヤリ。三時半ニテ出發。上諏訪下車。活動無憂華ヲ見テ時刻ヲ過シ。十二時三分發ニテ帰京ス。

▲▼323ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月6日(木)

天気 晴

立川で起キ洗面後明ケユク美シイ武蔵野ノ影ヲ眺メツ、六時二十分新宿着。田中ト分レ省電ニテ神田下車。佐藤ニ立寄り兩國ニ出七時二十分ニテ帰ル。心配シタアプロ無事ニツイテ居タ。

今日ハ一日ユツクリシタ気分ニナリ、スイートピーナド蒔ク。児玉氏來場。直昇オソクナツタノで大分不氣(ママ)嫌デアッタ。奈良原氏ニ対シ、アイソツカシヲシテ居タガ、今ノ機体ハ何ントシテモコチラニ責任ガアルノで、ヨク辨解シテ居ク。  
競技会ハ旦代ガリレー、着陸共一等デアッタ由。山田君ハ又飛行機ヲコワシテ参加サエ出來ナカッタトノコトデアッタ。鈴木ハ何ンモナシ。

▲▼324ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月7日(金)

天気 晴

今日ハ借金取りゲキタイニ一寸骨折レタ。オトハ何分直昇ノ方ヲ目アテガ、ハヅレタノで閉口。

朝奈良原氏來場。グライダー金具明日中ニ出來ルコト。  
原價表計算ヲ行フ。

鈴木(田中名義(ママ))アプロ試運轉良。明日鈴木伊君ヲ局へ検査日取り聞合セニヤルコトニス。

本日ヨリ夜業ヲ廢ス。昨日ノヤリ方ニ大分ダレ氣味ナノで上野ダケヤル。

▲▼325ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月8日(土)

天気 曇リ

川辺君二内田ノ金及ビワイヤー請求ス

▲▼326ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月9日(日)

天気 雨後曇リ

山羊ノ家ヲ作ル予定ナリシモ材料ヲ買ヒ兼ネ中止ス 球根類ヲ植エル  
夕方直昇胴体ニカ、ル  
上野出

▲▼327ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月10日(月)

天気 晴

坂地氏來場 十円ダケ裁判所へ行クノデホシイトノコトニ安岡ヨリ借りテ渡ス  
直昇機体組立テヲ始メ夜十時半迄自カラ夜業

▲▼328ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月11日(火)

天気 晴

今日ハ來客デー 局ノ検査官駒林、山下氏來場 鈴木(田中名議)アブロ完成。内田ロ  
ーン發シリンダー内部検査。川辺甲三内部検査 イヅレモヨシ 但シ鈴木アブロ発分解  
ノコト

奈良原、児玉氏來場 磯部、片岡、佐々木外一名來場 イヅレモ晝食ヲ出ス  
上仲三時間分入レル 久シク渴レテ居タ金庫ニ少シ這入ツタ訳デアッタ  
延期シテアッタ支拂ガ皆ツカエテ來テ茲ノ處裏ニ困難 今年中ノ作業ト材料調査ヲ夜  
行フ

▲▼329ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月12日(水)

天気 晴

記事ナシ

▲▼330ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月13日(木)

天気 晴

奈良原氏來場

局其他買物ニ鈴木伊上京セシム 夕方帰場

保健署ヨリ來場 十七日出頭挨拶ノコト

▲▼331ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月14日(金)

天気晴

時事 浜口総理大臣東京駅ニテピストルニテ下腹部ヲ打タル

児玉氏午後來場 夕方適居ラレタ 郵便定期ノ件具体案ガ出來タラ奔走スルトノコトデアッタ

今日又総理大臣ヲ打ッタ馬鹿者アリ 年二十三才 中岡ト云ヒ宜シクナイ思想デアル  
アンリオノステー自分デア作ル

▲▼332ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月15日(土)

天気晴

予定通り山下君ガ來テ呉レタ。直昇ノ方予算ヲ立テ奈良原氏ノ來場ヲ待ッタガ今日ハ見エナカッタ

磯部氏ヨリ百円到着 夕方豊田練習費ヲ入レル ホットシタ

花ノ会ヨリ球根到着 明日植付ヲ樂シム

夕方警視廳ヨリ助川警部ト吉村君警視廳へ轉勤後初メテノ事故ニツイテ來場 昨日學校ノ一型デ木下君ガ小栗ノビラヲ撒イタ件ニツイテ機体ヲ見ニ來タノデアッタ。

所沢ヨリ田中來場 航空社名議(ママ)ニ變更ノ届出局へ提出書類ニ記名捺印ス。夕食後帰ル

▲▼333ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月16日(日)

天気晴

山羊ノ家ヲ作ル

野呂氏突然アブロヲ賣ツテ呉レトノコトデ千弍百円ト云ツタガ九百円ヨリ金ガナイトテ現金ヲ出シテノ話シニ、千円迄トシアト百円ハイツデモヨイカラト云ツタガ結局九百五十円デ五十円八十円月賦ト云フコトニナル。奈良原氏ノ方ノ金ガ廻ツテ居レバ賣ルノデハナイガ止ムヲ得ナカッタ 川辺君ノ方ニ野呂君諒解ヲ得ルトノコトデアッタガアトデハイケナイカラトスグ川辺ヘヤル

▲▼334ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月17日(月)

天気晴

上京 局へ検査ノ件打合せ 西川氏居タガ機体ノ方ダレモ居ラズ 明日電話デ聞イテ  
呉レトノコトデ物分レ 操縦士試験ハ廿六日 學科ハ十二月一日ト決定  
買物ヲシテ佐藤ニヨリタ方田中ニ会ヒアブロ譲リ渡ノ件交渉シタガ、井上氏ニ話シテ見  
テトノコトニダメトアキラメテ帰ル

◆◆◆335ページ◆◆◆ 昭和5(1930)年11月18日(火)

天気 晴

上野上京ス。局へ電話ヲ懸ケニ行ツタガ西川氏休ミノ爲メ検査ノ件キマラズ  
金太郎ヲ連レテ山羊ト鶏ヲ見ニ行ク 鶏三羽コーチンヲ大沼サンデ買フ 四円二十銭。  
其足デランブラン修理ノ場合ニ頼ムベク清宮へ行ツタガ其息子ハ三週間前ニ死ンダトノコ  
トデアツタ 香奠代リニ、スモモノ盆栽ヲ七円デ求メル。保健課ニ行キ昨年十二月迄ノ  
分ダケ全部支拂ヒ丸正デ茶筍司(ママ)ト火鉢ヲ求メル。國吉ニハヨラズニ帰ル

◆◆◆336ページ◆◆◆ 昭和5(1930)年11月19日(水)

天気 晴

恵美子病氣ニテ休マセル  
キン千葉ノ醫大ニヤル。ヘントウ線(ママ)トチクノーショウ。肥厚ニビエント大分アル由イ  
ツレモ手術ヲ要ス

◆◆◆337ページ◆◆◆ 昭和5(1930)年11月20日(木)

天気 雨

雨ノ爲メ検査御流レトナル 明日來ラレルカ電話ヲカケタラ行ケヌトノコト  
今日ハ恵美子ノ外ニ信太郎モ腹ガ痛イトテ休ム

◆◆◆338ページ◆◆◆ 昭和5(1930)年11月21日(金)

天気 晴

時事 英国ブルース夫人機大坂ニ安着ス 女ノ飛行士ノ初メテノ欧亜飛行  
雨後チ晴レ風強シ

局ニ出頭 明日ノ検査ヲ依頼ス 畠山氏來ル由

川辺アブロノ特別検査願ヲ提出ス

今川橋ノ松浦花鳥園デセキセイノコバルト一羽ト十姉妹ヲ求メル 佐藤ニヨリパイプヲ  
買ヒ、木材□□ヲ買ヒニ行キツイデニ門扉ヲ聞ク 二十円位ト思ツタノニ五十五円以

上三六オドロイタ  
久シ振リデ写真眞屋ノ工藤君ニ立寄り帰ル クラブノ田中春雄君ノ入営送別会ヲ自宅  
デヤルトノコト 豚鍋デ大ニハシヤギ上仲嬢ノ三味線デニギアウ。キン鼻ヲ手術ス 家内  
一所ニ行ク

▲▼339ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月22日(土)

天気晴

午後又風強クナル

一番自動車ニテ白戸ニ行キ明日檜平ヲ挽イテ貰フコトヲ頼ンデ帰ル 十時マダ検査官  
來ラズ 十一時前山下氏 十一時過ギ畠山氏來場 三台ノ中川辺甲三鈴木、田中ア  
ブロ合格。宗里分発動機分解スルコト 機体羽布不良 制限附トノコトニテ延期  
児玉氏來場 一時間程デ帰ラレタ 晝食ヲ知ラセタガ遠慮シテ來ラレナカッタ  
鉄道ニ聯隊ノ記念日 午前ビラヲ撒キ午後場(ママ)空ヲ飛行ス 鈴木伊四郎参列セシ  
ム

▲▼340ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月23日(日)

天気晴

日曜祭日デドコモ人出ガ多カッタ

朝大エヲ連レテ白戸ニ行キスグ竹内君ヲ訪問 自動車ノ中デ計畫シタロンドンカラ飛ン  
デ來ルコトニツキスイフト機ノ性能可能ナリヤ否ヤ其他買収條件等ノ打合セシテ帰宅  
十二時  
午後一時過ギ富田氏及鈴木伊妻君初メテ來場 二人女ノミ飛行機ニ乗セル

▲▼341ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月24日(月)

天気晴

検査打合せノ爲メ上京 出際ニ奈良原氏來場 友野ノ方マダ分ラズ 今日行ツテ來ル  
コトニス

局西川氏ニ過日安岡高等飛行ノ件 検査官ヲブジヨクシタルモノトテ眞面目ニ大シカ  
ラレ、実ニシヤクニサワツタガ、商買(ママ)大事デ我マンシアト検査遅レルトノコトノコト  
(ママ)デアッタガ明日改メテ聞ニ來ルコトニシテ田中名議鈴木アブロノ名議變更ト登録  
申請及川辺甲三ヲ登録申請ヲ提出シテ日ニヨツタガブルース夫人立川着ノ爲メ皆  
立川ニ行キ不在 友野ニ行ク 丁度會エタガ圖面ヲ提供スルカラ仕事ヲアヤマリタイト  
ノコト ギヤート云フノヲ見タガ自動車ノ出來合モノデ使用ニ堪エズ。渡辺木工屋へ職

人ノコトデヨッタガ不在。鳥飼氏ニ行キ夕食後分レル 銀坐ニテ久松氏ニ會ヒコーヒーヲ  
ノミ十二月卅一日ニヘチマクリームノ夜間飛行ヲ頼マレル。

鳥飼氏ニ船大工ノ安イ大手ナノガ居ルトノコトニ頼ム 尚板金工ノコトモ依頼ス

▲▼342ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月25日(火)

天気晴

六時起床 西式 安岡ヲ呼びヤリ昨日局ノ事ヲ話シ局ヘヤル 自分大蔵ニヨリ奈良原  
氏訪問 友野ノ件ヲ報告シアトノ件ニツキ相談ス 自分設計シテ桜田デヤラセルトノ事  
デアッタ。児玉氏ニハ其通り報告シテヨイトノコト

頭ガ変デ上半面ガアツク気分重ク正午過ギヨリ床ニツク 氷ニテ頭ヲ冷シテモ少シモ感  
ジナイ 其クセ平熱以下デアッタ

晝頃高山錦太郎來 失業以來ニケ月デ非常ニコマツテ居ルトノコトデアッタガドウニモ  
出來ズ三円ダケ持タセテヤル 尚小資本デ巴焼屋デモ仕度トノコトニ朝日ノ田中君ニ  
聞ケトテ名刺デ照(ママ)介シテヤル

朝奈良原氏カラ帰ルト猿田氏ガ來テ居タ ハンサー補助申請書ニ捺印ヲシテ渡ス

▲▼343ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月26日(水)

天気晴

今日八局ヘ鈴木ヲヤル 終日カゝッテ決定セズ 明日自分デ行クコトニス

▲▼344ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月27日(木)

天気晴

九時局ニツク 西川氏ノ出ルノヲ待ッテ話シニカ、ルトトテツモナイ、ケンマクデニ型六前  
カラ制限付デアッタノニ高等飛行ヲヤッタトテ大変ナケン幕デアッタガ遂ヒニソレハ氏ノ  
思ヒ違ヒデアッタコトガ分ツタガ極リ悪クナツタガ調ベテ居クカラ君ノ方モ調ベテ居ケ  
トノコト 馬鹿々々ラシイ 調ベル余地ナドアリハシナイ

田中不二雄鈴木菊雄ニ會フ

▲▼345ページ▲▼ 昭和5(1930)年11月28日(金)

天気晴

昨日ノ續キデ自分デ局ヘ行ク。西川君モ何ントカ挨拶スルダロウト思ッタニ君ノ方調ベ  
タカ、ア、ソウカデ一向、思ヒ違シテ氣ノ毒デアッタトノ言葉ヲ出サナイ。シカラレ損ニ

ナツタ訳ケダガ同君モ、マダ若イカ、ソレトモ氣ガ小サイカ、アン外デアッタ 決局ソレ  
デモ月曜日ニ行クカラトノコトニナリ帰ル

◆◆346ページ◆◆ 昭和5(1930)年11月29日(土)

天気 晴

朝始末書ト川辺ノ補助申請書ヲ持ツテ局ニ行ク 月曜日又行ケナイカモ知レヌカラ火  
曜日頃駒林氏ニ頼ムカラトノコトデ又検査ガ不安トナル  
アブロノ補助金現金ニテ貰フ。田辺ノ工場ニ行キ原氏ト会フ 手紙ノ方除(ママ)々デモ  
ヨイカラ方々ヲ立テテ呉レトノコトデ月ニ入レルコトニス。アトデ店へ寄ツテキメテ呉レト  
ノコトニテ飛行機ノ話ヲ一時間程シテ店へ行ク 市來氏不在デ一日ニ來ルトノコトニシ  
テ佐藤ニヨリ支拂ヒヲナシ帰宅 ドウモ頭ノ工合ガ悪イ

◆◆347ページ◆◆ 昭和5(1930)年11月30日(日)

天気 曇後雨

先日來毎日奈良原氏ニ不在デ失禮シタノデ早朝行ク 四日頃金ガ遣入ルカラアトノ  
見積リ書ヲ作ツテ居イテ呉レトノコトデアッタ。時ニ川辺君ノ三百円バカリ持ツテ居ル  
後家サンニ兒玉サンガ世話ヲスルトテ昨日川辺ノ意見ヲ聞イタラ、ウマセスルトノコト  
デアッタト。ソレハ大ニ任セルダロウ 兒玉氏ニ基金ヲ津田沼ニ投ジテ發展セシメルトノ  
案ダトノコトダガ、ソレハ云ワナカッタガゴメンコウムリタカッタ  
十時頃帰宅スルト又鈴木ノアブロガ、コワレテ居タ。今度モ兄弟二人デヤッタトノコト  
デ二人共顔面ニケガヲシタ由 見舞ヲヤル。夕方浦山ト高橋來 又田中ニ話シテ呉レ  
トノコトデ近ク話シテ居クコトトス。且代君ノ早大技官ニナツタ送別会ヲ飛行館デヤル  
ノデ、身体ノ工合ハ悪ルカッタガ無理シテ行ク  
十一時帰宅 雨ニ降ラレル

◆◆348ページ◆◆ 12月

グライダー完成  
アンリオ完成  
直昇  
スィフト機ノ財源アサリ

◆◆349ページ◆◆ 昭和5(1930)年12月1日(月)

天気 晴後曇リ

八時頃漸ク起キル 頭悪ルク終日ブラ、シタ  
実ニイヤナ氣持チデアッタガタ方クライクラカヨクナツタ  
局へ鈴木伊四郎君ヲヤル 今日モキマラズ江口君ニ頼ンダ由  
今日ハコンパー会社ノ買入レ問題ニツキ出金ノ道ニツキイロ、考ヘル  
夜八時前床ニ入ル スグ眠レル 十時頃田中不二雄君橋本ノ分七日頃ト云フコトニシテ  
帰ル

▲▼350ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月2日(火)

天気 晴

今日ハ二回電話シテ漸ク明日検査官來ルコトニ極ル  
マダ頭ヨロシカラズ

▲▼351ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月3日(水)

天気 晴

待チ兼ネタ検査官駒林、坂本両氏來場 内田ノアンリオ操縦線取替ノ爲メ延期 其  
他内部検査全部終了 氣持チヨカッタ

▲▼352ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月4日(木)

天気 晴

今日カラ急ガナクテハナライノデ宗里ノ塗料ハガシニハ新ラシイ女工一名ニオキント家  
内ヲ手傳ワセル  
奈良原氏來場 川辺機体ニ重心安定構造ヲ付ケルコトニナル 検査後ニシテ貫フ 直昇  
脚ヲ決定  
明日霞ヶ浦拂下引取り鈴木伊ヲヤルコトニス。夜オソク川辺ヨリ内田ノ五十円持參  
奥山君來場 サル今月中ニヤツテ貫ヒタイトノコトナリシモ出來兼ネル旨一應コトワッ  
タガ最(ママ)非トノコトニ兔三角持ツテ來テ見ルコトニス  
夜八時迄夜業

▲▼353ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月5日(金)

天気 晴

上京 検査日打合セ 三宅氏居リ十日ト決定 尚九日ニ一度打合セスルコト

佐藤ニヨル

協会三行キコンパー会社へノ手紙ヲタイプライターシテ貰フ 磯部片岡両氏ニ会フ  
時代社ニ久松氏訪問 十二月廿一日ニヘチマクリームネオンサインノ件ヲ聞ク

◆▼354ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月6日(土)

天気 雨

児玉氏來場 焼豆腐デ酒ヲ出ス  
ロンドンヨリノ飛行ノ件ヲ話シ後援ノ如何ニヨツテ今日手紙ヲ出シタイト思フト述べ出  
シテヨカロウトノコデ出ズコトニシタ。直昇ノ方ノ金ガ出來ルカ、ロトコヲニ聞イテ居タガ  
ナイトノコトニ、ナツテモ完成サセルコトヲ申出タガ、少シ早スギタカトモ思ツタ

◆▼355ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月7日(日)

天気 晴

今日ハ日曜ナレドモ休マズ 夜業ダケ休マセル  
清平來 大坂ノ兄今夜上京 スグ山形ノ方へ行ツタ由 夜九時帰ル 兄ノ顔ニナニカ吹  
出モノガシテ來タトノコト。ドウモアヤシト思ツテ居タノガイヨ、出テ來タノダロウ  
今月ノ予算ヲ立テル ドウシテモクラブノアンリオノ補助金ヲ貰ワネバナラナイ  
奈良原氏來場 児玉氏ニ話シタコト及金ノコトモスツカリ話シス。晝休ミニ「ビワ」ヲ聞カ  
サレタ 自分モ初メテデアッタ。鈴木ハ感心シテ聞イテ居タ  
朝伊藤西夫氏へ電話シテアンリオノペラ借リルコトニ決定ス 川辺君所沢へ行ツタノデ送  
付方ト橋本ノ分補助金デ支拂フコトヲ手紙デコトツケル。橋本ノ方請求出來ナイガ橋  
本ヘニツテヤルトノコト。アンリオペラハ伊藤氏ニ聞イテ送ル由返信アリ

◆▼356ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月8日(月)

天気 晴

午後ヨリ鈴木伊上京サセル  
今朝二時頃カラ眠レズ電気ハ停電スルシ家内ハ時計ハ止ツテ居ルノデ家内ヲ起シタラ早  
スギ イツ迄タツテモ夜ガ明ケナカッタ  
今夜ハ一部十時迄夜業ス  
午後奈良原氏來場 篠ガ兄ト児玉氏サンヲ、オドシテ金ニシヨウトシテ居ル由 川辺君  
ニ一度会ツテ見テヤツテ呉レトノ話シデアッタ

◆▼357ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月9日(火)

▲▼358。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月10日(水)

▲▼359。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月11日(木)

▲▼360。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月12日(金)

▲▼361。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月13日(土)

▲▼362。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月14日(日)

▲▼363。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月15日(月)

天気 晴

朝鈴木伊ヲ局ヘヤル 晝頃來電アリ 今日検査ニ行クトノコト 昨日ト思ツタノガ今日ニナツテ、マゴツク内ニ玉宮氏松浦氏來場 先ヅ宗里機下翼リブ折レタノヲ直シテ居クコトトナリ不合格。アンリオタ夕方日落チル頃漸ク飛行試験出來合格 ヤット一安心シタガ検査官ハ氣(ママ)嫌悪ルカッタ。實際氣ノ毒デアッタガ連日ノ苦心ハ報イラレテヤレ、ト思ツタ  
皆モ久シ振リデ夜業ヲ休マセル

▲▼364。ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月16日(火)

天気 晴

上京 局ニテ昨日ノ登録申請ト奨励金願書ヲ出ス

一度久松氏二行キ百円受取り廿四日飛行ノコトニ極メテ小買物ヲナシ再度局ニ行キ堪航証ヲ貰ヒ、田中ノ爲メニ局提出ノ分工場譲リ渡シ証ニ調印シテ渡ス 尚名議変タカラトシ前契約ノ責(ママ)務整理ノ責任ヲ必ズハタスコトヲ言葉ノ上デ念ヲ押シ彼レモ勿論ト力ヲコメテ答テ居タ  
佐藤ニヨリ笠松氏ニ電話シテ、ネオンチューブノ件タ、ジテ帰ル

▲▼365ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月17日(水)

天気 晴

時事 忘年会

作業ヲ午前中ニテ帰終ル

奈良原児玉氏モ來場 五時三田浜ニ行ク 初マル迄永カッタノデ寒カッタ。幹事トシテ木下君ノ挨拶後川辺氏ニ奈良原氏ヲ照(ママ)介シテ貰ヒ、奈良原氏ノ挨拶アリ 續イテ奈良原氏ノ、サツマビワ、一キヨクアリテ宴ニウツル 児玉氏ノ津田沼飛行場ゲキレイノ挨拶アリ アトハ大ニサワグ 自分モ寒カッタノデ初メニ少シヤッタ上ニ一廻リ盃ヲ廻シテ歩イタノデスツカリ、ヨッタ。何ンデモ鈴木克衛ヲ連レテ帰ル事ニ安岡カラ進メラレテ自動車ニ乗ツタガ、鈴木ガコウフンシテシマツニ悪ルカッタ 自分タエズ埴山ガオレラヘタト云ッタトカテ大変オコッテ居タ 自分ノコトモケシカラントカ何ントカ云ツテ居タ。ドウドウ川辺ノ宅へ連レテ行ツテ、赤ん坊ヲ寢サセル様ニ寢サセテ帰宅後自分モヤ、コウフンシテ居タトノコトデアッタ

▲▼366ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月18日(木)

天気 晴

試験ガアルトノコトデ起キニクイ處ヲ七時起床 スデニ森航空官ハ來テ居ラレタ 川辺氏ハ今日僕ヨリ早カッタ

関口無事ニ等ヲ実地デパス。野呂君ニ等野外飛行無事終了 帰りハ満チ汐デ僅カノ州ニ降タノハ上出來デアッタ

午後アマリ気分ガ悪イノデ床ニツイタラ三時過ぎ辻本氏來場 鈴木アブロノ内部検査ヲシテ呉レタ 手入ヤ、不良トマダ心ガ出シテナカッタノデ氣(ママ)嫌ガ悪ルカッタガ兎ニ角通過ス

夜七時夕食 スグ床ニ入ル

▲▼367ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月19日(金)

天気 晴

昨日ノ予報デハ雨トアツタガ上天気ニナル 野呂氏ニ自記高度計ヲ貸ス 晝船橋ヨリ帰場 無事試験ヲ終リタル由

鈴木機ト宗里機完成ニ全力ヲソグ

午後川辺君菅井某他一名(後チ二井上下知ル)同乗 一昨夜安岡ニナグラレタル件ニツキ僕ノ意見ヲ求メ來ル 自分トシテハ昨日オボロゲナガラ話シハ聞イタガ昨夜川辺安岡二人デ話合ツテ居ルラシカッタノデ何事モナク済ンダモノト思ツテ居タニ今日飛行界デモ札付キノ菅井ナルモノヲ連レテ談ジテ來タコトハ自分モ大ニ氣ヲ悪クシタ 川辺氏ノ話シニヨルト奈良原氏ガ二日間預ルトノコトデアツタ由 何ンシテモ本人ニ聞イタ上デ挨拶スルコトトシテ分レ本人ノ外内田其他ニ當時ノ事情ヲ聞ク。内田ノ件デ双方不快ノ氣持デアツタラシイ上ニ一寸シタ言葉ノ行キ違カラ、安岡ガ先キニ手ヲ出シタラシイ要スルニ酒ノ上ノ出來事デ意志アツテシタコトデナイラシイガ川辺氏ハソレヲ計畫的ノモノト断定シテ居ル様デアツタ

夕方方食事中又來タガ食後自分ヨリ出懸テ行キ安岡ガヒタスラ陳謝シテ居ルニツイテハ自分カラモ謝ス。然シ具体的ニ今何ト云フコトハ御答エ出來ナイ。ソレハ奈良原氏ト想(ママ)談ノ上デ御挨拶スルト返事シテ居ク。川辺外ニ名ハ兎ニ角ニ日間ニ今夜ガ切レ目デアルカラ奈良原氏ヲ今カラ訪問スルトノコトデアツタ。之レハ川辺氏ノ爲メニ、ヨクナカロウト思ツテ明日ハ來ラレルカラ待ツテハ何トカト進メタガ聞カナカッタ

◆▼368ページ◆ 昭和5(1930)年12月20日(土)

◆▼369ページ◆ 昭和5(1930)年12月21日(日)

◆▼370ページ◆ 昭和5(1930)年12月22日(月)

◆▼371ページ◆ 昭和5(1930)年12月23日(火)

◆▼372ページ◆ 昭和5(1930)年12月24日(水)

天気 晴

ネオントグライダーニ夜業

▲▼373ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月25日(木)

天気 晴

徹夜 グライダーノ爲メ

▲▼374ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月26日(金)

天気 晴

十二時頃漸ク深井君一人來 宗里ノダケトネオンヲ取付ケ検査終了シタガ、グライダーハ何ント云テモ見ズタ方帰ル  
磯部其他大勢來テ居タガ氣ノ毒デアッタ 昨夜ハトテモ間ニ合ワヌカト思ッタガソレデモ午後完成シタノハ氣持チヨカッタ

▲▼375ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月27日(土)

天気 晴

ネオンヲ高橋氏晝頃持參 スグ取付ケタ處へ鈴木ヨリ訳ノ分ラヌ電報來 兎ニ角夜間飛行出來ヌトノコト。アトヨリ又堪航証ガ出ヌ由。局へ電話シタガ、タレモスデニ居ラヌトノコト、デガツカリシテ代機ノコトデ野呂ヲ訪問ス。ヤハリ貸サナイ。取アエズ久松氏ニ電話ヲカケル 今日ノ處ハ安岡ト貝塚君ガ行ツテ飛行機ヲコワシタコトニスルトノコトニ其旨打電シテ呉レトテ、イヤダト云ツタガ、オサマリガツカヌトテツヒニソウスルコトニス金モ貰エナカッタガ富田氏ガ責任ヲ以テヤツテ呉レトノコトデアッタ

▲▼376ページ▲▼ 昭和5(1930)年12月28日(日)

天気 曇

銀行ノ諒解ヲ必要トシテ上京 先ヅ久松氏ト会フ 片岡來 卅一日ヤツテ呉レトノコトニ警視廳へ片岡同道シテ行ク ダレモ居ラズ今後ノ許可ハダメトノコトデアッタガ念ノ爲メ助川氏ノ自宅へ行クコトニシ田タクヲ飛バス 郊外ノ分ラナイ處デアッタ 行ツタガ戸締リデ会エズ片岡ニダメノコトヲ久松氏ニ返シル様依頼シテ角筈ノ川崎ノ堀氏ヲサガス 之レニ一時間以上カヽリヤツト行ツタラ十九日ニ引越シタトノコトデ又ソコニ行キ事情ヲ話シ三十円ダケ入レテアトハ來年ノコトニ諒解ヲ求ム 公証書ニシマスカトノコトニ、之レハ御免ヲコウムルコトニス

帰宅 児玉氏ニ歳暮ニヨリ帰宅シタラ十一時

◆▼377ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月29日(月)

天気 曇少雨

鈴木ヲ日本銀行へ先キニヤリ 奈良原氏が來タノデオソクナリ上京 日本銀行へ行ツタガ鈴木居ラズ 川崎へ先キニ行キ三十円渡シ再ビ銀行ニヨリ鈴木トバツタリ會ヒ補助金取レタトノコトニホツトシテ五百円ヲ給料分トシテ持ツテ帰ラセ、田辺へ行ク 不在ニテ二十円ト手形ヲ預ケテ、田中先生へ歳暮ニ行ク 不在 清平ニ會ツテ帰ル尚念ノ爲メ今日モ警視廳へヨツテ見タガ、タレモ居ラズ断念シテ帰ル。貝塚君ニ電話デ年内ダメノコトヲ話シ來月中旬ナラヨカロウト云ツテ居ク 久松氏不在

◆▼378ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月30日(火)

天気 晴

皆シナノ中カラ鈴木ガ少シツ、來月廻シテ居タ金高ガ七十円以上ニナツテ居タ。実ニケシカランヤリ方デアッタ 呼ビニヤル 皆ニ其マ、一度渡シタガ氣ガ濟マズ又取モドシテ橋本ノ分ニ取ツテ居イタ金カラ融通シテ全額支給ス。坂地氏來 五十円デ濟マソウト思ツタガドウシテモ濟マズ七十円ニテ打切ル

スグ上京 協会ニテ磯部氏ニ會フ 間モナク衣笠氏來場 五十円ヨリ呉レズ困ツタガ、スグ園田ニ行キ一文モ渡セズ事ワリ、スグ千葉ノ保健署ニ飛ブ 引ケテ居ルノデ自宅ニ行キ之レ又延期ニテ散髪シテ帰宅

十時頃田中來 橋本ノ分百五十円渡シ田中取分ヨリ廿五円貰ツタコトニシテ返金スル様ニス 承知シテ帰ル。少シトボケテ支拂金ガアリマシタカ、ナント云ツテ居タ 馬鹿奴

◆▼379ページ◆▼ 昭和5(1930)年12月31日(水)

天気 晴雲アリ

九時半漸ク起床 川辺分百円渡辺君ガ持ツテ來タガサテ百円デドウシヨウモナカッタ。止ムナク之レト思ワレルモノダケ支拂ヒアトハ全部延期シテ三十円ダケ四日ノ費用ニ残ス

兄へ一文モ送ツテヤレナイノガ氣ニナツテ仕方ガナカッタ 二時頃迄寢タガ寢レズ起キテ金銭出納簿ノ整理ヲナシ大坂ノ兄へ金送レヌ旨謝シテ打電ス

◆▼380ページ◆▼ 補遺

(175ページから続く)

六月十六日

車ヲヤラナケレバ來テ呉レナイコトヲ思ヒ出シ又岸ノ家ヲ迎ヘニヤル。一方石川ハ醫者ガ早ク手當ヲシナケレバ、ダメダカラ、スグ自動車デ連レテ來イトノコトニ自動車ヲ呼ビニヤル。自宮内自動車來タガ宮内中々來ラズ 漸ク明ルクナツテ來 便ヲ調べ之レハ疫痢デハナイカラ心配ナイトノコトデアッタガ、取アエズ、布施サンへ行 自動車ニ乗ル時ニツト口元ニ笑ヲウカベタガスグ、消エタ 自動車德行クノガ嬉シカッタノダロウ。布施サンモ大丈夫ダガ病院へ行ツテ一度洗腸シテ貫ツテ帰ツタヲヨカロウトノコトデ病院へ行ク昨カラ滿ガドウカト案ジテ居タ家内ハ自分ノ、ダイテ居ルノヲ見テ先ヅビクツトシタラシカッタ

洗腸ノ結果、多少ウタガイアリト云フ内家内ガ洗面所へ 自分ハ照子ノ

◆◆381ページ◆◆

(380ページから続く)

ソバニオルト又々変ナ声ガシタノデソレ初マッタト云フト家内ハ初メテノコトニビックリシテ、ダキ上ゲ看護婦ヲ無(ママ)中デヨシダガ中々來ラズ漸ク静ツタ頃出テ來タガ平氣ナモノデ醫者モコンナコトハ何ントモ思ツテ居ナイラシイデ大ニ無平デアッタ。其内二三ノ注射ヲシテ九時頃又々第三回目ノ、ケイレシヲ起シタ。醫者ニ之レガ爲メニ死ヌ様ナコトガナイカ聞イタガソソナコトハ先ヅナイガヒンパンニ、クレバ何ントモ云エナイガ大丈夫トノコトニ一度検査官モ來ルノデ十時帰宅 間モナク丁度検査官來場 松浦氏駒林モ予定通り終ツテ二時半頃帰ル 一寸事務所デ用タシヲナス。恵美子晝學校ヨリ帰り腹ガ痛イトテ寢テ居ルトノオバーサンノ話シハ耳ニシテ居タガ多用ニマギレテ居ル中大倉ノ家内ガ自動車デ乗付ケ滿ガアブナイトノコトニ取モノモ取アエズ飛ンデ行ク

◆◆382ページ◆◆ 補遺

(381ページから続く)

スデニ、カンフルデモツテ居ルトノコトデアッタガ、ソレデモ死ヌトモ思エナカッタガ今朝ノ、引付ケノ様ヲ思ヒダスト不安デタマラナカッタ 一生懸命獨手ヲ行ツタガダメ 其中家内ガ恵美子ノコトガ氣ニナリ自分ノ來タ自動車デ向ヘニヤル。來タラスデニ熱四十度アリ滿正ニ息タエントスル時デ醫師ハ代診一人デマゴ、シテ居タガツヒニ午後六時三分冷タクナツタ。ア、寅歳ノ男デ將來ヲ如何ニ望ミヲカケタコトデアッタニ。家内ハ又誰レヨリモカワイガツテ居タニ

恵美子モ不安デ照子ガ又肺炎ノキザシアリトノコトニトテモダメダト思フ 今六三十八度五六分ヲ下ラナイ(昨日八卅七度台デアッタ)。  
仁三郎ガ気ニナツタノデ又自動車デ迎ヘ診察室ニテ診察ヲ受ケ大丈夫トノコトデ一度帰宅スルツモリデ出タ處ヘ大勢見舞



(382ページから続く)

ニ來タノデ仁三郎ヲ返シ夜具ヲ届ケサセルコトニシテ引返ス  
初メタ、アリ千葉ノ火葬場ニ送ル予定ノ處自分ガ自カラ大坂ヘ疫痢デ死ンダコトヲシラセタノデ、内處ニ出來ル自宅ヘ連テ帰ルコトニナリ、夜具ノ來タ自動車デ大口、川辺、佐藤、上野四名ツキシヒ帰ル 十時半家内アトハ今日タノシダ式名ノ看護婦ニタノミ、床ニツイタガ中々眠レズ ヤハリ満ノコトノ話シニナリ涙ヲ催ス

▲▼390ページ▲▼

回数	組	番號
七〇	十	〇一三九七二
七〇	十	〇一三九七三
七二	五	〇一一八八三
七六	十	〇八九八九一
七六	十	〇八九八九〇
七七	五	〇七一三五〇
七七	五	〇七一三四九
七八	八	〇一六一七五
七八	八	〇一六一七六
八〇	九	〇一六一八四
八〇	九	〇一六一八六
八二	八	一二三四四
八二	八	一二三四三
八三	七	三七六二三
八三	七	三七六四〇
八六	三	〇三八三三
八六	三	〇三八三二

復與



炭酸曹 4  
臭素加里 2 滴

3.アミドール

水二.五オンス アミドール 1 杯  
3 杯  
臭素加里 3 滴